

# 若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

小町三丁目 422 番 2 外地点

## 例 言

1. 本報は鎌倉市小町三丁目4-2-2番2外地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は個人専用住宅に係る建築範囲7.8㎡を対象とし、平成17年10月31日から平成18年2月6日にかけて実施した。
3. 現地調査体制は以下の通り。

担当者	伊丹まどか
調査員	宇都洋平・鍛冶屋勝二・本城裕
作業員	川崎由紀夫・倉沢六郎・佐藤美隆・鈴木順治・(社)鎌倉市シルバー人材センター
4. 本報作成は以下の分担で行った。

遺物実測	石元道子・岡田慶子・根本志保・松原康子・吉田桂子・渡辺美佐子
遺物写真	須佐仁和
遺構写真	宇都洋平・鍛冶屋勝二
遺構図版作成	岡田慶子
遺物図版作成	岡田慶子
写真図版作成	田畑衣理
執筆・編集	伊丹まどか・松吉大樹・田畑衣理
5. 出土品等発掘調査資料は、鎌倉市教育委員会が管理している。
6. ・本報図版の遺構・遺物の縮尺は次のとおりである。

遺構全測図	： 1 / 60	個別遺構図	： 1 / 40	実測遺物図	： 1 / 3	銭	： 1 / 1
-------	----------	-------	----------	-------	---------	---	---------

なお各挿図にはスケールを表示してある。
  - ・「かわらけ」と表記してある場合は「轆轤成形」の土器であり、「手づくね成形」の土器に関しては「手づくね」と表記した。
  - ・遺物に付着した油煤痕、および漆付着痕は共に黒色で表しているが、文章中で説明している。
  - ・出土遺物の計測値は観察表に掲載しているが、( )内は復元値および、遺存値である。
7. 検出した遺構の計測値・実測遺物計測値および、実測できなかった遺物の破片数は表にまとめて掲載してある。
8. 出土した遺物及び、調査資料は鎌倉市教育委員会が保管している。
9. 発掘調査及び報告書作成に関しては下記の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。(敬称略・五十音順)

秋山哲雄・沖元道・菊川泉・古田土俊一・斉木秀雄・佐藤仁彦・汐見一夫(砥石)・鈴木亘  
柁岡溪音・手塚直樹・浜野浩美・原廣志(瓦)・福田誠・本澤慎輔・馬淵和雄・宮田眞・八重樫忠郎

# 目次

## 本文目次

第一章	遺跡概要 .....	225
	1. 遺跡の位置と歴史的環境 (図1)	
	2. 調査の経過 (図2)	
	3. 層序 (図3)	
第二章	発見した遺構と遺物 .....	232
	第1節 第4面の遺構と遺物 (図4～図13)	
	第2節 第3面の遺構と遺物 (図14～図21)	
	第3節 第2面の遺構と遺物 (図22～図30)	
	第4節 第1面の遺構と遺物 (図31～図40)	
第三章	まとめ .....	283
	検出した遺構と遺物	
	出土遺物観察表	
	遺構計測表	

## 挿図目次

図1 調査地点とその周辺の位置図.....	226	図21 第3面構成土 .....	256
図2 グリッド配置図.....	229	図22 第2面全測図 .....	258
図3 堆積土層図.....	231	図23 遺構65・出土遺物 .....	259
図4 第4面全測図 .....	233	図24 遺構88・出土遺物 .....	260
図5 第4面個別遺構図.....	234	図25 遺構104・出土遺物 .....	262
図6 第4面遺構出土遺物.....	235	図26 遺構219・出土遺物 .....	263
図7 遺構131個別遺構図・堆積土層図 .....	237	図27 第2面遺構・個別平面図 .....	264
図8 遺構131・エレベーション図 .....	238	図28 第2面遺構出土遺物 .....	265
図9 遺構131内・個別遺構出土遺物 .....	239	図29 第2面面上出土遺物 .....	266
図10 遺構131底面出土遺物.....	239	図30 第2面構成土出土遺物 .....	267
図11 構造模式図 .....	240	図31 第1面全測図 .....	269
図12 遺構131一括出土遺物.....	241	図32 第1面個別遺構図 .....	270
図13 第4面・礎石建物址		図33 第1面・個別遺構出土遺物 .....	271
・遺構362出土遺物 .....	242	図34 第1面・面上出土遺物 .....	275
図14 第3面全測図 .....	244	図35 第1面・構成土出土遺物(1) .....	276
図15 遺構95・遺構111.....	245	図36 第1面・構成土出土遺物(2) .....	277
図16 第3面個別遺構図(1) .....	246	図37 第1面・構成土出土遺物(3) .....	278
図17 第3面個別遺構図(2) .....	247	図38 第1面・構成土出土遺物(4) .....	279
図18 第3面個別遺構出土遺物 .....	249	図39 第1面・構成土出土遺物(5) .....	280
図19 第3面個別遺構出土 .....	250	図40 第1面・構成土出土遺物(6) .....	281
図20 第3面面上出土遺物 .....	255	図41 表採出土遺物 .....	282

## 図 版 目 次

<p>図版 1 ..... 304</p> <p style="padding-left: 2em;">I 区 第 1 面全景 (西から)</p> <p style="padding-left: 2em;">I 区 調査区東側遺構群 (西から)</p> <p style="padding-left: 2em;">II 区 第 1 面全景 (東から)</p> <p>図版 2 ..... 305</p> <p style="padding-left: 2em;">I 区 第 2 面全景 (西から)</p> <p style="padding-left: 2em;">II 区 第 2 面全景 (北から)</p> <p style="padding-left: 2em;">I 区 第 3 面全景 (西から)</p> <p>図版 3 ..... 306</p> <p style="padding-left: 2em;">II 区 第 3 面全景 (西から)</p> <p style="padding-left: 2em;">II 区 第 4 面全景 (西から)</p> <p style="padding-left: 4em;">第 2 面遺構 219 (北から)</p> <p>図版 4 ..... 307</p> <p style="padding-left: 2em;">第 1 面構成土 刀子 (図 39-144) 出土状況</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構 65・88・99・104</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構 88</p> <p style="padding-left: 2em;">第 3 面遺構 111</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構 73</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構 65</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構 195・196</p> <p style="padding-left: 2em;">第 3 面遺構 113</p> <p>図版 5 ..... 308</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 131 十字ベルト状況 (南から)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 131 (北から)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 131 根太出土状況 (南から)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 131 ベルト西側 (南から)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 132 (北から)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 131 根太出土状況 (南から)</p>	<p>図版 6 ..... 309</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 149</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 159</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 166 (柱痕)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 151 (柱痕)</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面遺構 151 (柱痕アップ)</p> <p>図版 7 ..... 310</p> <p style="padding-left: 2em;">第 4 面各遺構出土遺物</p> <p>図版 8 ..... 311</p> <p style="padding-left: 2em;">第 3 面各遺構出土遺物</p> <p>図版 9 ..... 312</p> <p style="padding-left: 2em;">第 3 面遺構外出土遺物</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面各遺構出土遺物</p> <p>図版 10 ..... 313</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面各遺構出土遺物</p> <p style="padding-left: 2em;">第 2 面遺構外出土遺物</p> <p>図版 11 ..... 314</p> <p style="padding-left: 2em;">第 1 面各遺構出土遺物</p> <p style="padding-left: 2em;">第 1 面遺構外出土遺物</p> <p>図版 12 ..... 315</p> <p style="padding-left: 2em;">第 1 面遺構外出土遺物</p>
--	---

# 第一章 遺跡概要

## 1. 遺跡の位置と歴史的環境（図1）

本調査地点は現在の小町大路から少しに東に入ったところに位置する。小町という地名について『新編相模国風土記稿』は、この場所が鎌倉時代の街の中心地であり、町屋が多数あったことによるとし、商いの大きい、小さいをもって大町、小町と唱えたと伝えている。その範囲は、『鎌倉志』によると「若宮小路ノ東ヨリ南へ折て行、夷堂橋までの間を云」とあり、現在の雪ノ下の南辺りから本覚寺の夷堂橋付近までの地域を指していると思われる。

小町の史料上の初見は『吾妻鏡』建久二(1191)年三月四日条で「丑剋小町大路辺失火、江間殿、相模守、村上判官代、比企右衛門尉、同藤内、佐々木三郎、昌寛法橋、新田四郎、工藤小次郎、佐貫四郎已下屋敷数十字焼亡」とあり、その余炎が鶴岡八幡宮にまで及んだという内容である。承元四(1210)年十一月廿日条には「戌刻焼亡、北風甚利、相模太郎殿小町御亭并近隣御家人宅等災」とあり、北条泰時亭と御家人宅が多数存在していた地域であったことが分かる(註1)。また建保元(1213)年五月二日条、いわゆる和田義盛の乱では、和田義盛は「幕府南門并相州御第<小町上>西北両門」と北条義時第を囲んでいる。北条氏が幕政に影響を及ぼすようになってくると、北条氏と他の御家人の間にも主従関係を持つような事例が見られるようになる。それは小町にある北条氏亭にも表れており、例えば、元仁元(1224)年六月廿七日条には「武州被移鎌倉亭<小町西北>、日者所被加修理也、関左近大夫将監実忠、尾藤左近将監景綱兩人宅在此音内也」とあり、また嘉禎二(1236)年十二月十九日条は小町の事例ではないが「武州御亭御移徙也、日来御所北方所被新造也、被建檜皮葺屋并車宿、是為将軍家入御云云、御家人等同構家屋、南門東脇尾藤太郎、同西平左衛門尉、同(並)西大田次郎、南角諏方兵衛入道、北土門東脇万年右馬允、同西安東左衛門尉、同並南条左衛門尉宅等也云云」と、北条泰時亭の四隅を尾藤などの後の御内人と呼ばれる北条氏嫡流得宗流の被官が家屋を連ねていたことが分かる(註2)。小町の北条氏亭もその様な形態を為していたのであったことが推測され、嘉禎二(1236)年十二月廿三日条では北条泰時が服喪のために「平左衛門尉小町宅」へと移っている。「平左衛門尉」は平盛綱に比定されるが、この嘉禎二年以前の文暦元(1234)年八月には尾藤景綱にかわり家令に任じられるなど得宗の信任が厚く、盛綱の子である盛時にもその影響力は継承され、盛時の子の頼綱に至っては、当時得宗であった北条貞時や他の北条氏一門に不安を抱かれ討たれることになる。頼綱は祖父盛綱以来の小町の屋敷を伝領していたようで、正応五(1292)年八月廿四日付「覚雅附属状案」(註3)には「但在鎌倉之間、小町平金吾不浅申承之條」と見られるし、彼が得宗に討たれたことを記述している『親元僧正日記』正応六(1293)年四月廿二日条には「経師谷、其次小町放火了、其次笠井屋形放火了、」とあることから知れる。

他の北条氏一門も小町周辺に屋敷を持っていた。『吾妻鏡』宝治元(1247)年七月十七日条では、北条重時が京都から鎌倉に到着し、「故入道武州経時小町上旧宅」に入っているのが見れる。この旧宅は「御所北、面若宮大路」とあるように、御所の北にあって、若宮大路に面して建てられていた。建長三(1251)年十月八日条で、得宗北条時頼は「新造御第<小町>」に移っており、また文永二(1265)年七月十六日条では北条政村の亭が小町にあったことを伝える。小町大路周辺には得宗流の亭や他の北条氏一門の屋敷があり、また若宮幕府、宇津宮辻子幕府などがあったと考えられることから、小町地域が鎌倉の政治的中心部であったことが分かる。



註 周辺の調査地点の位置は文末に表記

図1 調査地点とその周辺の位置図

『吾妻鏡』建長三年十二月三日条では、幕府が以前から鎌倉中に点在する商業取引の場所を「大町、小町、米町、亀谷辻、和賀江、大倉辻、気と飛坂山上」に特定する旨の触れを出しているのが記載されている。また文永二(1265)年三月五日条でも「散在町屋等」を整理して「一所大町、一所小町、一所魚町、一所穀町、一所武蔵大路下、一所須地賀江橋、一所大倉辻」に限る旨を触れていることから、小町は幕府の中心地域であったと同時に商業地域としても活況を呈していたのが分かるであろう。『吾妻鏡』治承四(1180)年十二月十二日条は、源頼朝の大倉幕府への移徙について書かれているが、伊藤正義は同条の「又御家人等同構宿館、自爾以降、東国皆見其有道、推而為鎌倉主、所素辺鄙、而海人野叟之外、卜居之類少之、正当于此時間、閭巷直路、村里授号、加之家屋並薨、門扉輒軒云云」の「閭巷直路」を小町大路の開通と読み解き、大倉幕府から由井浦まで小町大路が開通したことで、それまで「通過型」であった鎌倉が「循環滞留型の都市構造へ」と大きく飛躍したとする(伊藤2011)。上述した小町地域の政治的・経済的賑わいは、この時点から始まったのかもしれない。

### 東勝寺、葛西ヶ谷

当調査地点は東勝寺跡の門前。広く地勢を見れば葛西ヶ谷の一带とも想定できる。

東勝寺は現在廃寺。宗派は臨済または禅密兼修か。山号は青竜山。開基は北条泰時。開山は退耕行勇とする説と、西勇禅師とするのがある(註4)。退耕行勇は東勝寺で示寂している。関東十刹に列せられ、南山土雲・桑田道海・約翁徳俊などの高僧が住していた(註5)。元亨三(1323)年十一月に行われた北条貞時十三年忌供養では、東勝寺からは53人の僧衆が参列している(註6)。鎌倉幕府滅亡の際、『太平記』は「去程に余煙四方より吹懸て、相模入道殿の屋形近く火懸りければ入道殿、千余騎にて葛西谷に引籠り給ひ、諸大将の兵共は東勝寺に充満たり、是は父祖代々の墳墓の地なれば、爰にて兵共に防矢射させて心閑に自害せん為なり」と伝え、北条高時は最後に一族郎党と共に東勝寺で自害したとする(註7)。「天野文書」ではこれを「葛西谷之合戦」と伝えている(註8)。当寺は鎌倉幕府滅亡後にも存続しており、南北朝・室町を経て戦国には廃寺となっていたようである(註9)。「鎌倉志」では、すでに北条高時の頃に当寺を小町に移し、宝戒寺を建立したと伝えるが未詳。

葛西ヶ谷は宝戒寺の脇を東に入った辺りで、東勝寺跡はこの谷戸に含まれている。『新編相模風土記稿』は、源頼朝の御家人葛西清重の所領が当地にあったことから名付けられたと伝えている。北条義時追討の宣旨を持った朝廷の使者押松丸が葛西ヶ谷で捕えられていることや、谷戸の入口に厩が存在していたこと、先述した鎌倉幕府滅亡の記事などから、戦時下には重要な場所と成り得る地域であったのではないだろうか(註10)。「新編相模風土記稿」は弘治二(1556)年十月に北条氏康が葛西ヶ谷に足利義氏邸を造営したとしている。ただし永禄元(1558)年霜月十一日付北条家朱印状では「北宝戒寺公方屋敷」とあるので、屋敷の位置は明確ではない(註11)。弘治三(1557)年頃のものとする八月十五日付足利義氏朱印状(註12)、「小田原所領役帳」では義氏のことを「葛西様」としていることから、当該地域に足利義氏の屋敷が存在していたことは間違いなさそうである。

松吉大樹

## 【註】

- (註1) 屋敷・亭・邸などの所謂居住を示す建物の名称については、基本的に史料に依拠し、特に断りが無い限り人が居住する施設を指す。
- (註2) 石井進はこの状態を「武士社会の堅密な主従関係の空間的な表現」とする(石井・大三輪1989)
- (註3) 「山城醍醐寺文書」(『鎌倉遺文』17989号文書)
- (註4) 「本朝高僧伝」(『大日本仏教全書』102、名著普及会、1979)では退耕行勇を開山とし、「和漢禅刹次第」(『続群書類従』第28輯上 釋家部、)と「扶桑五山記」(『鎌倉市文化財資料第2集』、臨川書店、1983)は、西勇禅師を開山としている。
- (註5) 「元亨釈書」(『新訂増補国史大系』、吉川弘文館、1965)
- (註6) 『鎌倉市史』史料編第二、「円覚寺文書」69号
- (註7) 卷十、「鎌倉兵火事付長崎父子武勇事」(『日本古典文学大系』、岩波書店、1962)
- (註8) 『神奈川県史』資料編2 古代・中世2、3139号
- (註9) 「(永正九年五月廿日付)足利政氏住持職補任状案」京都御所東山御文庫記録甲百七(『神奈川県史資料編3』古代・中世3(下))6501号。「(元龜四年十月十九日付)北条家朱印状」佛日庵文書(『神奈川県史資料編3』古代・中世3(下))8183号など参照。
- (註10) 『吾妻鏡』承久三年五月十九日条。同建長三年二月廿日条
- (註11) 『神奈川県史』資料編3 古代・中世3(下)「宝戒寺文書」7115号
- (註12) 『神奈川県史』資料編3 古代・中世3(下)「岩本院文書」7042号

## 【引用・参考文献】

- 秋山哲雄『北条氏権力と都市鎌倉』(吉川弘文館、2006)
- 石井進・網野善彦編『中世の風景を読む－2 都市鎌倉と坂東の海に暮らす』(新人物往来社、1994)
- 石井進・大三輪龍彦編『よみがえる中世3 武士の都 鎌倉』(平凡社、1989)
- 石井進『中世史を考える－社会論・史料論・都市論』(校倉書房、1991)
- 伊藤正義「鎌倉由井の市庭一閭巷は路を直しー」(2011年度中世都市研究会「都市的な場」資料集、中世都市研究会、2011)
- 奥富敬之『鎌倉北条氏の基礎的研究』(吉川弘文館、1980、第3版1988)
- 鎌倉考古学研究所『中世都市鎌倉を掘る』(日本エディタースクール出版部、1994)
- 『鎌倉市史総説編』(吉川弘文館、1976)
- 『鎌倉市史社寺編』(吉川弘文館、1976)
- 河野真知郎『中世都市鎌倉－遺跡が語る武士の都－』(講談社選書メチエ49、1995)
- 菊川英政「北条小町邸跡 雪ノ下一丁目395番地点 (No.282)」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5』鎌倉市教育委員会、1989
- 菊川英政「北条小町邸跡 雪ノ下一丁目432番2地点 (No.282)」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5』鎌倉市教育委員会、1989
- 斉藤利男「「宿館」「宿所」と「本宅」」(『国立歴史民俗博物館研究報告』78、1999)
- 佐藤進一『鎌倉幕府訴訟制度の研究』(叡傍書房、1943、再版:岩波書店、1993)
- 高橋慎一郎『中世の都市と武士』(吉川弘文館、1996)
- 北条氏研究会『北条氏系譜人名辞典』(新人物往来社、2001)
- 原廣志「北条高時邸跡 小町三丁目426番3地点 (No.281)」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書12』(第1分冊)鎌倉市教育委員会、1996
- 細川重男『鎌倉政権得宗専制論』(吉川弘文館、2000)
- 馬淵和雄「北条小町邸跡 雪ノ下一丁目400番1地点 (No.282)」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18』(第2分冊)鎌倉市教育委員会、2002
- 森幸夫「平・長崎氏の系譜」(安田元久編『吾妻鏡人名総覧』、吉川弘文館、1999)
- 貫達人・川副武胤著『鎌倉廃寺事典』(有隣堂、1980)
- 山村亜紀『中世都市の空間構造』(吉川弘文館、2009)



## 2. 調査の経過 (図2)

調査は地表から約50cmの表土及び近現代の堆積層を重機によって掘削除去し、中世遺物包含層を検出した後、約10～20cm下方の破碎泥岩による地業層上まで人力によって掘削し第1面とした。調査の進行で生じた廃土の処理場がなかったため、調査区をⅠ区・Ⅱ区に分け、片側を廃土置き場として調査を実施した。本報告では分けたⅠ区・Ⅱ区を合成して報告しているため、遺構番号に付された数字は遺構の新旧を表していない。

調査地の位置と調査区内の遺構を国土座標軸に基づいた地図上で把握するために光波測量機によるトラス測量を行った。基準杭としたA点とB点は調査開始時に任意で設定した。A点とB点間の距離は水平方向で4mを測る。全測図に付したグリッド番号は2mの間隔で、南北方向にアルファベットを、東西方向に数字を与えた。座標数値は世界測地系を使用している。

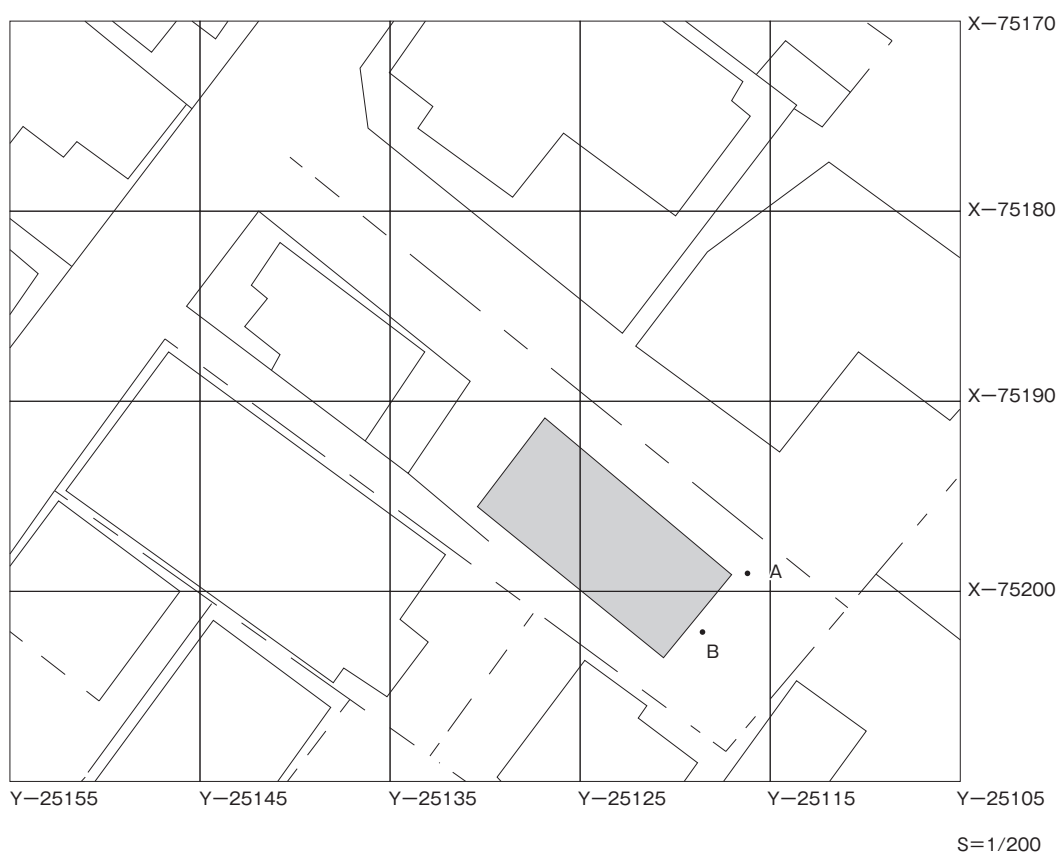


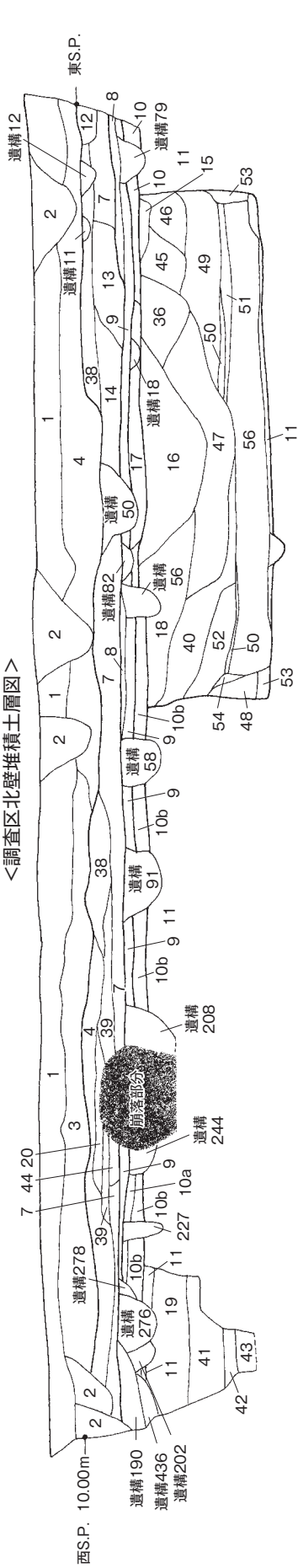
図2 グリッド配置図

### 3. 層序 (図3)

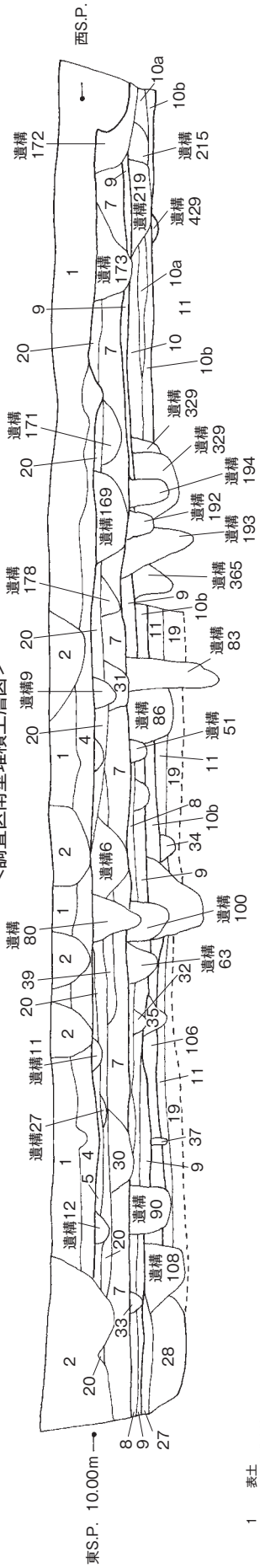
調査区の北壁・南壁・西壁で確認した堆積土層図(図3)を用いて、堆積状況を上層より説明する。調査前現地表海拔高は約10.50 mであった。地表から約50cmの表土・近現代の堆積層を重機により取り除き、茶褐色砂質土の中世遺物包含層を検出したが、生活面としては希薄であったため、第5層・第20層上面まで掘り下げて第1面とした。第1面は現代の造成に壊されている箇所もあったが、比較的良好な破碎泥岩による地業を確認している。第1面構成土上層は茶褐色砂質土。下層は暗茶褐色弱粘質土。泥岩、破碎泥岩、かわらけ細片を含む締まりのある土。約40cmの厚さで堆積していた。第2面は第8層・第9層上層で第1面と同様に破碎泥岩による地業を確認した。第2面構成土は暗灰褐色砂質土。第8層は貝砂の混じる砂質土で、平坦に地業してある様子であったが、遺構プランが確認できなかったため、第9層まで下げて第2面とした。第2面は部分的に壊されてはいたが、破碎泥岩による地業を確認している。また泥岩地業層上に、意図的に細かくしたと思えるかわらけの細片が集中的に遺存していた箇所があったが、大きな広がりとはならなかった。第3面は第10層上面で確認した。第3面構成土は暗褐色粘質土。上層の遺構に壊され、地業・構成土も部分的にしか確認できなかった。

第4面は第11層上面で遺構を確認した。第4面構成土は暗褐色弱粘質土。第2面から第4面までは短期間に地業が繰り返されて様子で、第3面・第4面共にしっかりと地業が残っておらず、遺構の切りあいを考慮して生活面を分けている。第4面構成土は約10cmの薄い堆積であり、下層には第19層とした黒色粘質土が堆積する。第19層は中世の地山層であったと考えている。

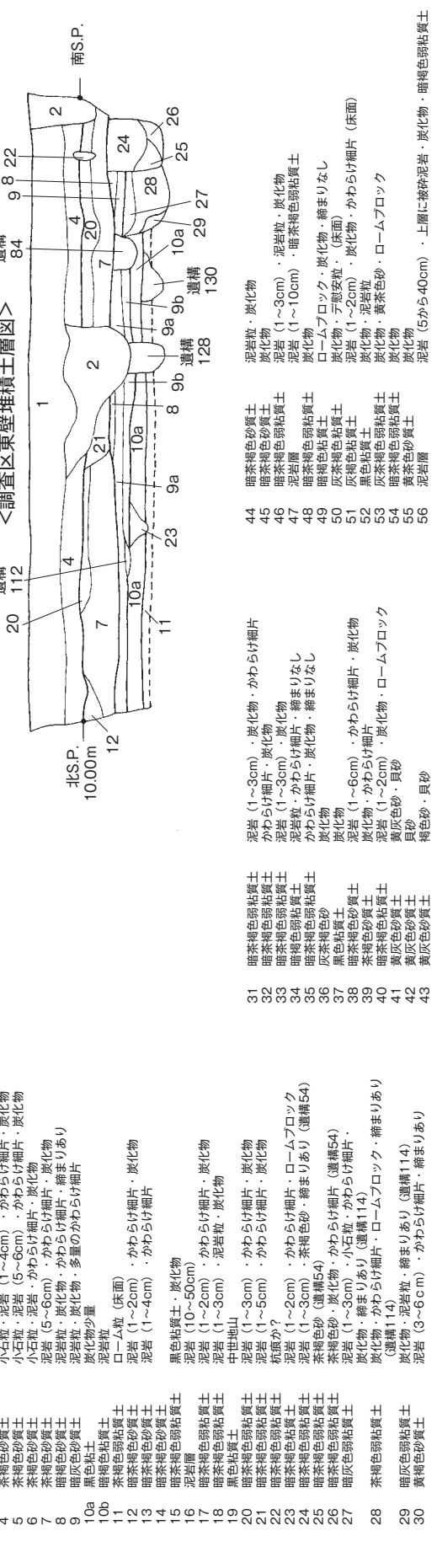
＜調査区北壁堆積土層図＞



＜調査区南壁堆積土層図＞



＜調査区東壁堆積土層図＞



- 1 表土
- 2 現代滑土坑
- 3 暗灰褐色砂質土
- 4 茶褐色砂質土
- 5 小石質・泥岩 (1~4cm)・かわらけ細片・炭化物
- 6 茶褐色砂質土
- 7 小石質・泥岩 (5~6cm)・かわらけ細片・炭化物
- 8 茶褐色砂質土
- 9 泥岩 (5~6cm)・かわらけ細片・炭化物
- 10a 泥岩・炭化物・多量のかわらけ細片
- 10b 炭化物少量
- 11 泥岩
- 12 泥岩 (10~50cm)
- 13 泥岩 (1~2cm)・かわらけ細片・炭化物
- 14 泥岩 (1~4cm)・かわらけ細片
- 15 泥岩 (1~3cm)・泥岩粒・炭化物
- 16 泥岩
- 17 泥岩 (1~2cm)・かわらけ細片・炭化物
- 18 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 19 泥岩 (1~5cm)・かわらけ細片・炭化物
- 20 泥岩 (1~2cm)・かわらけ細片・炭化物
- 21 泥岩 (1~5cm)・かわらけ細片・炭化物
- 22 泥岩 (1~2cm)・かわらけ細片・炭化物
- 23 泥岩 (1~3cm)・茶褐色砂質土
- 24 泥岩 (1~3cm)・茶褐色砂質土
- 25 茶褐色砂質土 (遺構54)
- 26 茶褐色砂質土 (遺構54)
- 27 茶褐色砂質土 (遺構54)
- 28 泥岩 (1~3cm)・小石粒・かわらけ細片・炭化物 (遺構114)
- 29 炭化物・かわらけ細片・ロームブロック・縮まりあり (遺構114)
- 30 炭化物・泥岩粒・縮まりあり (遺構114)
- 31 泥岩 (3~6cm)・かわらけ細片・縮まりあり
- 32 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 33 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 34 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 35 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 36 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 37 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 38 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 39 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 40 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 41 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 42 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 43 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 44 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 45 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 46 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 47 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 48 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 49 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 50 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 51 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 52 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 53 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 54 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 55 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物
- 56 泥岩 (1~3cm)・かわらけ細片・炭化物

図3 堆積土層図

## 第二章 発見した遺構と遺物

以下に、今回の調査によって発見した遺構と遺物を、検出した順とは逆に下層から上層に向かって時代を下りながら説明する。また、個別の遺構図面は建物などの遺構のほか、現地で実測した遺構および実測遺物が掲載された遺構を掲載している。個別図面のない遺構の形状・規模は全測図と、遺構計測表を参照していただきたい。

### 第1節 第4面の遺構と遺物（図4～図13）

第4面は、地表レベル海拔約9.40mを測る。第4面では方形竪穴建築址1軒・礎石建物址・土坑22基・ピット121穴・方形竪穴建築址に伴う土坑1基・ピット23穴を発見した。

第4面と後述する第3面は、短期間に遺構の造り替えが行われ、多くの土坑・ピットが切りあって発見されたが、その大半は調査区の西側に集中する。遺構の切りあいを考慮して、報告では2枚の面に分けたが、それぞれの面で最低3回の造り替えが行われており一期の生活面ではない。

#### 遺構119（図5・図6）

円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物を多く含み。破碎泥岩・砂質土混入。

・図6-1～3は遺構119出土

1～2は手づくね。1は火熱を受けたためか、内外面の器肌が剥離している。口唇部3か所に油煤痕。2は外底部に薄くではあるが板状圧痕がみえる。胎土精良・赤味を帯びた橙色を呈す。図6-3はかわらけ。外底面に板状圧痕。内底部横ナデの後見込み周囲をナデて整形している。破片で手づくねが出土している。

#### 遺構129（図4）

I区とII区の境で確認したために、正確な形状不明になり個別に図示はしていない。破片ではあったが多量のかわらけを覆土内に含み、かわらけを廃棄した土坑であったと考えている。

#### 遺構143（図4）

個別に図示はしていないが、ピット内に泥岩による根固めがあった。遺構144に覆土は近似し暗茶褐色弱粘質土。炭化物を含む。

#### 遺構144（図5・図6）

円形を呈するピット。ピット内に安山岩の礎石。覆土は暗茶褐色弱粘質土。泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

・図6-4は常滑甕の胴部片。格子の叩き文。礎石下層の覆土から出土。破片で、手づくね・かわらけが出土している。

#### 遺構261（図5・図6）

円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土。締まりのない土。

・図6-5はかわらけ。胎土に雲母を多く含む。外底部板状圧痕。内面見込みに指頭による水引痕。

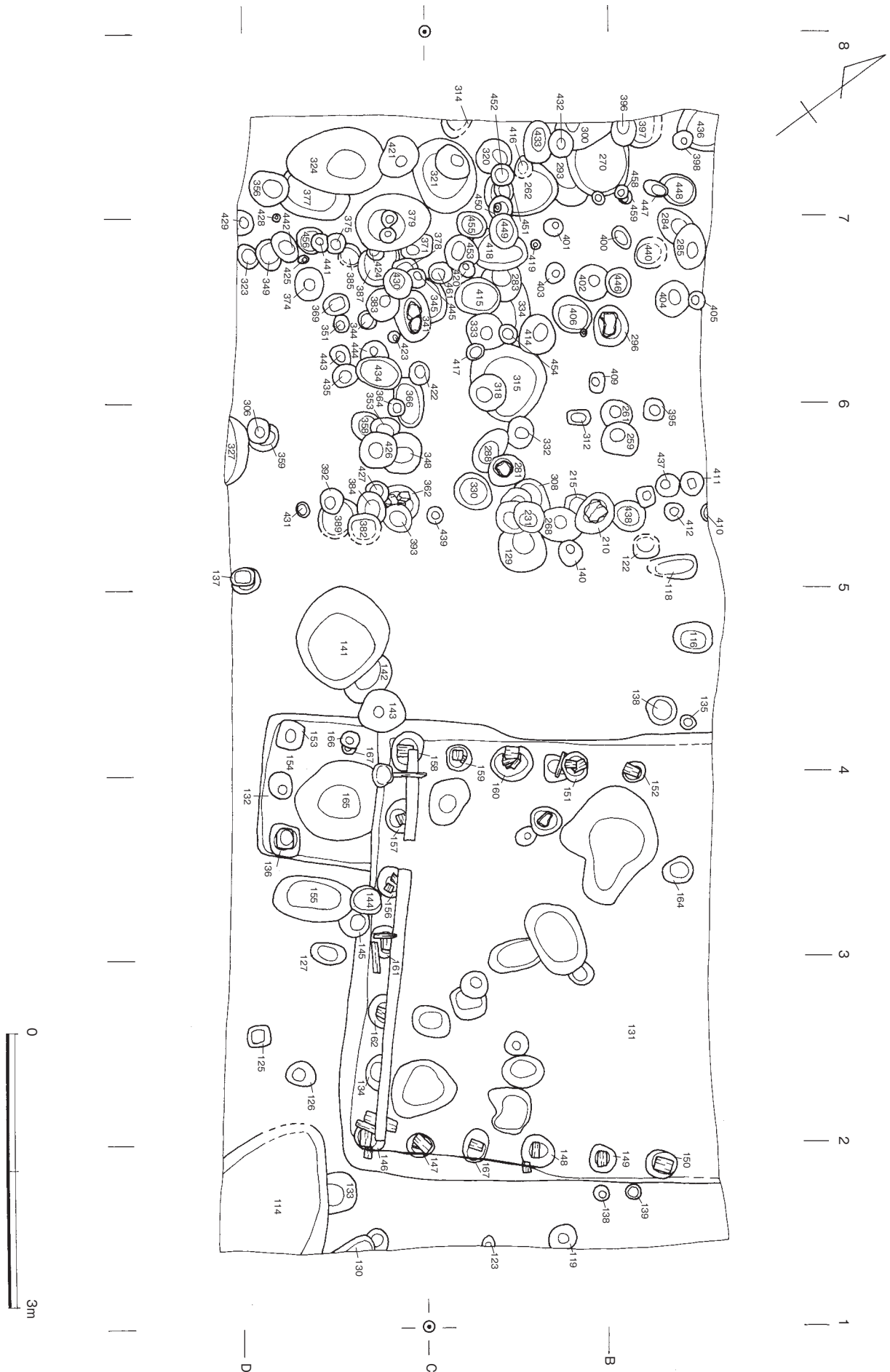


图4 第4面全测图

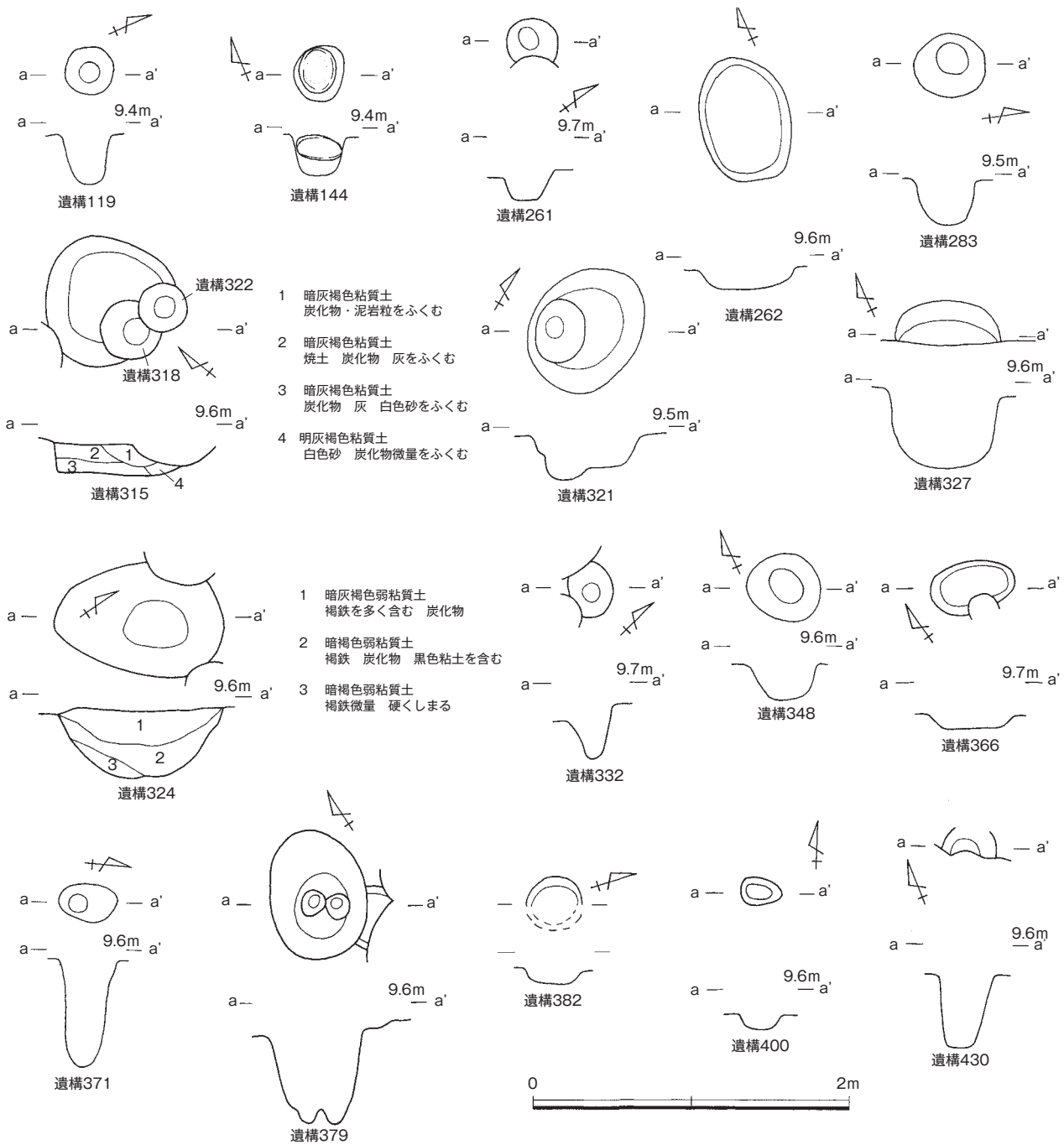


図5 第4面個別遺構図

遺構262 (図5・図6)

楕円を呈する浅い土坑。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒を含む。

・図6-6・7は遺構262出土

6はかわらけ小片・内面器肌が摩耗していた。7は鉄製品・取瓶。全体に錆が付着しているために正確な数値は出ないが、口径約7cm・底径約5cm・器高約2.5cm。片口を有する小型の碗。鑄造に関する遺物ではあるが、このほかに鑄造関連の遺物出土はなかった。破片で、手づくね・かわらけ・白かわらけが出土している。

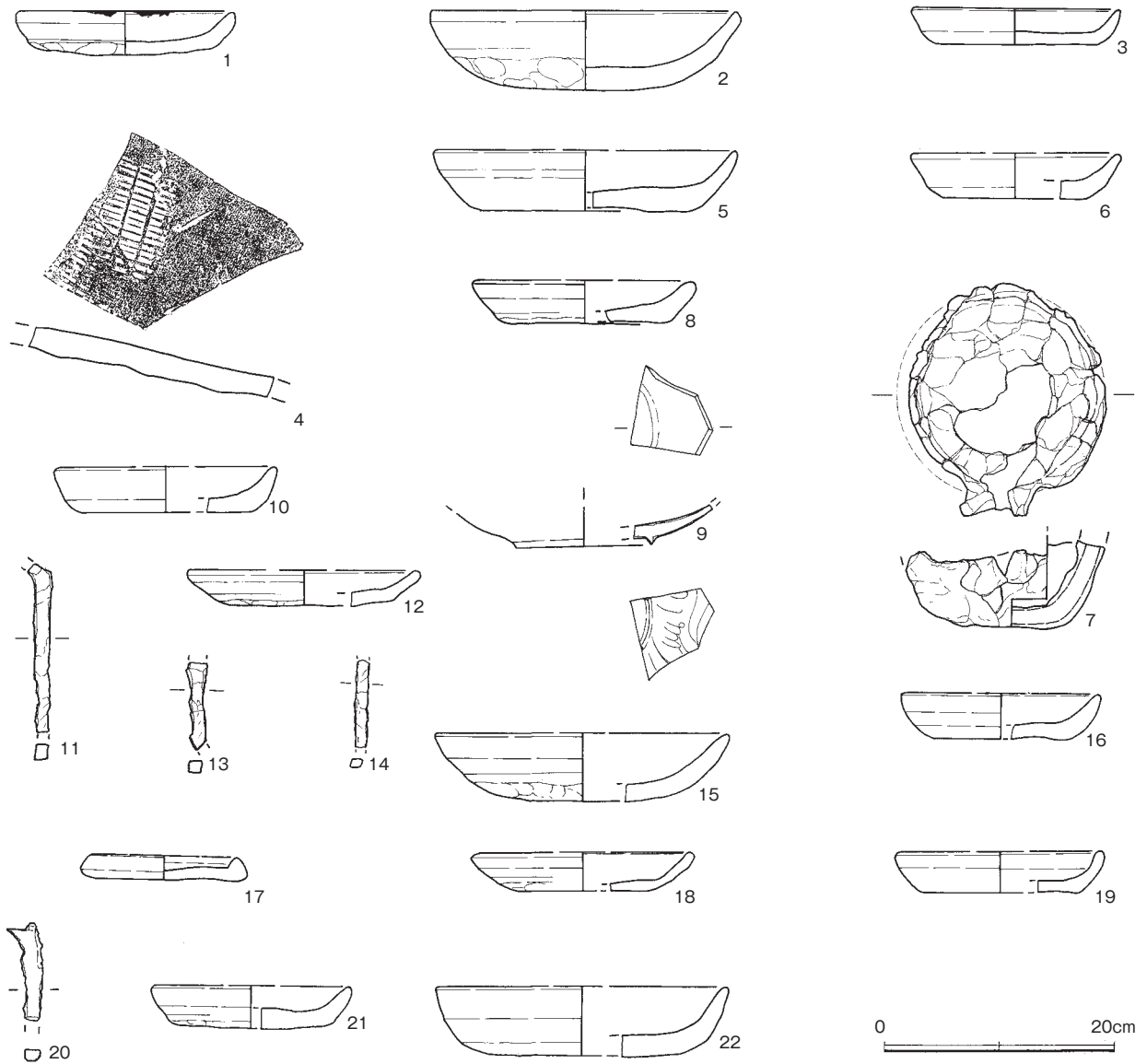


図6 第4面遺構出土遺物

**遺構268 (図4・図6)**

遺構210・遺構231に切られる。円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図6 - 8・9は遺構268出土

8は手づくね。外底部ナデ痕。内底部回転ナデ。9は青白磁印花文皿。素地はやや粗いが、丁寧な施文。

**遺構283 (図5・図6)**

円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒・砂質土含む。

・図6 - 8はかわらけ。外底面に板状圧痕。雲母を多く含む。

**遺構315 (図5・図6)**

円形を呈する浅い土坑。遺構318と遺構322に切られる。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物と焼土を多く含む。

・図6 - 9は鉄製品・釘。破片で、かわらけが出土している。

### 遺構321 (図5・図6)

楕円を呈する土坑。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒を含み、褐色砂質土が多く混入。

- ・図6-10は手づくね。内底部横ナデ。雲母を多く含む。破片で、手づくね・かわらけ・常滑甕が出土している。

### 遺構324 (図5・図6)

楕円を呈する土坑。覆土は暗褐色弱粘質土。褐鉄を多く含む。

- ・図6-11は鉄製品・釘。破片で、手づくね・かわらけ・渥美甕が出土している。

### 遺構327 (図5・図6)

調査区南壁際で確認した土坑である。覆土は暗褐色弱粘質土。泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

- ・図6-12は鉄製品・釘。破片で、手づくね・渥美甕・鉄製品・釘が出土している。

### 遺構332 (図5)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・砂礫を含む。ピット内に出土遺物はなかった。

### 遺構348 (図5・図6)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土。褐鉄・泥岩粒・炭化物を含む。

- ・図6-13は手づくね。外底面に指頭によるナデ痕。内底面横ナデ。破片で、手づくね・かわらけ・白かわらけが出土している。

### 遺構366 (図5)

楕円を呈する浅いピット。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒を含む。出土遺物は手づくね小片。

### 遺構371 (図5・図6)

円形を呈する深いピットである。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

- ・図6-14はかわらけ。胎土精良・外底部に板状圧痕・内底横ナデ。破片で、手づくね・かわらけが出土している。

### 遺構379 (図5・図6)

楕円を呈する土坑。土坑底部に2穴のピット。杭痕か？覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・褐鉄・泥岩粒を含む。下層には炭化物が厚く堆積していた。

- ・図6-16は手づくね。器壁はやや内湾して浅く立ち上がる。コースター型。17は手づくね。胎土精良。18はかわらけ。破片で、手づくね・かわらけ・白かわらけ・青磁(器形不明)・渥美甕・常滑甕が出土している。

### 遺構382 (図5・図6)

円形を呈するピット。暗褐色弱粘質土。炭化物・褐色砂質土・泥岩粒を含む。



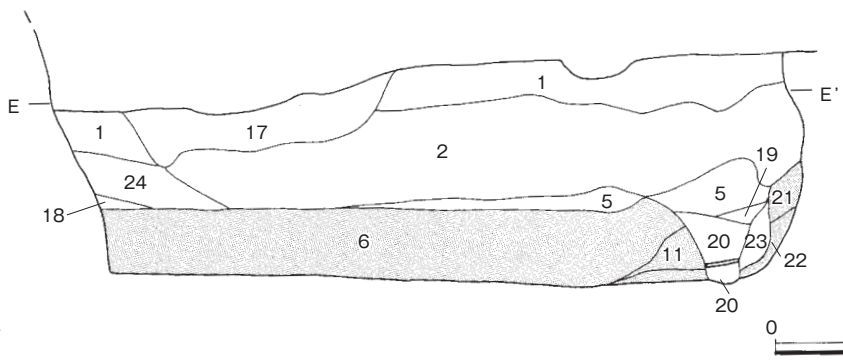
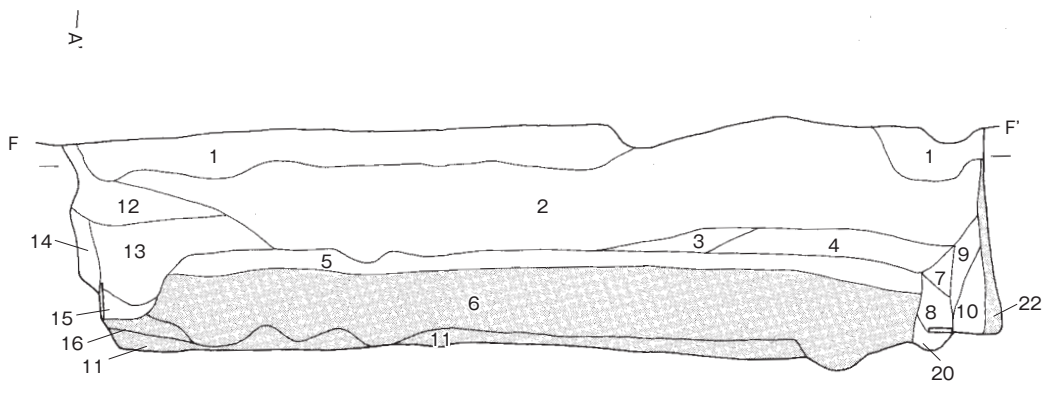
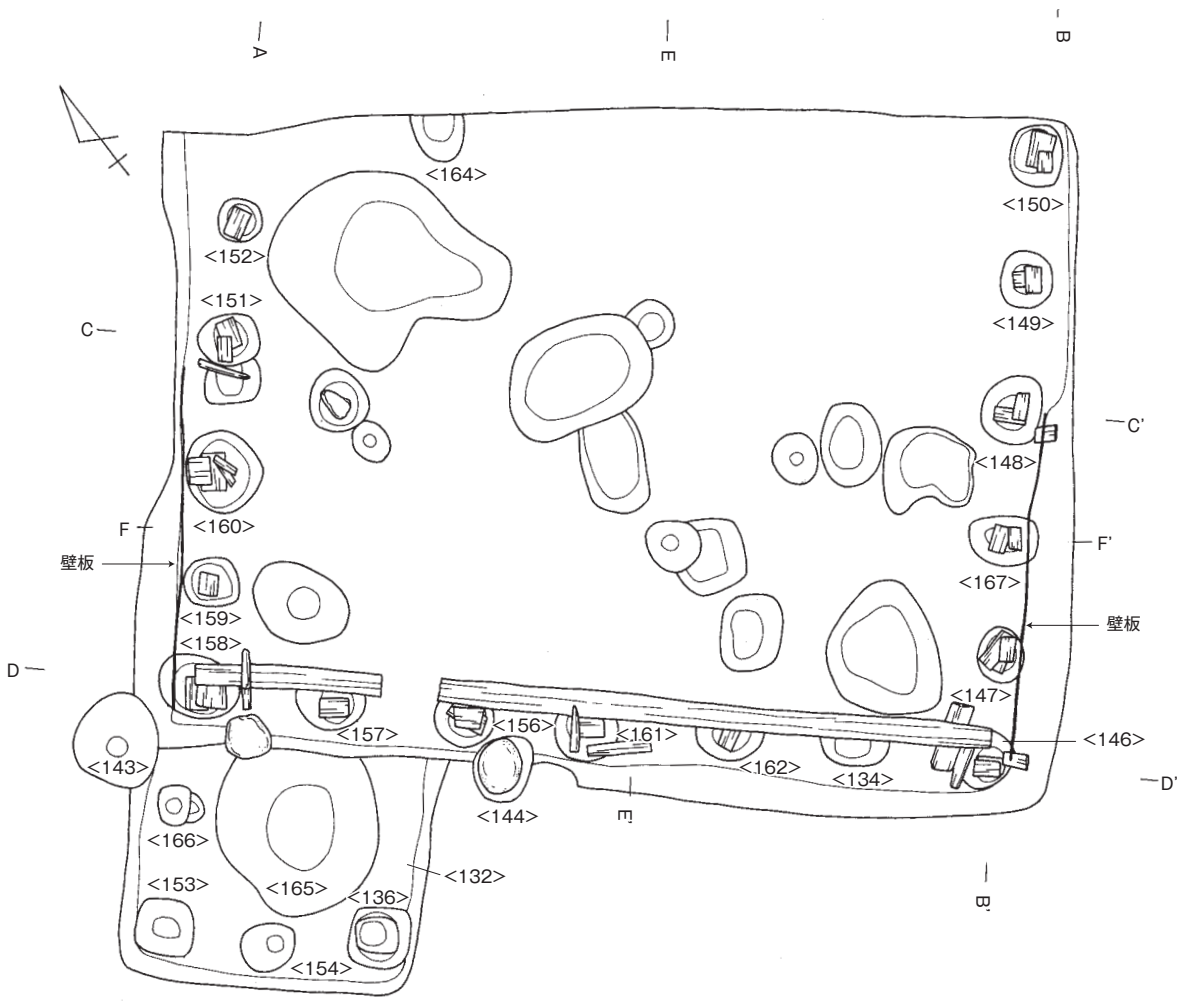


図7 遺構 131 個別遺構図・堆積土層図

土層注記 (図7)

- |    |          |                                |    |          |                     |
|----|----------|--------------------------------|----|----------|---------------------|
| 1  | 暗褐色弱粘質土  | 炭化物・泥岩粒・褐色砂質土                  | 13 | 暗褐色粘質土   | 炭化物・締まりなし           |
| 2  | 泥岩層      | 不整形の大型泥岩・炭化物                   | 14 | 暗茶褐色粘質土  | 炭化物                 |
| 3  | 泥岩層      | 泥岩・泥岩粒                         | 15 | 茶褐色粘質土   | 炭化物・黒色粘土            |
| 4  | 暗茶褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩・泥岩粒                     | 16 | 茶褐色粘質土   | 炭化物・黒色粘土・褐色砂質土      |
| 5  | 暗茶褐色弱粘質土 | 炭化物・泥岩粒                        | 17 | 灰褐色砂質土   | 炭化物・泥岩粒             |
| 6  | 泥岩層      | 微量の炭化物・上層には破碎泥岩・下層には大きめの泥岩床面か? | 18 | 灰褐色粘質土   | 炭化物                 |
| 7  | 暗褐色粘質土   | 炭化物・泥版粒                        | 19 | 灰茶褐色粘質土  | 泥岩粒・炭化物             |
| 8  | 茶褐色粘質土   | 炭化物・角材痕・下層に礎板                  | 20 | 灰茶褐色粘質土  | 泥岩粒・炭化物・黒色粘土・黄褐色砂質土 |
| 9  | 黄褐色粘質土   | 炭化物                            | 21 | 暗褐色粘質土   | 炭化物・締まり有り           |
| 10 | 黄褐色粘質土   | 褐色砂質土                          | 22 | 暗褐色粘質土   | 褐鉄・炭化物              |
| 11 | 黄褐色弱粘質土  | 黄褐色砂・炭化物                       | 23 | 暗褐色粘質土   | 炭化物・締まり有り・下層に大型土丹   |
| 12 | 暗褐色粘質土   | 炭化物・泥岩・泥岩粒                     | 24 | 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩・泥岩粒              |

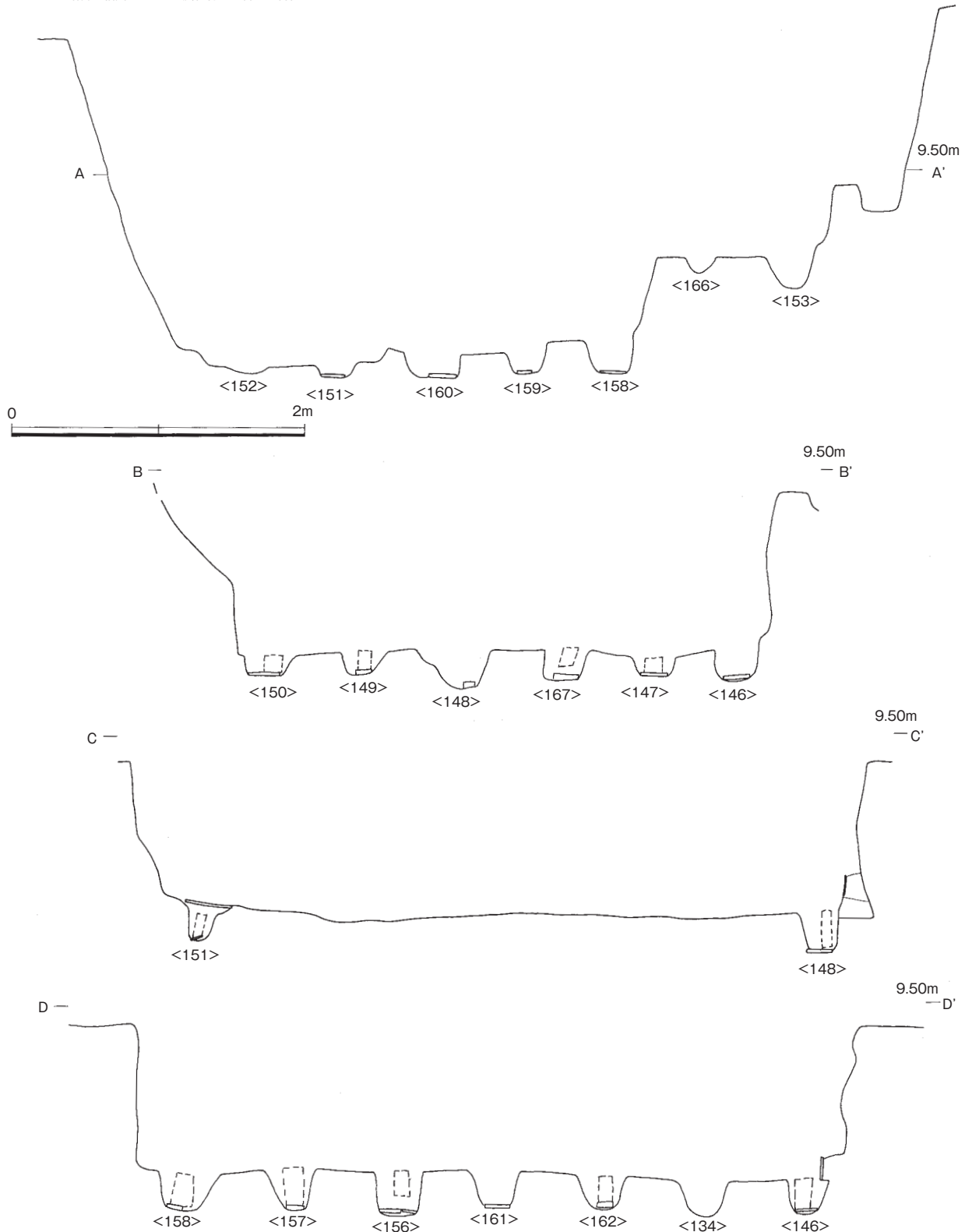


図8 遺構131・エレベーション図

・図6-15は鉄製品・釘。表面に木痕。破片で手づくね・白磁(器形不明)が出土している。

### 遺構387 (図6)

遺構378・遺構381に切られ規模が不明なため、個別の遺構図は載せていない。円形を呈するピット。暗褐色弱粘質土。泥岩粒・褐色砂質土・炭化物を多く含む。

・図6-19は手づくね。図6-20はかわらけ。内底部横ナデ痕。外底部板状圧痕。破片で手づくね・かわらけ・白かわらけ・渥美甕が出土している。

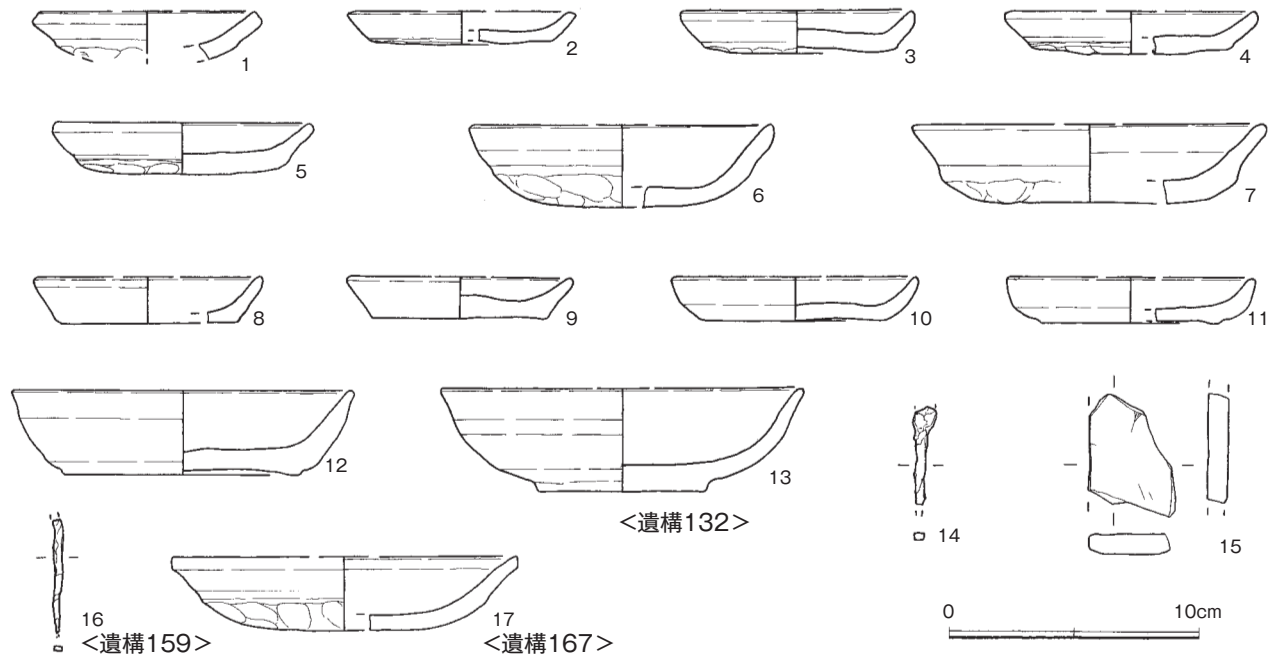


図9 遺構131内・個別遺構出土遺物

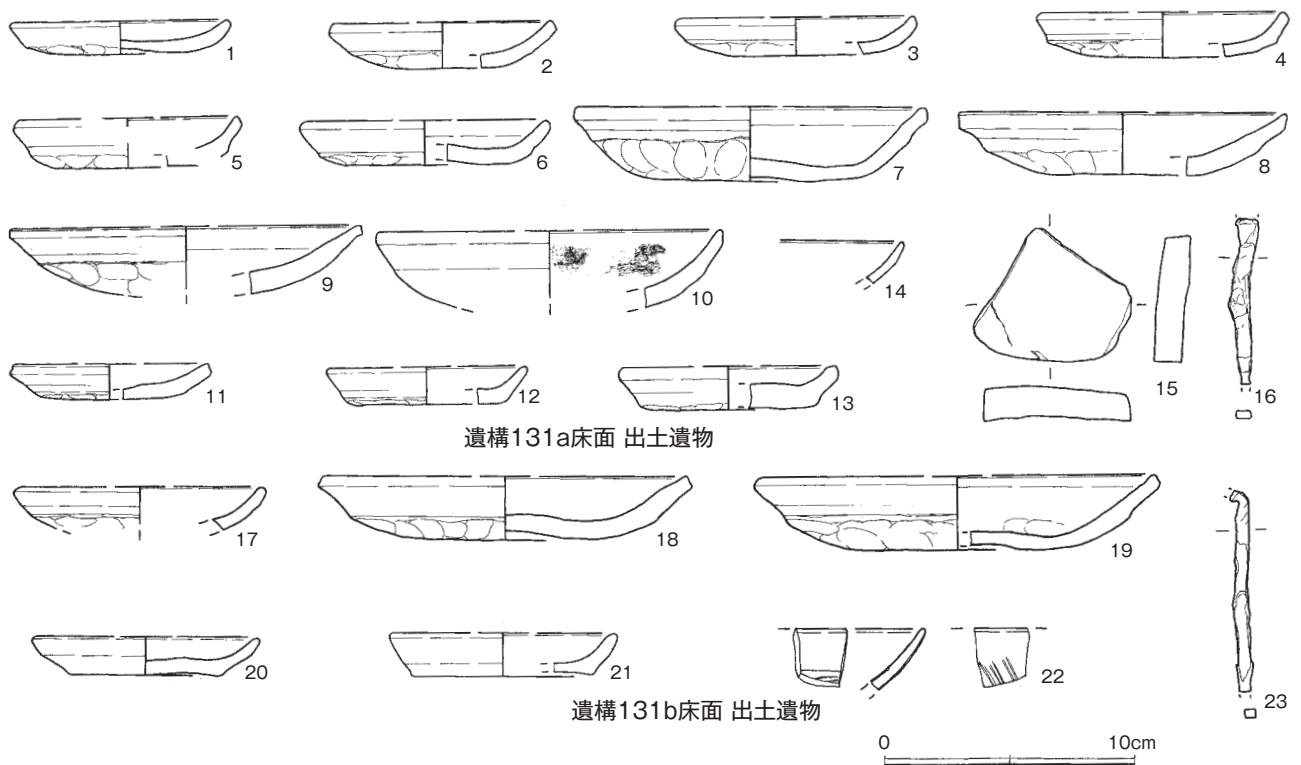


図10 遺構131底面出土遺物

## 遺構400 (図5)

楕円を呈するピット。黒褐色弱粘質土。泥岩粒・褐鉄を含む。出土遺物はない。

## 遺構430 (図5)

円形を呈する深いピット。黒褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒を含む。出土遺物はない。

## 遺構131 (図7～図12)

方形の張り出し部を持つ方形竪穴建築址である。上層のプラン確認では1時期の遺構と認識して調査を進めたが、土層堆積の観察から2時期の遺構(以下、旧方形竪穴・新方形竪穴)であると考えている。

土層図(図7)のスクリーントーンで示した土層が、新方形竪穴に作り直すために旧方形竪穴を埋めた堆積になる。旧方形竪穴底面には浅いピットが数穴残っていたが、いずれも柱穴や土台などの建物の構造を推測できる遺構ではなかった。床面となる最下層には炭化物の混じる黄褐色砂が薄く堆積していた。

新方形竪穴は、旧方形竪穴に泥岩を投げ入れ新しく床面を作っているため、一回り小さくなっている。遺構外に延びた側は未確認となるが、床面四周に柱穴が並ぶと思われる。確認した柱穴の芯芯間の距離

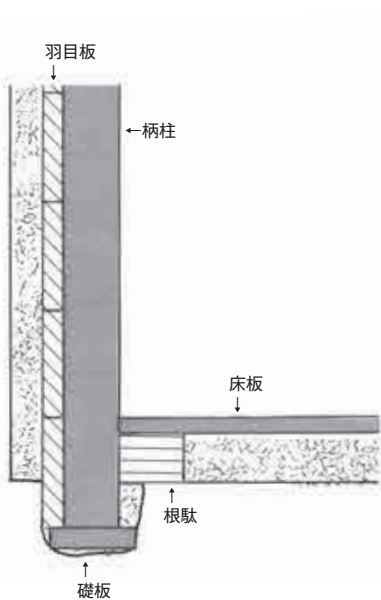


図11 構造模式図

は約70cm。柱穴底面には礎板が遺存していた。エレベーション図(図8)で、礎板上に点線で示した個所は柱痕である。木質が劣化してしおり採集することはできなかったが、柱材の太さが4寸×5寸(約12×15cm)の柱であったことを確認している。遺構の上場で南側辺cm 487cm。調査区外に延びた東側辺が365cm。西側辺が325cm。壁高は約80cm、礎板が遺存する位置で約130cmを測る。調査区外に遺構が延びてしまっているため、正確な形状・規模は不明。壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁際に一部ではあるが壁板が遺存していたが、遺存状況が悪く採集することはできなかった。

建物の構造は模式図(図11)に示したように、礎板を伴う柱穴に柄柱を建て、裏面に羽目板(壁板)で壁を作り、根太を床面に置き床板を張っていると思われる。

新しい方竪を壊す(埋める)際には、かなり大型の土丹を投げ入れているが、一時に埋めたのではなく少なくとも3時期に亘って埋められていた様子である。新方形竪穴の掘り方構成土は、灰茶褐色粘質土・褐色砂質土を含み、床面上層に堆積していた粘土層に近似していた。

遺構132(張り出し部)は、新方形竪穴に伴うものと考えている。遺構底面は細かく砕いた破碎泥岩で平坦に地業されていた。遺構の三方周囲に、芯芯で約30cmの間隔で柱穴を検出した。その内遺構136内には遺存状態が悪く採集はできなかったが礎板を確認している。床面中央には不定形な浅めの土坑を検出した。張り出し部単独の寸法は、1辺約130cm×約150cm・深さ約40cmを測った。

・図9の1～15は張り出し部の覆土内から出土した遺物である。

1～7は手づくね。1は精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。2は胎土に雲母を多く含む。3は歪みが大きく成形不良。4は内面ナデ痕。外底部に指頭による整形痕。5は精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。6は外底部に指頭による整形痕。7は精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。8～13はかわらけ。9は外底面に板状圧痕・火熱を受けたためか器肌が剥離している。10は外底部に板状圧

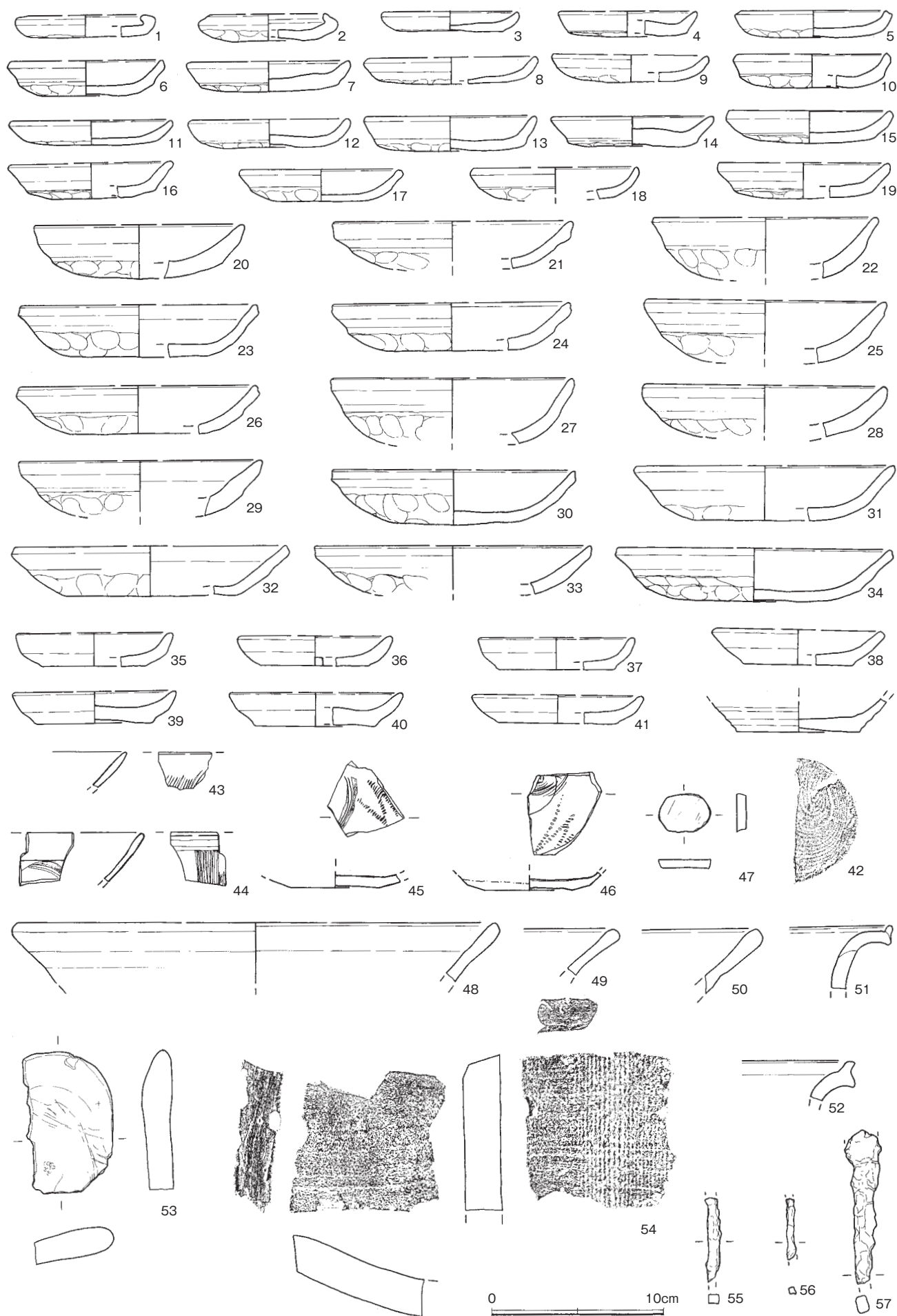


图12 遺構131一括出土遺物

痕・雲母を多く含む胎土。11は外底面に板状圧痕・内底面2か所に穿孔らしき痕跡。12は外底面板状圧痕・底部貼り付け・内底面に強く指頭による横ナデ痕。13はやや硬質な胎土・雲母を多く含む・外底部糸切りの後ナデの痕跡・丁寧な整形。14は鉄製品・釘。15は砥石・仕上砥・側面に切り出し痕。16・17は遺構131(方形竪穴)内の柱穴出土。16は鉄製品・釘。17は手づくね・外底部に指頭による整形痕・内底部ナデ痕。その他に手づくね・かわらけ・白かわらけ・青磁器種不明・常滑甕。常滑片口鉢I類・鉄製品釘・鉄滓が破片で出土している。

・図10・1～16は新方形竪穴の床面上から出土した遺物である。(観察表では131a床面と表記)

1～13は手づくね。1～3は外底部に指頭による整形痕。4は胎土に雲母を多く含む・外底部に指頭による整形痕。5は外底部に指頭による整形痕。6は硬質で精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。7は外底部に板状圧痕・指頭による整形痕・内底部指頭による横ナデ痕・胎土に雲母を多く含む。8は胎土が粗く、雲母を多く含む・外底部指頭による整形痕。9は外底部に指頭による整形痕。10は内面油煤か? 灰黒色に変色・外底部指頭による整形痕・胎土は赤褐色。11～12は外底部指頭による整形痕。

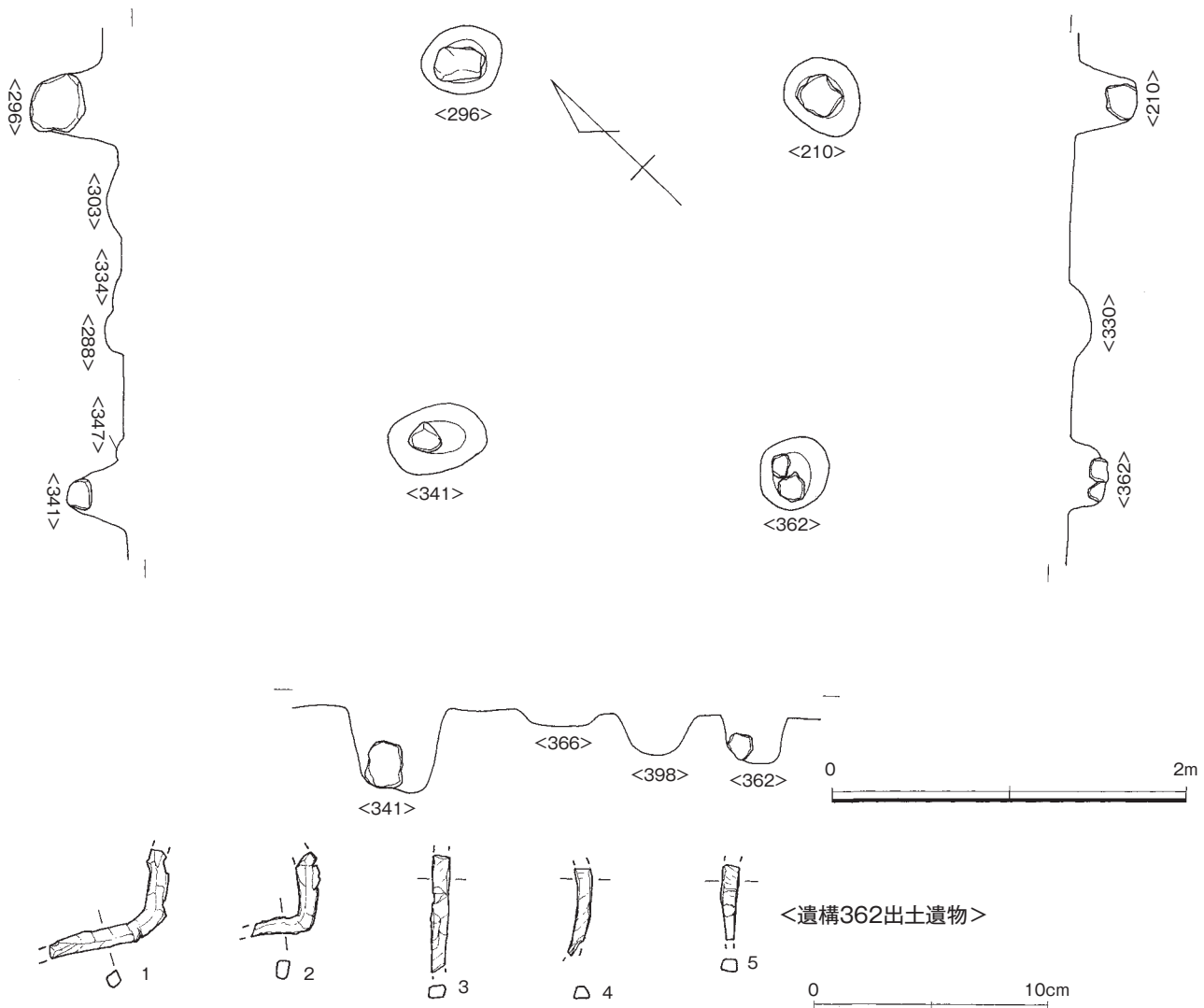


図13 第4面・礎石建物址・遺構362出土遺物

13は厚くて浅い器壁・外底部に指頭による整形痕。14は山皿・精緻な胎土。15は摩耗製品・常滑甕の胴部転用品・断面に使用痕。16は鉄製品・釘。

・図10・17～23は旧方形竪穴・床面出土遺物。(観察表では131b床面と表記)

17～19は手づくね。17は精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。18は外底部に指頭による整形痕。19は外底部に板状圧痕・指頭による整形痕。20・21はかわらけ。20は外底部に板状圧痕・内底面横ナデの後、見込み周囲をナデ。21は外底部板状圧痕。22は青磁櫛搔文皿・小片。23は鉄製品・釘。その他に破片で手づくね・かわらけ・渥美甕・常滑甕・緑釉盤・獣骨が出土している。

・図12は遺構131(新・旧方形竪穴)一括出土遺物。

1・2は内折れ手づくね。1は硬質で精良な胎土・外底部指頭によるナデ痕。2は外底面指頭による整形痕。3～34は手づくね。3は外底部指頭による整形痕。4は精良な胎土。5は胎土に雲母を多く含む。外底部指頭による整形痕。6は外底部指頭によるナデ痕。7は外底部指頭によるナデ痕。器形の歪み大きい。8は胎土に雲母を多く含む・外底部指頭による整形痕。9は硬質な胎土・外底部指頭によるナデ。10は胎土に雲母を多く含む・外底部指頭による整形痕。11は胎土に雲母を多く含む・外底部指頭によるナデ。12は外底部に指頭による整形痕・内底部横ナデの後見込み周囲をナデ。13は胎土に貝状骨針を含む・外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後見込み周囲をナデ。14は外底部板状圧痕・指頭による整形痕。15は外底部板状圧痕・指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲をナデ。16は外底部指頭による整形痕。17は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲をナデ。18・19は外底部に指頭による整形痕。20は胎土に雲母を多く含む・外底部指頭による整形痕。21は外底部指頭によるナデ。22は赤褐色を呈し、精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。23は外底部指頭による整形痕。24は外底部指頭によるナデ。25は硬質で精良な胎土・外底部に指頭による整形痕。26は外底部指頭による整形痕。27は外底面指頭による整形痕・内底部指頭によるナデ。28は胎土に雲母を多く含む・外底部指頭によるナデ。29は胎土に貝状骨針を含む・外底部に指頭による整形痕。30は硬質な胎土・外底部指頭によるナデ。31は内面に指頭によるナデ。32～34は外底部に指頭による整形痕。35～42はかわらけ。36は内底に穿孔あり。37・38は外底に板状圧痕。39は外底に板状圧痕・外側面に削り痕。40は外底に板状圧痕・内底に強いナデ痕。41は外底に板状圧痕。42は雲母を多く含む硬質な胎土・外側面に強く轆轤引き痕。43・45・46は青磁櫛搔文皿。44は青磁櫛搔文碗。47はかわらけ底部転用品・楕円の円盤状製品。48～50は常滑片口鉢I類。51・52は常滑甕。口縁部・暗緑色の降灰釉。53は凝灰岩・全体に摩耗痕あり・片面に刃物傷のような痕跡残る・用途不明。54は平瓦。55・56は鉄製品・釘。57は鉄製品・遺存状態が悪く用途不明。そのほかに、手づくね・かわらけ・白かわらけ・内折れ白かわらけ・青磁碗・青磁折れ縁皿・青磁劃花文碗・渥美甕・常滑甕・常滑片口鉢I類・瀬戸褐釉壺・瓦器火鉢・土師器甕・鉄製品釘・獣骨が破片で出土している。

### 礎石建物址 (遺構210・遺構296・遺構341・遺構362) (図13)

調査区西側で検出した礎石建物址である。多くの遺構が切りあって発見されており、建物址の検出は難しい状況であったが、ここに報告した柱穴は、それぞれがピット内に砂質凝灰岩の割石を遺存し、暗褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒・褐鉄を含み近似した覆土を持つ。確認できた規模は1間×1間であるが、調査区の北、および西に向かって建物範囲は延びると思われる。それぞれの柱穴間は芯芯で約210cmを測る。

・図13の1～5は、礎石建物址の柱穴(遺構362)出土遺物である。

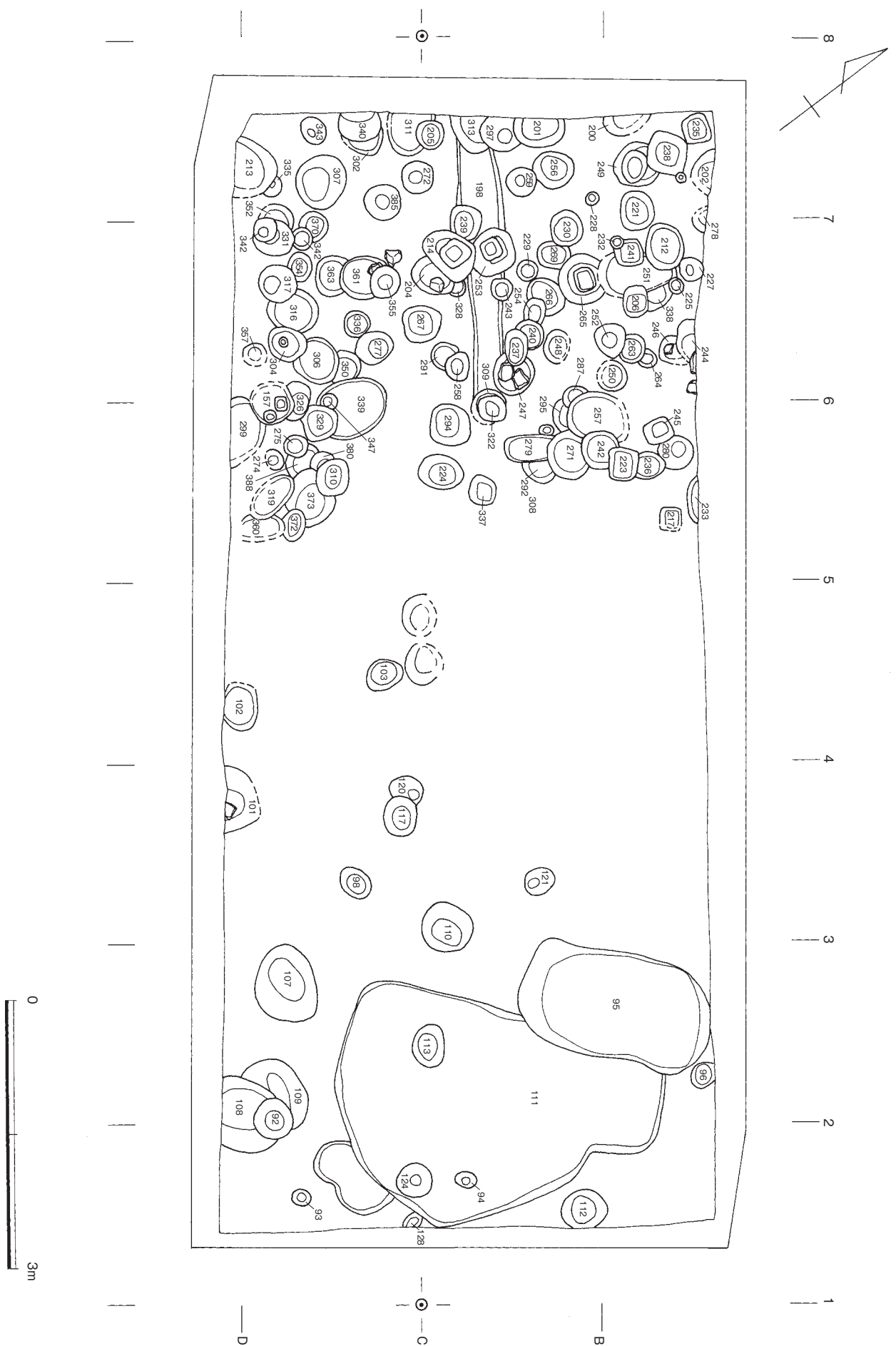
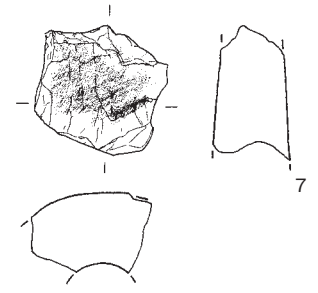
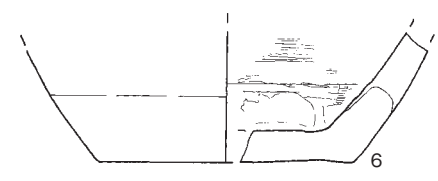
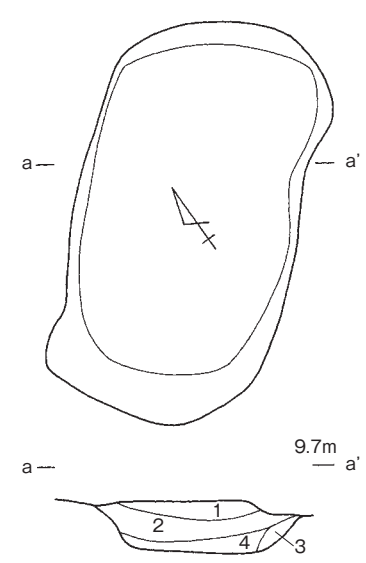
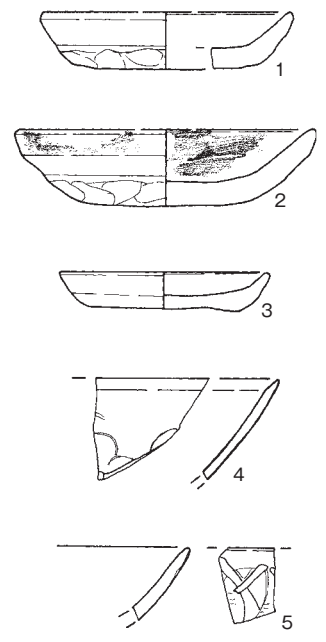
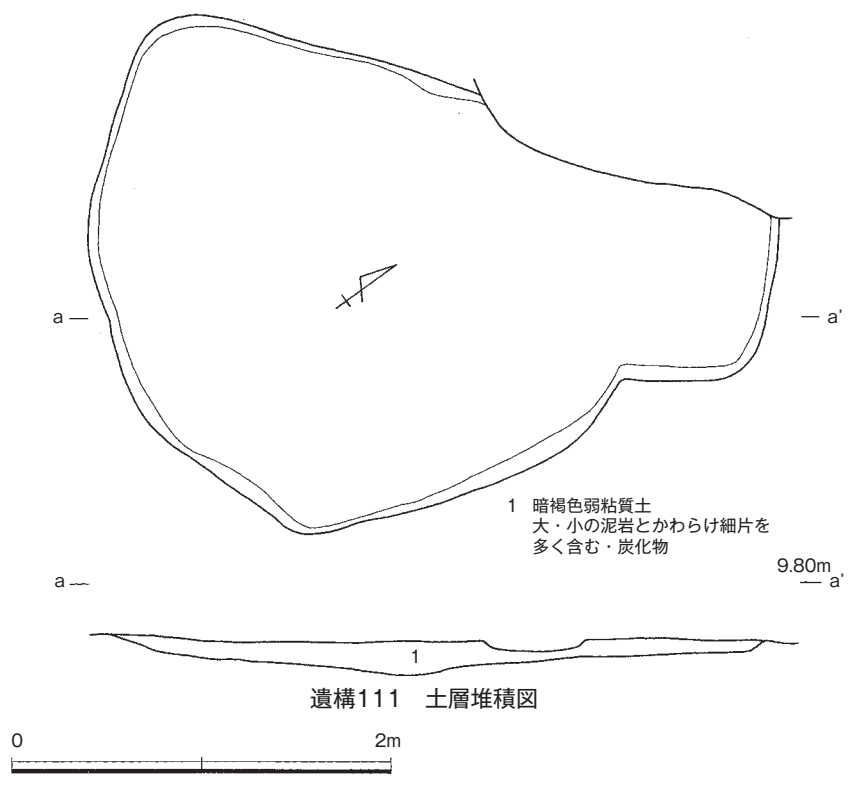


图 14 第3面全测图





遺構111

- 1 暗黄褐色粘質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂を含む
- 2 暗灰色弱粘質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・粘性あり・しまりあり
- 3 暗茶灰色弱粘質土 泥岩粒・炭化物・粘性あり
- 4 暗茶灰色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物

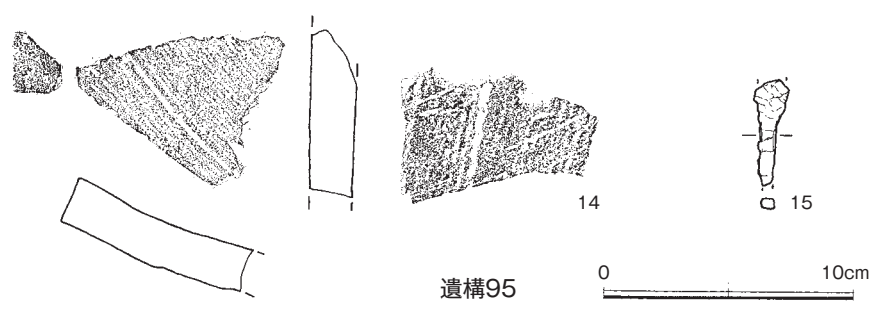
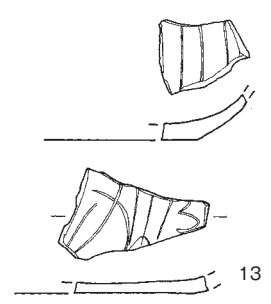
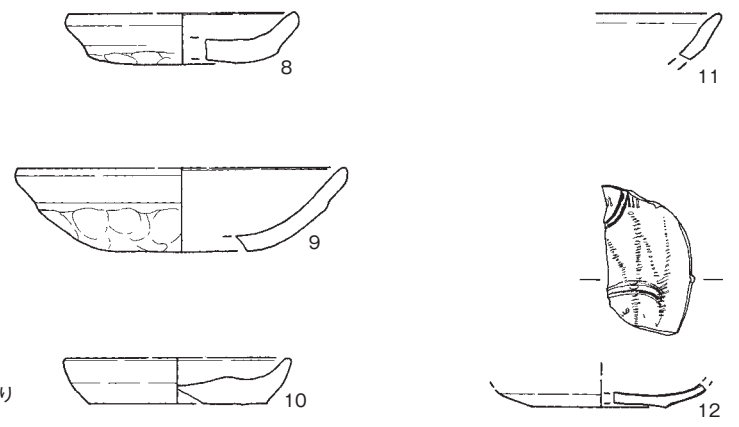


図15 遺構95・遺構111

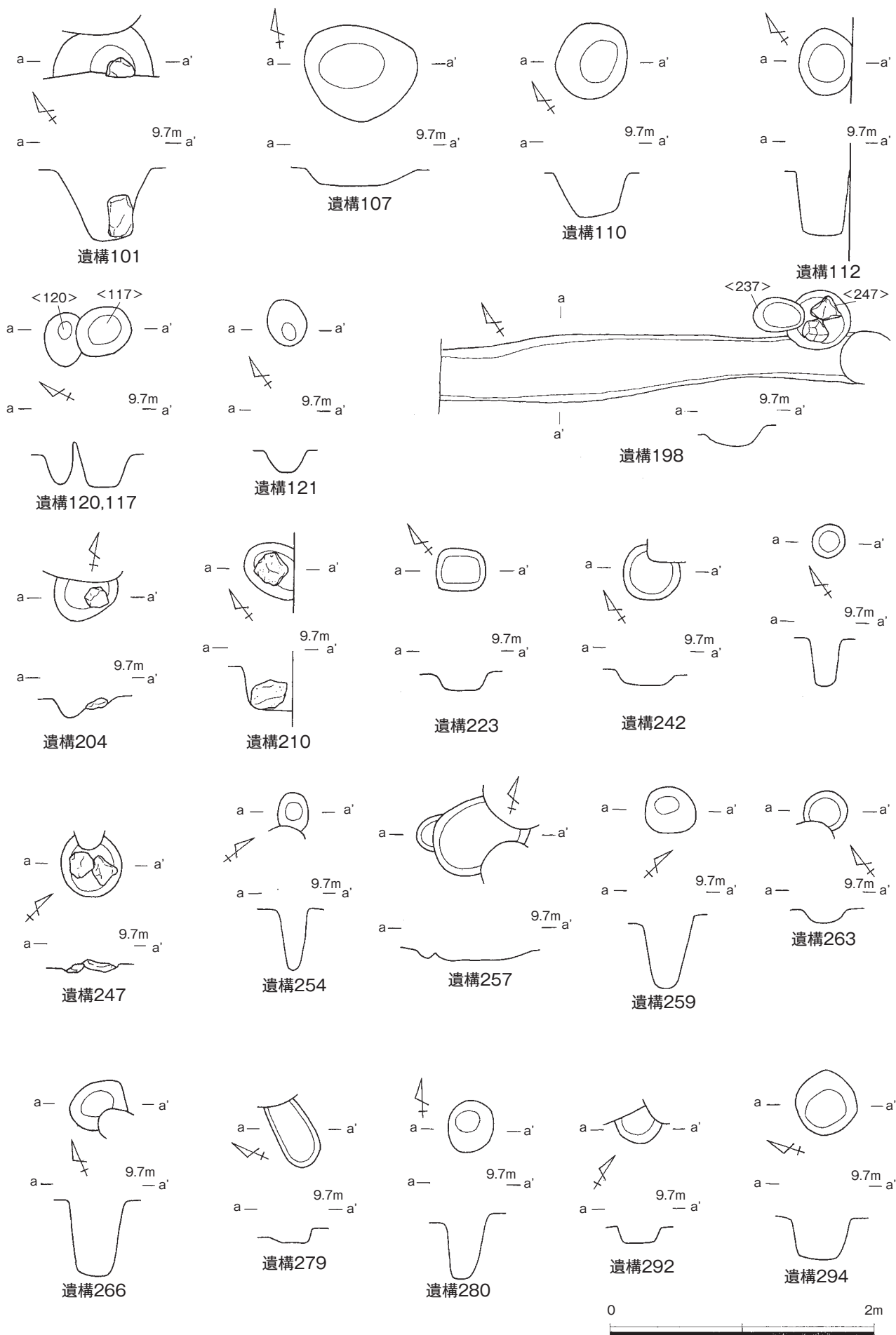


圖 16 第 3 面個別遺構圖 (1)

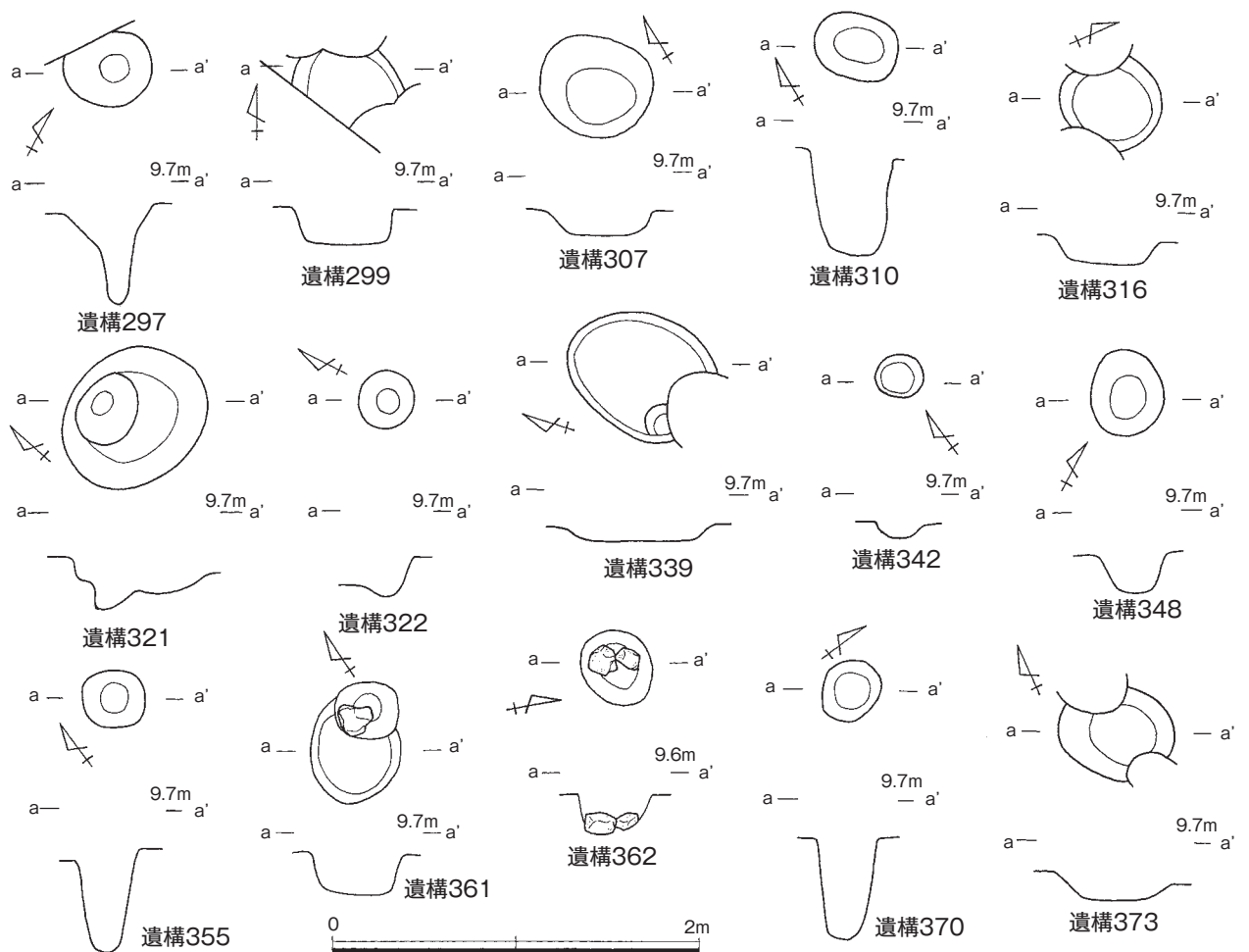


図17 第3面個別遺構図(2)

1～5は鉄製品・釘・その他に破片で手づくね・かわらけ。白磁口元皿が出土している。その他に柱穴(遺構341)で、実測はできなかったが手づくねが出土した。

## 第2節 第3面の遺構と遺物 (図14～図21)

前述した第4面と同様に、第3面も調査区の西側で多くの遺構が切りあって発見された。発見した遺構は土坑10基・ピット116穴・溝状土坑1基である。確認した地表レベルは海拔約9.50mを測る。調査区の西側では第4面の検出状況と同じく多くのピットが切りあって発見されたが、東側は後述する遺構111のような大型の土坑を検出し、遺構の検出状況が大きく異なる。

### 遺構95 (図15)

楕円を呈する浅い土坑。覆土は図15に表記しているが泥岩・泥岩粒を多く含む。後述する遺構111とともに、第4面で発見された方形竪穴建築址(遺構131)を埋めて整地する際の地業の一つであろうと思われる。

・図15-8～15は遺構95出土遺物である。

8・9は手づくね。8・9は外底部に指頭による整形痕。9は胎土に雲母を多く含み硬質な胎土。10はかわらけ。雑な成形。内底面横ナゲの後、見込みをナゲで整形。11は山茶碗。やや粗い胎土。12は青磁櫛搔文皿。外底部無釉。13は緑釉の洗。内底部に花文の線刻。内側面に沈線。14は平瓦。15は鉄製品・釘。その他に破片で、手づくね・かわらけ・白かわらけ・常滑甕・渥美甕が出土している。

### 遺構 101 (図 16・図 18)

調査区外に遺構が延びているために正確な形状・規模は不明。土坑である。遺構底面に泥岩が遺存。根固めか？覆土は暗灰色砂質土。暗茶褐色弱粘質土・炭化物を含む。

・図 18 - 1 は手づくね。外底部指頭と篋状工具によるナデ痕・外側面に筋状に回転ナデの跡が残る・内底部横ナデの後見込み周囲をナデ。

### 遺構 107 (図 16・図 18)

不正円形の浅い土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・黒色粘質土を含む。

・図 18 - 2・3 は遺構 107 出土。

2 はかわらけ・外底部板状圧痕・内底部横ナデ・胎土に雲母を多く含み軟質。3 は青磁櫛搔文皿。破片で手づくね・かわらけが出土している。

### 遺構 110 (図 16・図 18)

円形の土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図 18 - 4 は手づくね。赤褐色を呈し硬質な胎土。外底部指頭によるナデ・内底部横ナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・渥美甕・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構 111 (図 15)

不定形の浅い土坑。覆土は黒褐色粘質土。大型の破碎泥岩を含み、かわらけ細片が多く混入していたが、遺構 95 とともに、第 4 面で発見した遺構 131 を埋めて地業をした際の遺構であると考えている。

・図 15 - 1 ~ 7 は遺構 111 出土遺物である。

1・2 は手づくね。1 は赤褐色を呈し、硬質な胎土。2 は外底部に指頭による整形痕。3 はかわらけ。内面見込み全体に横ナデ痕。外底部板状圧痕。4 は青白磁碗。内面に花文。5 は青磁鎬蓮弁文碗。6 はかわらけ質土器。外底部篋状工具によって糸切り痕を消している。・内底部ナデ痕・胎土に雲母を多く含む粗い土。7 は轡の羽口破片。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・青磁劃花文碗・渥美甕・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦・鉄製品釘が破片で出土している。

### 遺構 112 (図 16・図 18)

楕円形を呈するピット。覆土は黒色弱粘質土・炭化物を多く含む。

図 18 - 5 はかわらけ。胎土は雲母を多く含みや粉質。その他に、手づくね・かわらけ・山茶碗が破片で出土している。

### 遺構 117・120 (図 16・図 18)

遺構 117 は楕円形を呈するピット。遺構 120 を切る。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物褐色砂質土を含む。遺構 120 は円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物を多く含み、泥岩粒混入。

・図 18 - 6・7 は遺構 117 出土。

6 は常滑片口鉢Ⅰ類。白色粒を多く含み硬質な胎土。7 は鉄製品・釘。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

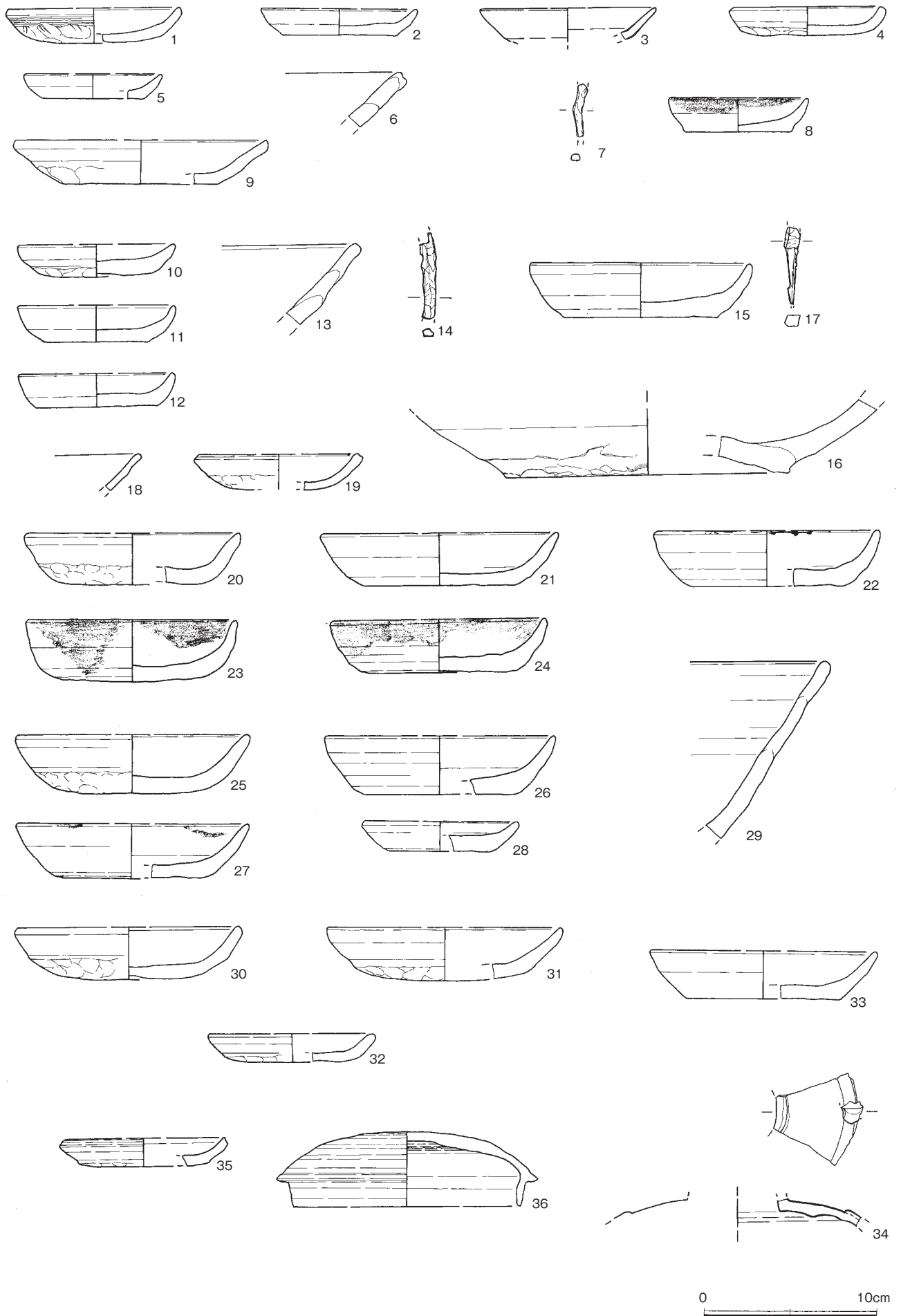


图 18 第 3 面个别遺構出土遺物

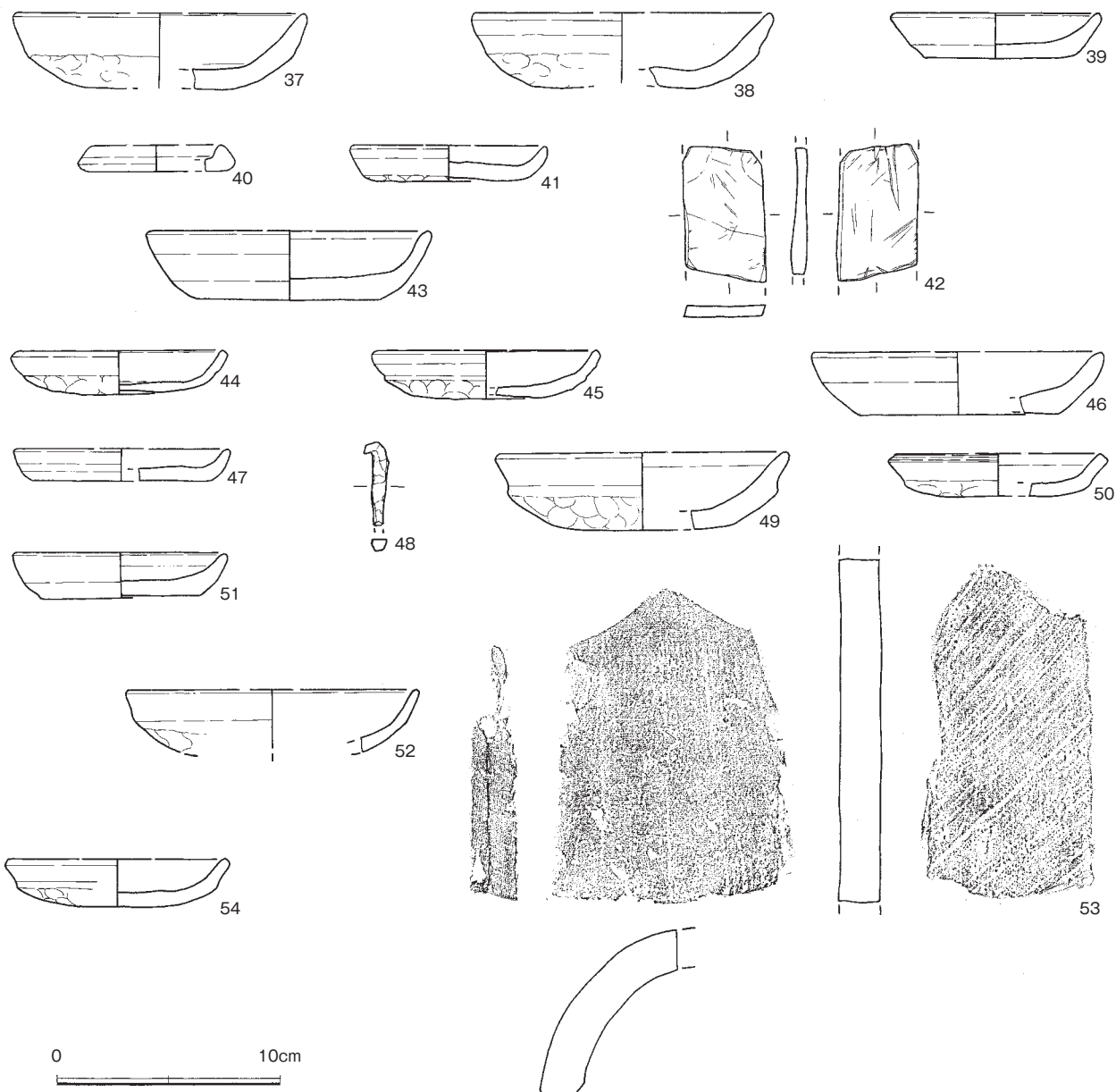


図19 第3面個別遺構出土

・図18 - 8は遺構120出土。

8はかわらけ。内底部横ナデ・内外面口唇部に油煤痕。その他に、破片で手づくねが出土している。

### 遺構121 (図16・図18)

楕円を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を多く含む。締まりなし。

・図18 - 9は手づくね・外底部に指頭による整形痕・内底部横ナデ痕・胎土に雲母を多く含み、やや硬質。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構198 (図16・図18)

溝状の土坑である。遺構の片端は調査区外に延び、一方は上層の遺構によって削平を受け、正確な形状・規模は不明。覆土は茶褐色砂質土・貝砂を多く含み、炭化物・泥岩粒・褐鉄を含む。

・図18 - 10 ~ 14は遺構198出土

10は手づくね。外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲をナデ。11・12はかわらけ。

11は底部粘土版貼り付け・雑な成形。12は外底部板状圧痕・内底部横ナデ。13は常滑片口鉢Ⅰ類・口唇部摩耗。14は鉄製品・釘。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

#### 遺構204 (図16)

円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土。泥岩・泥岩粒を覆土内に多く含む。根固めとして使用したのか？若干の炭化物混入する。出土遺物はない。

#### 遺構210 (図16)

調査区外に遺構が延びるが、楕円形を呈すると思われるピット。ピット底面に不整形の砂質凝灰岩。覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・泥岩粒を含む。出土遺物はない。

#### 遺構223 (図16)

方形を呈するピット。暗茶褐色弱粘質土。泥岩粒・炭化物を含む。出土遺物はない。

#### 遺構242 (図16・図18)

円形を呈するピット。上層の遺構に壊され正確な規模は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図18 - 15 ~ 17は遺構242出土遺物

15はかわらけ。橙色を呈し外底部に板状圧痕・内底部横ナデ。16は常滑・甕底部片。外底部雑な成形・外側面篋状工具による整形痕。17は鉄製品・釘。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

#### 遺構243 (図16)

円形を呈する深いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。覆土内に有機質土も混入しており、柱、あるいは杭が立っていたのかもしれない。出土遺物はない。

#### 遺構247 (図16・図18)

円形を呈するピット。上層の遺構によって壊されており、底面の砂質凝灰岩のみ確認した。根固めだったか？覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図18 - 18は須恵器・碗の口縁部片。全体に摩耗している。その他に、手づくね・瓦器碗が破片で出土している。

#### 遺構254 (図16・図18)

円形を呈する深いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物・泥岩を含み、覆土内に有機質土が混入する。杭、あるいは柱痕か？

・図18 - 19は手づくね。外底部に指頭による整形痕。その他に、破片で手づくねが出土している。

#### 遺構257 (図16・図18)

楕円形を呈する土坑。上層の遺構に壊されて正確な規模は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物を多く含む・締まりのない土。

・図18 - 20 ~ 24は遺構257出土。

20は手づくね。外底部指頭による雑な整形痕。内底部横ナデ痕。小石粒を含む粗い胎土。21 ~ 24はかわらけ。21は外底部板状圧痕。内底部横ナデの後、見込み周囲を指頭によるナデ。22は外底部板状圧痕内底部に強い横ナデ痕・口唇部油煤痕。23は器形の歪みが強い。外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。外側面・内側面から内側面にかけて油煤痕。24は外底部板状圧痕・内面全体を指頭による横ナデで整形している。内外側面から口唇部全周に油煤痕。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

#### 遺構259 (図16・図18)

円形を呈する深いピット。暗褐色粘質土。泥岩粒・炭化物を含む。

・図18 - 25 ~ 29は遺構259出土。

25は手づくね。外底部指頭による整形痕。内底部横ナデ痕・赤褐色を呈し、やや硬質な胎土。26 ~ 28はかわらけ。26は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・胎土に雲母を含み、やや硬質。27は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・口唇部に油煤痕。28はかわらけ。外底部板状圧痕・雑な整形・内底部横ナデ痕。29は常滑片口鉢Ⅰ類・内側面下部が摩耗している。使用痕か?その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・須恵器蓋が破片で出土している。

#### 遺構263 (図16・図18)

円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図18 - 30は手づくね。外底部に指頭によるナデ痕。内底部強い横ナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけが破片で出土している。

#### 遺構266 (図16・図18)

円形を呈する深いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図18 - 31は手づくね。外底面に指頭によるナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・鉄製品釘が出土している。

#### 遺構279 (図16・図18)

楕円形を呈する土坑。上層の遺構に壊されており規模は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図18 - 32は手づくね。外底面指頭による整形痕。内底面に強い横ナデ。胎土に雲母を多く含む。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

#### 遺構280 (図16・図18)

円形を呈する深いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図18 - 33・34は遺構280出土。

33はかわらけ。外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・胎土橙色を呈し雲母を多く含む。34は白磁四耳壺・素地・灰色を呈し堅緻。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・白磁器種不明が破片で出土している。

#### 遺構292 (図16・図18)



円形を呈するピット。上層の遺構に壊されており規模は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図18 - 35・36は遺構292出土。

35は手づくね。外底部指頭によるナデ痕・内底部ナデ痕。36は須恵器・蓋。胎土に白色粒を多く含む。外面頂部に篋による丁寧な整形痕。その他に、破片でかわらけが出土している。

#### 遺構294 (図16・図19)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図19 - 37～39は遺構294出土。

37・38は手づくね。37・38は外底面指頭による整形痕。内底面指頭による横ナデ痕。39はかわらけ。外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。胎土赤褐色を呈しやや硬質。その他に、手づくねが破片で出土している。

#### 遺構297 (図17・図19)

円形を呈する深いピット。暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図19 - 40～42は遺構297出土

40はコースター形の手づくね。外底面ナデによる整形。41は手づくね。外底面指頭による整形痕・内底面ナデ痕。42は石製品・砥石。仕上砥・側面に切り出し痕。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構299 (図17・図19)

楕円形を呈する土坑。覆土は暗褐色弱粘質土・褐色砂質土・炭化物・泥岩粒を含む。

・図19 - 43はかわらけ。胎土に白色粒を多く含む。底部粘土貼り付け。内底面に強く横ナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・常滑甕が出土している。

#### 遺構307 (図17・図19)

楕円形を呈する土坑。覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物を多く含み、焼土黒色粘土・泥岩粒・褐鉄を含む。玉石混入。

・図19 - 44・45は手づくね。44は外底面板状圧痕・指頭によるナデ痕・やや硬質な胎土。45は外底面の整形が雑なため歪みが大きい。内底面指頭によるナデ痕・硬質な胎土・焼成良好。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

#### 遺構310 (図17・図19)

円形を呈する深いピット。暗褐色弱粘質土・炭化物・泥岩粒を含み、締まりのない土。

・図19 - 46はかわらけ。外底部に板状圧痕。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・白磁器種不明・常滑甕が破片で出土している。

#### 遺構321 (図17)

楕円形を呈するピット。杭か柱の抜き痕か？覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物を多く含み、泥岩粒・褐色砂質土を含む。破片で、手づくね・かわらけ・常滑甕が出土している。

### 遺構322 (図17)

円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・締まりのない覆土。破片で手づくねが出土している。

### 遺構339 (図17・図19)

楕円形を呈する土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図19-47はかわらけ。内底部に強い横ナデ痕。

### 遺構342 (図17・図19)

円形を呈する浅いピット。暗茶褐色弱粘質土・炭化物を含む。下層に褐鉄が堆積。

・図19-48は鉄製品・釘。その他に破片で、手づくねが出土している。

### 遺構348 (図17)

円形を呈するピット。覆土は暗茶褐色粘質土・炭化物・泥岩粒・褐鉄を含む。破片で、手づくね・かわらけが出土している。

### 遺構355 (図17・図19)

円形を呈する深いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土・泥岩粒・炭化物を含む。

・図19-49・50は手づくね。49は外底面指頭によるナデ痕。50は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が出土している。

### 遺構361 (図17・図19)

円形を呈するピット。遺構355に切られる。暗褐色弱粘質土・炭化物・褐鉄を含む。

・図19-51はかわらけ。外底面板状圧痕・雑な整形・内底面に強く横ナデ痕・覆土に雲母を多く含む。

### 遺構362 (図17)

円形を呈するピット。底面に砂質凝灰岩が残る。根固めか？暗褐色弱粘質土・黒色粘土・褐鉄を含む。破片で、手づくね・かわらけ・白磁口兀皿・鉄製品釘が出土している。

### 遺構370 (図17・図19)

円形を呈する深いピット。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・炭化物を多く含む。覆土内に焼けた骨片を発見した。獣骨か？

・図19-52・53は遺構370出土

52は手づくね。外底面に指頭による整形痕。53は丸瓦。その他に、手づくね・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構373 (図17・図19)

楕円形を呈する土坑。上層の遺構に壊され規模は不明。覆土は暗褐色弱粘質土・黒色粘土・炭化物を含む。

・図19-54は手づくね。外底面ナデによる丁寧な整形・内底面横ナデ痕・赤褐色を呈し硬質な胎土。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

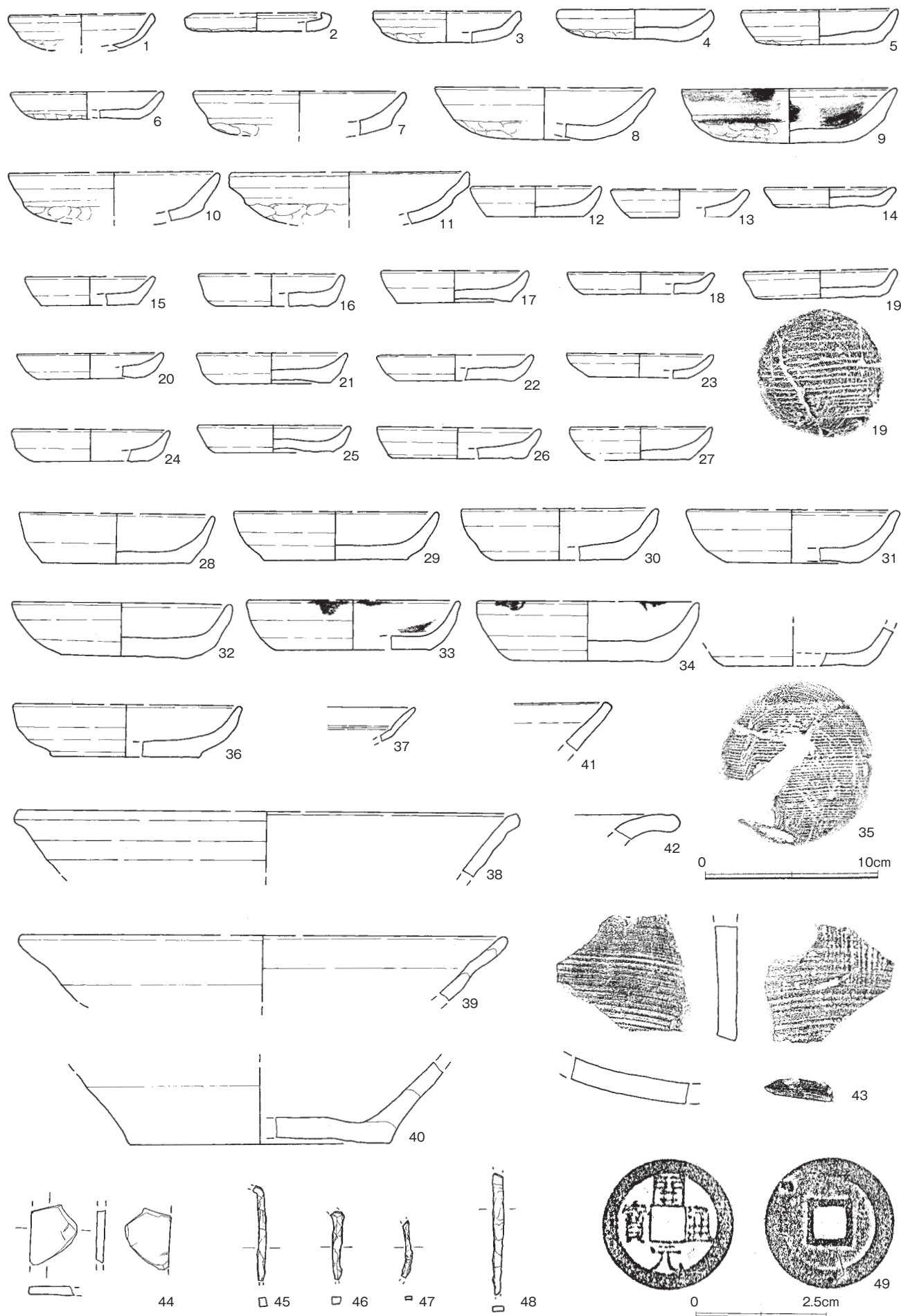


图20 第3面面上出土遺物

・第3面上出土遺物 (図20)

1～11は手づくね。1は白かわらけ・外底部指頭による整形痕・硬質な胎土。2は内折れかわらけ・外底部指頭によるナデ痕。3は外底部指頭による整形痕内底のナデ整形は不明。4は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲をナデて整形・小石粒の混入する粗い胎土。5は外底部をナデにより丁寧に整形・内底部横ナデの後、回転によるナデ整形。6は外底部指頭によるナデ整形・内底部やや強い横ナデ・胎土に雲母を含みやや硬質。7は小石粒を含む粗い胎土。8は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲を回転ナデ。9は外底部指頭によるナデ痕・内底部粗い横ナデ痕・内底から内側面にかけて濃い油煤痕・大型の器形である。10は外底部指頭によるナデ整形・内底部強い横ナデ痕。11は外底部指頭による整形痕・内底部弱い横ナデ痕・精良な胎土でやや硬質・大型の器形である。12～36はかわらけ。12は外底面板状圧痕・内底部やや強い横ナデ痕。13は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。14は外底部板状圧痕・内底部ナデ不明。15は内底部横ナデ痕。16は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・分厚い底部を持つ。17は外底部板状圧痕・内底部に強い横ナデ痕。18は外底部板状圧痕・内底部横ナデ。19は外底部にすだれ状の圧痕・内底部雑な横ナデ痕・軟質な胎土。20は外底部板状圧痕・内面ナデ不明。21は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。22は底部粘土版貼り付け痕・内底部雑な横ナデ痕。23はやや硬質な胎土。24は内底部横ナデ痕。25は外底部板状圧痕・内底部雑な横ナデ痕。26は外底部に19と同様のすだれ状圧痕・内底部雑な横ナデ痕。27は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。28は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。29は外底部板状圧痕・内底部丁寧な横ナデ痕。30は外側面に回転ナデの稜が強く残る・内底面横ナデ痕。31は内底面に弱い横ナデ痕。32は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。

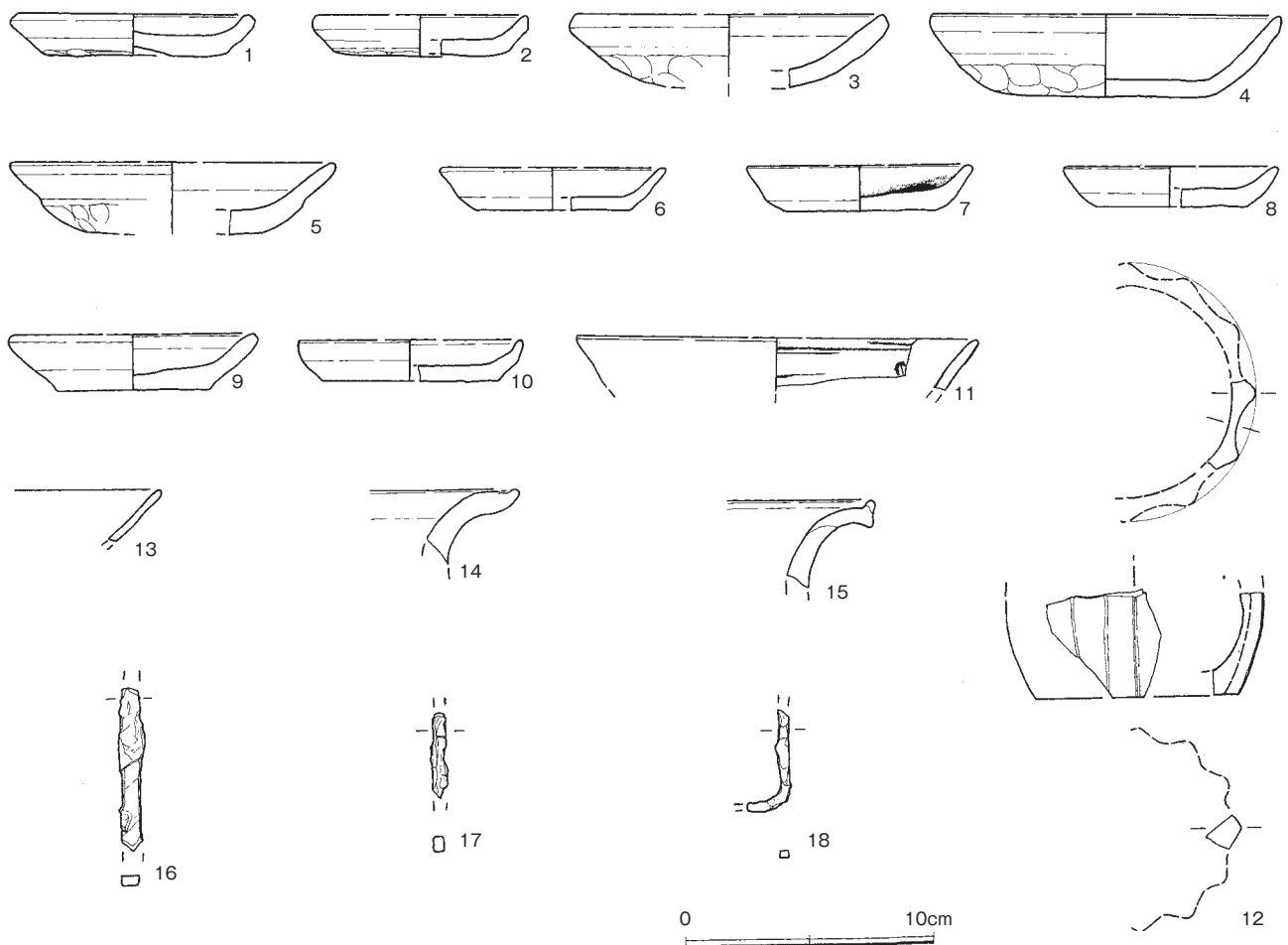


図21 第3面構成土

33は外底面板状圧痕・口唇部一部内外面に油煤痕。34は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕・口唇部に油煤痕。35は外底面に19と同様のすだれ状の圧痕・底部粘土版貼り付け痕・内底部雑な横ナデ痕。36は外底部板状圧痕・底部粘土版貼り付け痕・内底部横ナデ痕。37は青磁櫛搔文皿・軟質な胎土。38～41は常滑片口鉢Ⅰ類。38・39は白色粒が多く含まれる胎土。40は胎土赤褐色を呈し、内底部に指頭による整形痕。41は硬質な胎土。42は渥美甕の口縁部片。43は平瓦。44は石製品・砥石・仕上砥。45～48は鉄製品・釘。49は銭・開元通寶。

### ・第3面構成土出土遺物(図21)

1～5は手づくね。1は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕・胎土に雲母を多く含みやや硬質。2は外底部指頭によるナデ痕・内底部横ナデ痕。3は外底部指頭による整形痕・内底部にやや強めの横ナデ痕。4は外底部板状圧痕・指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。5は外底部指頭による整形痕・内底部強い横ナデ痕・雲母・白色粒を含み粗い胎土。6～10はかわらけ。6は外底面板状圧痕。内面弱いナデ痕。7は粗い胎土・二次焼成か?内面に煤痕。8は外底面板状圧痕・内面弱いナデ痕。9は外底部に板状圧痕・内底面横ナデ痕・手づくねの器形に似て外側面肥厚する。10は外底面に板状圧痕・内底面に弱い横ナデ痕。11は青磁櫛搔文碗。12は青白磁壺・瓜形か?13は山茶碗外面口唇部から内面にかけて降灰釉。14・15は常滑甕口縁部片。16～18は鉄製品・釘。

## 第3節 第2面の遺構と遺物 (図22～図30)

上層の遺構によって壊されている部分を除き、丁寧な泥岩による地業層上で第2面を検出した。地業が遺存している部分はスクリーントーンで示している。地業は意識的に平らに割って整形した大型の泥岩と、細かに割り砕いた泥岩を使用している。細かく割砕いた泥岩の地業層序一部には、かわらけ細片も地業材として利用していた様子も観察された。2面構成土は泥岩層と薄い暗茶褐色弱粘質土が互層に堆積し地業していた様子を観察している。また、一部ではあるが地業層上面に貝砂の混じる褐色砂質土が堆積していた。発見した遺構は土坑12基・ピット56穴である。第2面検出レベルは海拔約9.70mである。

### 遺構52 (図22・図28)

調査区をⅠ区・Ⅱ区と分けた境で発見したため正確な形状は不明。円形を呈する浅いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土を多く含む。

・図28-1は鉄製品・釘。その他に、手づくねが破片で出土した。

### 遺構54 (図22・図28)

調査区南東隅で発見し、調査区外に遺構が延びてしまっているため正確な形状は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土を多く含む。

・図28-2は緑釉洗。胎土灰褐色を呈し、白色粒の混じる粗い土。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構59 (図27・図28)

円形を呈する土坑。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図28-3は手づくね。胎土に雲母が多く混入。内底面横ナデ痕。その他に、手づくね・白かわらけが

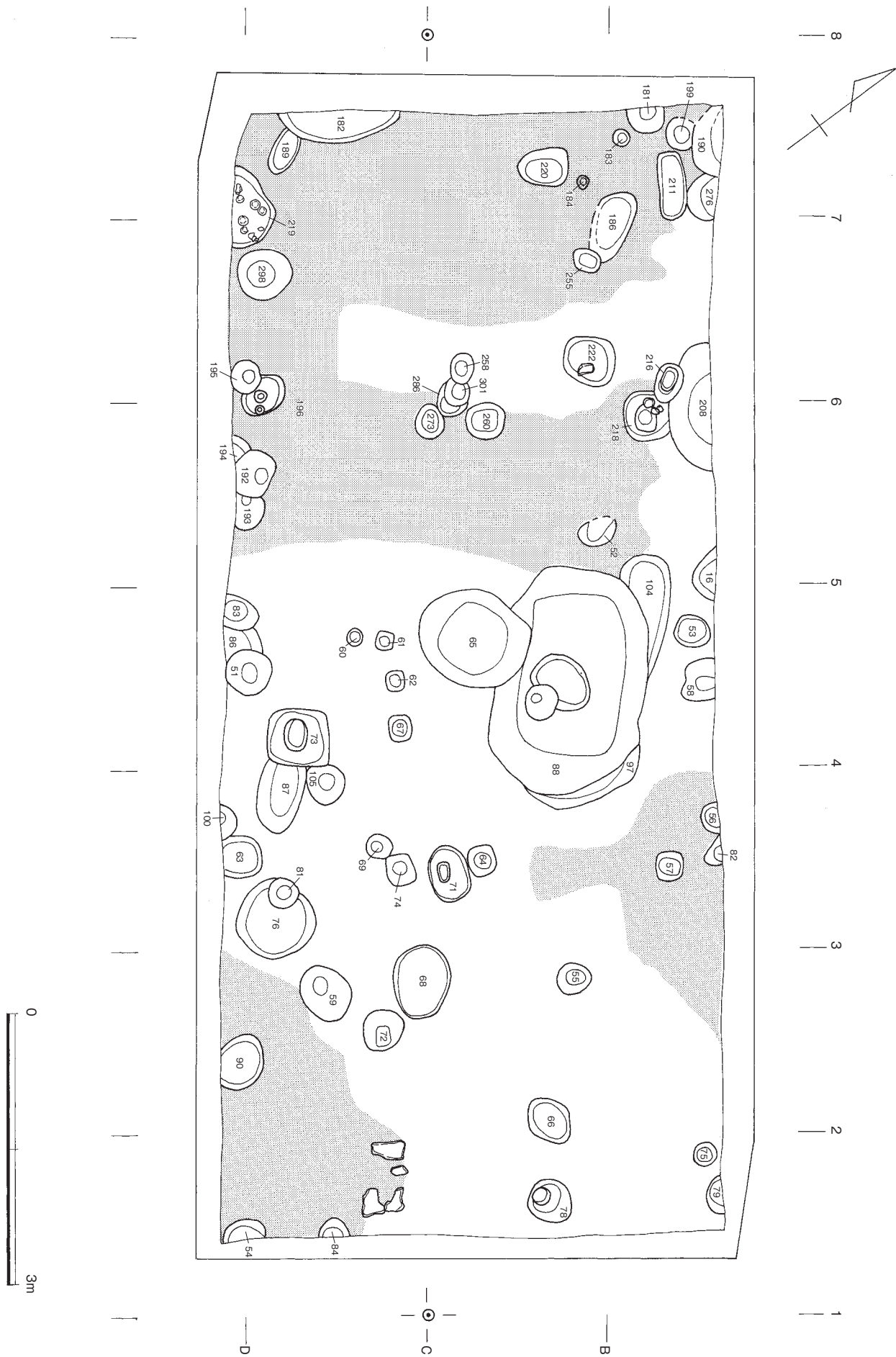


图22 第2面全测图

破片で出土している。

### 遺構63 (図27・図28)

調査区外に遺構が延びてしまっていたため正確な形状は不明。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物・泥岩粒・褐色砂質土を含む。

・図28 - 4 は山茶碗口縁部片。灰色を呈し堅緻で精良な胎土。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけが破片で出土している。

### 遺構65 (図23)

円形を呈する土坑。上層の井戸であった可能性がある。覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む。下層に有機質土が堆積していた。第2面調査時には遺構底面まで掘りきることができなかったが、第3面地業層上で痕跡を確認することができなかったため、この段階でほぼ底部まで検出していると思われる。

・図23・1～4 は遺構65出土

1・2はかわらけ。1は赤褐色を呈し、やや硬質な胎土。ほぼ直立する器壁を持つ。外側面は轆轤成形時の回転のナデが強く残る。2は口唇部に油煤痕。内底に弱い横ナデ痕。3・4は常滑甕。3は白色粒を多く含む粗い胎土。4は外側面下部に篋状工具による整形痕。黒色粒を含む粘性の強い胎土。その他に破片で、手づくね・かわらけ・白かわらけ・青磁器種不明・白磁器種不明・渥美甕・常滑甕・常滑片口鉢I類・瀬戸褐釉器種不明・瀬戸器種不明・平瓦が出土している。

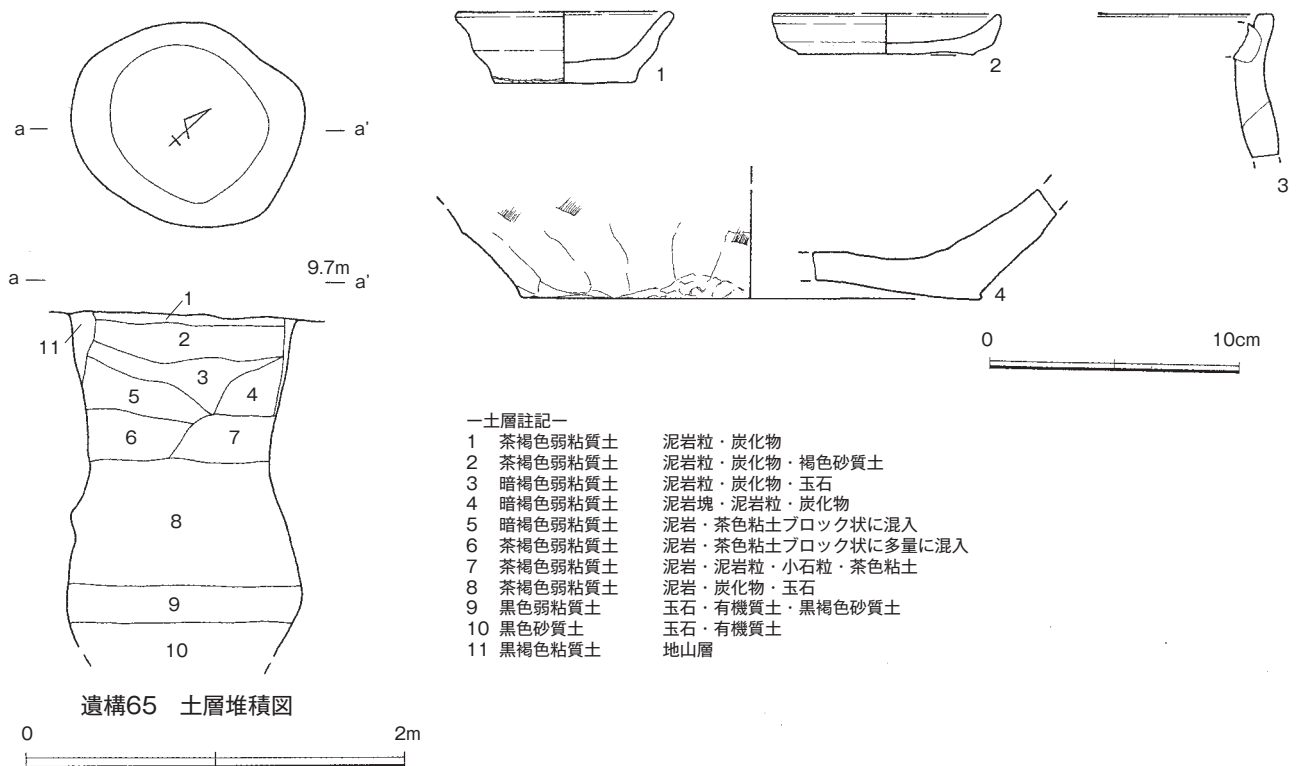


図23 遺構65・出土遺物

遺構28 土層堆積圖

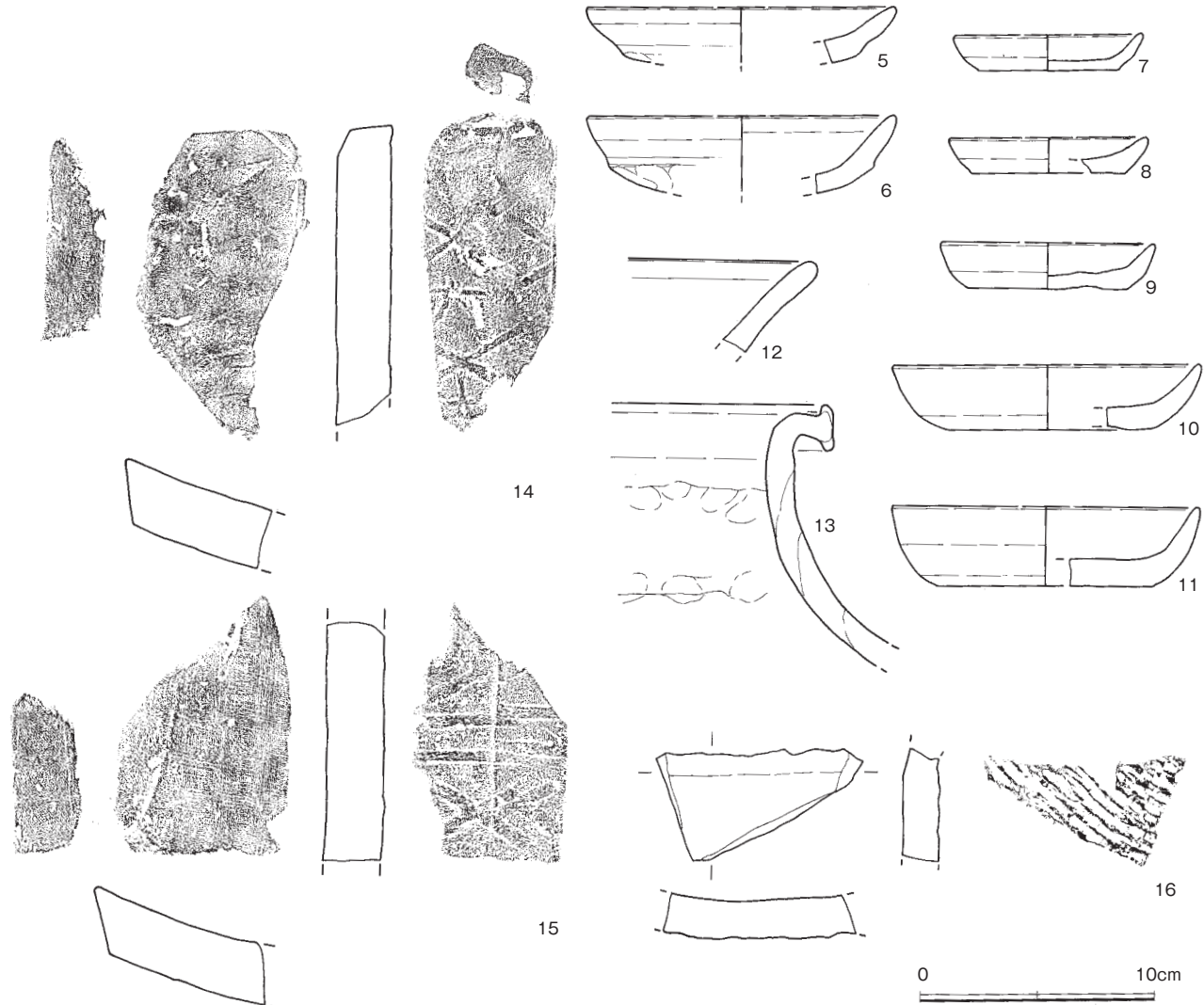
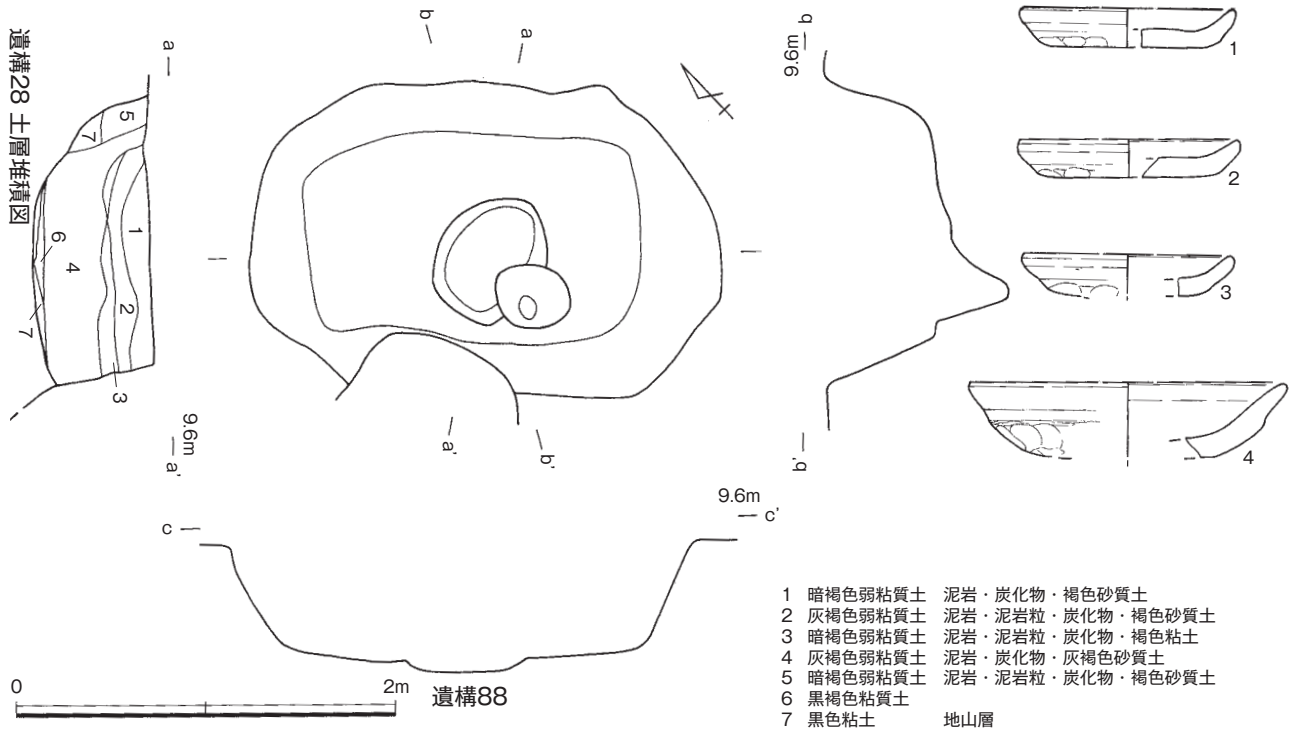


図24 遺構88・出土遺物



### 遺構68 (図27・図28)

楕円形を呈する浅い土坑。覆土は暗黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。かわらけ細片が多く混入。

・図28-5はかわらけ。外底部板状圧痕。内底面横ナデ痕。小石粒を含む粗い胎土。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・渥美甕が破片で出土している。

### 遺構71 (図27・図28)

楕円形を呈するピット。遺構底面に方形のピット。柱痕か？覆土は暗黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図28-6は鉄製品・釘。錆も付着しておらず、遺存状態良好。その他に、手づくね・かわらけ・青磁碗・渥美甕・常滑甕・瓦器火鉢が破片で出土している。

### 遺構73 (図27・図28)

遺構87を切る。底面に柱痕が遺存するピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・微量の泥岩粒・炭化物を含む。底面のピット覆土には茶色有機質土が含まれていた。

・図28-7～9は遺構73出土

7は手づくね。外底面に指頭による整形痕。内底面横ナデ痕。赤褐色を呈し硬質で精緻な胎土。8はかわらけ。外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。雲母を多く含む。9は渥美甕口縁部片。胎土は褐色を呈し砂粒・白色粒を含む。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構78 (図27・図28)

円形を呈するピット。覆土は暗黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図28-10～13は遺構78出土

10・11は手づくね。10は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。11は内外底面に指頭による整形痕。12は常滑甕。暗褐色を呈し白色粒の混じる精緻な胎土。13は鉄製品・釘。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

### 遺構87 (図27・図28)

遺構73に切られる。方形を呈する浅い土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・微量の泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図28-14は常滑甕。その他に、手づくね・かわらけ・渥美甕が破片で出土している。

### 遺構88 (図24)

楕円形を呈する土坑。土坑底部に柱穴痕と思われるピットがあった。覆土は褐色砂質土を多く含む。

・図24-1～16は遺構88出土

1～6は手づくね。1～3は外底面に指頭による整形痕・内底面に横ナデ痕。4は赤褐色を呈し外底面に指頭による整形痕・外側面に強く稜が入る。内底面に横ナデ痕。5は褐色を呈しやや分厚い器壁を持つ。胎土に雲母を多く含む。6は赤褐色を呈し外底面篋状工具による整形痕。内底面に横ナデ痕。やや硬質な胎土。7～11はかわらけ。7は外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。8は外底面板状圧痕。胎

土に雲母を多く含む。9は外底面板状圧痕。内底面に強く横ナデ痕。雲母を多く含む粗い胎土。10は外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。やや軟質な胎土。11は外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。器壁はやや直立して立ち上がる。12は常滑片口鉢Ⅰ類・口縁部片。13は常滑甕。小石粒・白色粒を多く含む粗い胎土。14・15平瓦。凸部に斜格子状の叩き痕。16は須恵器甕。胴部片。その他に、手づくね・かわらけ・白かわらけ・青白磁不明・渥美甕・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦・鉄製品釘が破片で出土している。

### 遺構90 (図27・図28)

円形を呈する浅いピット。覆土は暗褐色弱粘質土・微量の泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。  
 ・図28 - 15は常滑片口鉢Ⅱ類・口縁部片。その他に破片で、手づくね・かわらけが出土している。

### 遺構104 (図25)

楕円形を呈する浅い土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・褐色砂質土を多く含む・微量の炭化物・泥岩粒を含む。

・図25 - 1～8は遺構104出土

1は手づくね・白かわらけ。コースター状の器形。外底面指頭による整形痕・内底面回転ナデ痕。2～4はかわらけ。2は外底面板状圧痕・内底面強い横ナデ痕。3は外底面強い板状圧痕・内底面横ナデ痕。4は口唇部に油煤痕・小石粒の混じる粗い胎土。5は青磁櫛搔文皿・同安窯系。6は渥美片口鉢・褐色を呈し砂質な胎土。7は常滑片口鉢Ⅰ類・褐色を呈し硬質な胎土。8は鉄製品・釘。その他に、かわらけ・白かわらけ・青磁器種不明・渥美甕・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

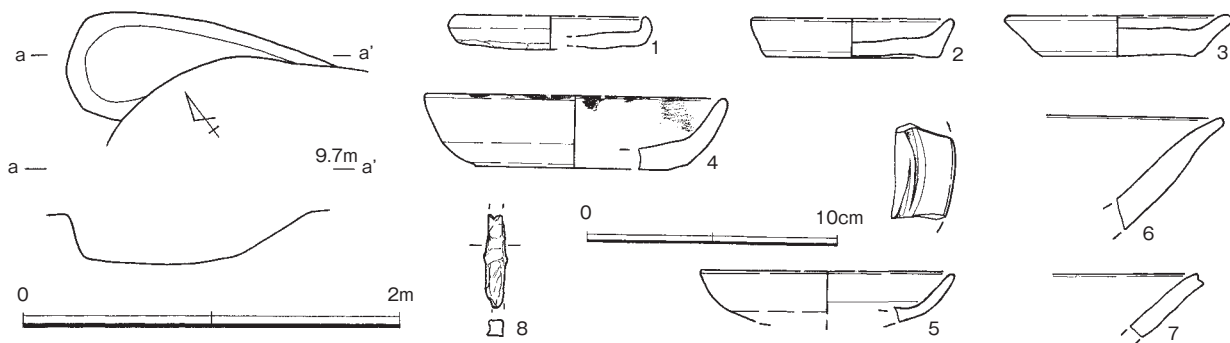


図25 遺構104・出土遺物

### 遺構105 (図27・図28)

遺構73に切られる。円形を呈する浅いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・砂質土・炭化物を多く含む。

・図28 - 16・17は遺構105出土

16は手づくね。内外底面に指頭による整形痕。17は銭・開元通寶。破片でも手づくねが出土している。

### 遺構182 (図27・図28)

調査区外に遺構が延びてしまっているために正確な形状は不明。浅い土坑である。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・玉石が多く混入・褐鉄を含む。

・図28 - 18～20は遺構182出土

18・19はかわらけ。18は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。19は外底面板状圧痕。小石粒の混じる粗い胎土。20は鉄製品・釘。その他に手づくね・かわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

### 遺構 196 (図22・図28)

個別に平面図を掲載していないが、底面に2穴の柱痕が残るピットである。覆土は暗黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を多く含む。

・図28 - 21 ~ 23は遺構196出土

21~23はかわらけ。21は外底面板状圧痕・外側面に糸切り痕・内底面横ナデ痕。22は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。23は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。その他に手づくね・かわらけ・白かわらけ・常滑甕・緑釉器種不明が破片で出土している。

### 遺構 208 (図22・図28)

個別に平面図を掲載していない。調査区外に遺構が延びていたためや、調査途中に調査区壁が崩落してしまい正確な形状は不明。井戸の可能性もある深い土坑である。覆土は暗茶褐色弱粘質土。

・図28 - 24 ~ 26は遺構208出土

24は手づくね。外底面指頭による横ナデ痕・内底面回転ナデ痕。25はかわらけ。内底面横ナデ痕。26は鉄製品・釘。その他に手づくね・かわらけ・青磁器種不明・白磁器種不明・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が破片で出土している。

### 遺構 218 (図27・図28)

円形を呈する浅いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物・かわらけ細片を多く含む。

・図28 - 27 ~ 31は遺構218出土

27・28は手づくね。27は内外底面に指頭による整形痕。28は内底面横ナデ痕。29~31はかわらけ。

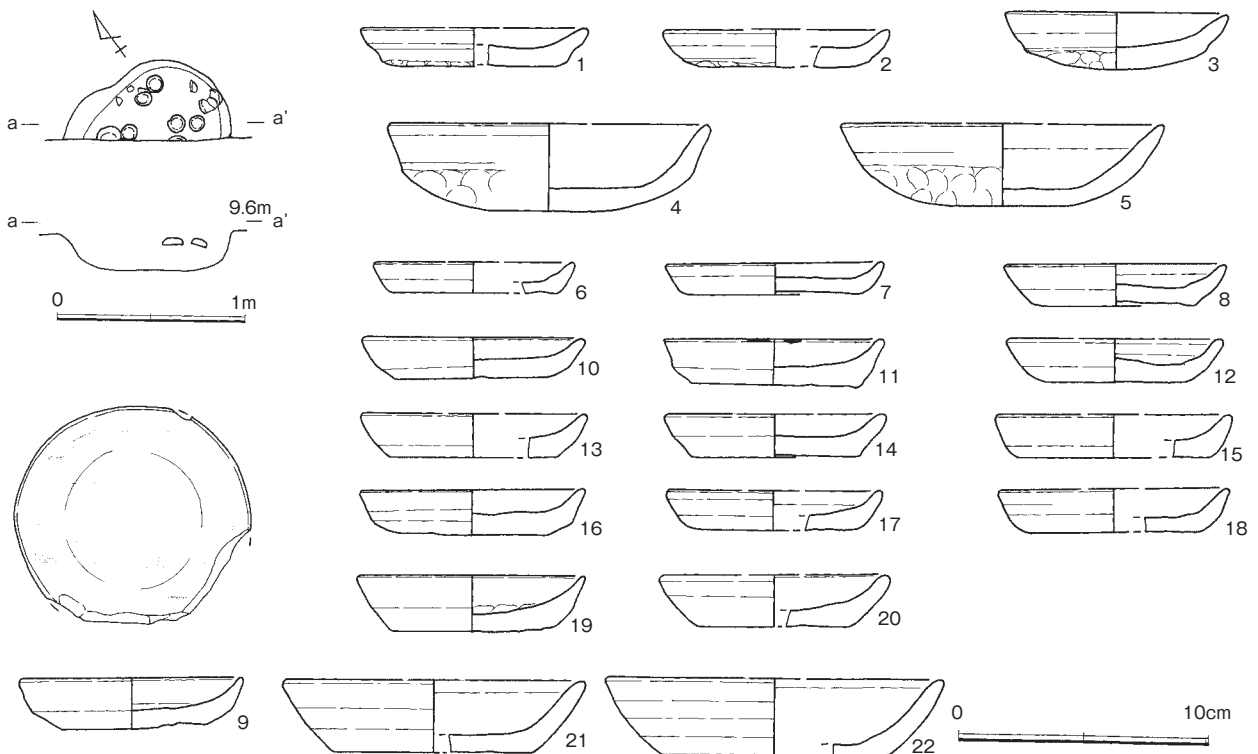


図26 遺構219・出土遺物

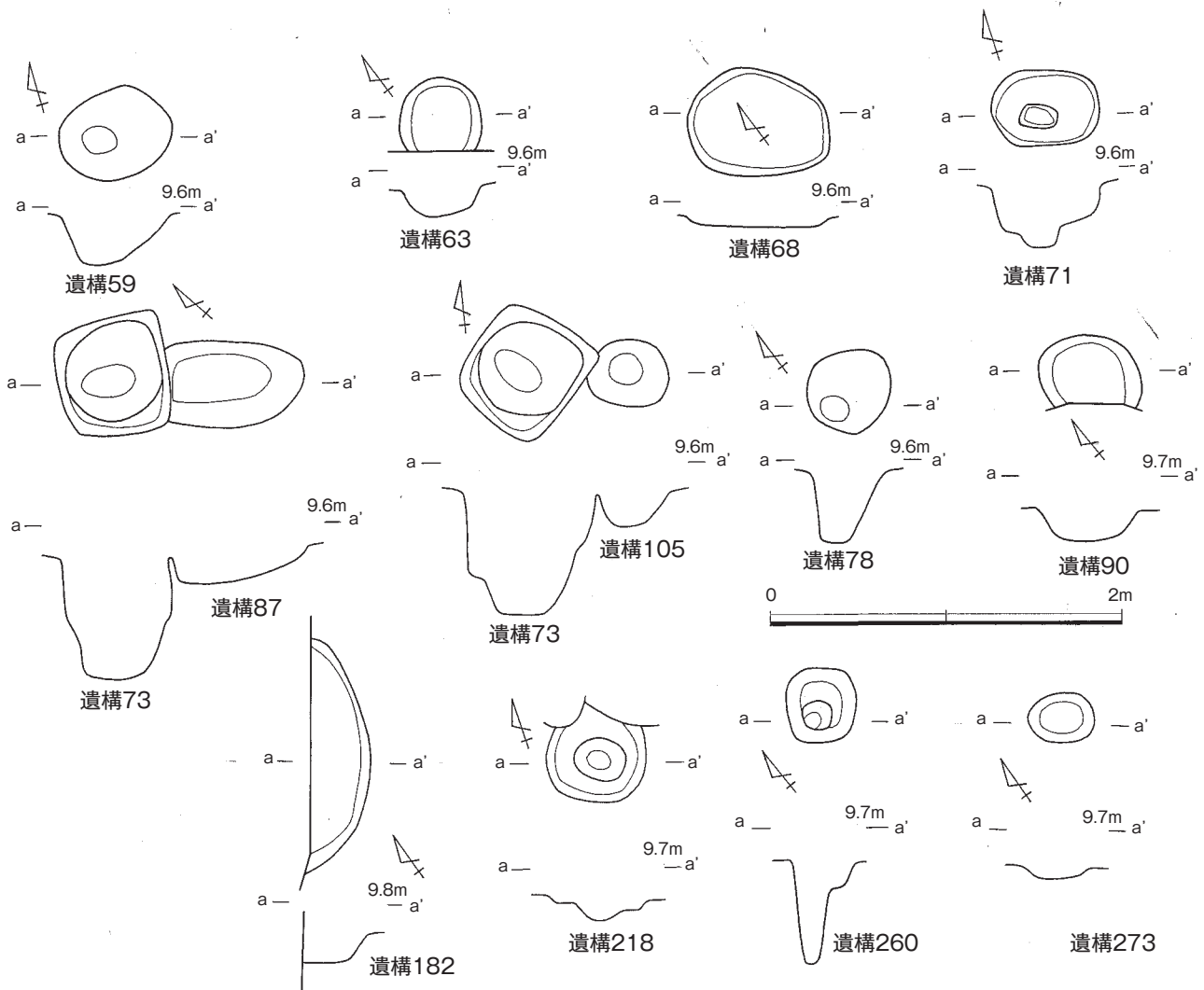


図27 第2面遺構・個別平面図

29は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。30は外底面板状圧痕・内底面強い横ナデ痕。31は外底面板状圧痕・内底面回転ナデ痕。その他に手づくね・かわらけ・渥美甕・常滑片口鉢I類が破片で出土している。

### 遺構219 (図22・図26)

調査区外に遺構が延びてしまっているために正確な形状は不明であるが、ほぼ円形を呈すると思われる土坑である。土坑内には手づくね・かわらけが出土し、実測した遺物の他に破片で手づくね・かわらけ・常滑甕・鉄製品釘・獣骨が出土している。手づくね・かわらけ等の廃棄土坑と思われる。

・図26 - 1 ~ 22は遺構219出土

1 ~ 5は手づくね。1・2は内外底面に指頭による整形痕。小石粒の混じる粗い胎土。3は外底面に指頭による整形痕・内底面回転ナデ痕。赤褐色を呈し硬質な胎土。4は外底面に指頭によるナデ痕・内底面横ナデ痕。5は外底面に指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。6 ~ 22はかわらけ。6は外底面板状圧痕。内底面横ナデ痕。7は外底面糸切り痕をナデている・内底面回転ナデ痕。8は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。9は内面に薄くではあるが格子状の墨痕。内底面横ナデ痕・外底面強い板状圧痕。10は外底面板状圧痕・内底面に横ナデ痕。雲母・小石粒を含む粗い胎土。11は外底面に強い板状圧痕・内底面横ナデ痕。12は外側面に糸切り痕の痕跡が残る。内底面横ナデ痕。小石粒の混じる粗い胎土。

13は内底面にナデ痕。14は外底面弱い糸切り痕・内底面横ナデ痕。15は外底面板状圧痕・内底面回転ナデ痕。16は外底面強い板状圧痕・内底面横ナデ痕・赤褐色を呈し硬質な胎土。17は外底面板状圧痕・

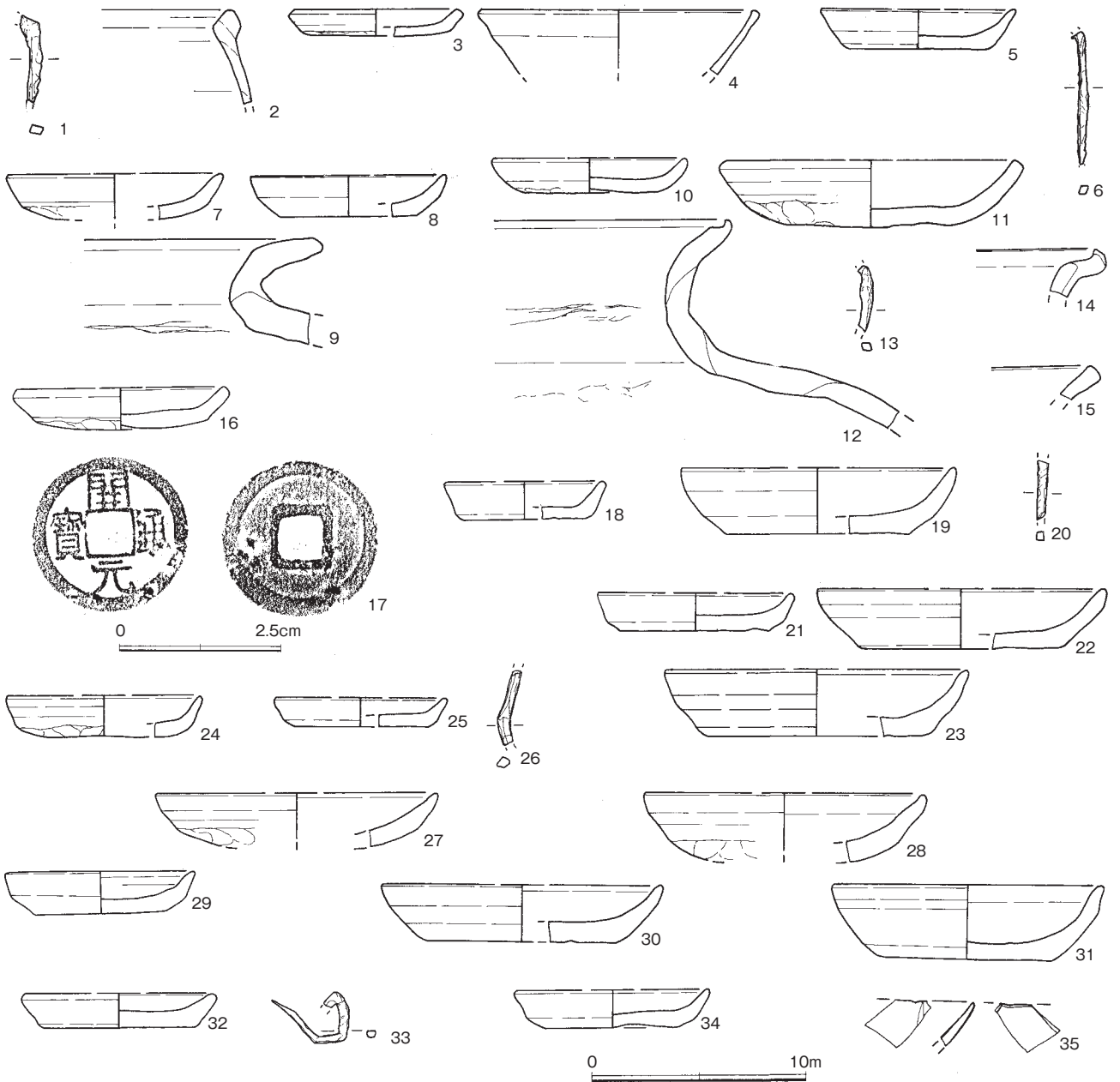


図28 第2面遺構出土遺物

内底面横ナデ痕。18は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。19は外底面に強い板状圧痕・内底面横ナデ痕・赤褐色を呈し、雲母を多く含む硬質な胎土。20は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。21は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。22は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。その他に、手づくね・かわらけ・常滑甕・鉄製品釘・獣骨が破片で出土している。

**遺構260 (図27・図28)**

円形を呈するピット。底面に柱痕が残る。覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物を多く含む。

・図28 - 32・33は遺構260出土

32はかわらけ。外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。33は鉄製品・釘。その他に、手づくね・かわらけ・

常滑甕が破片で出土している。

### 遺構 273 (図27・図28)

円形を呈する浅いピット。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図28-34はかわらけ。外底面板状圧痕・内底面強い横ナデ痕。その他にかわらけが破片で出土している。

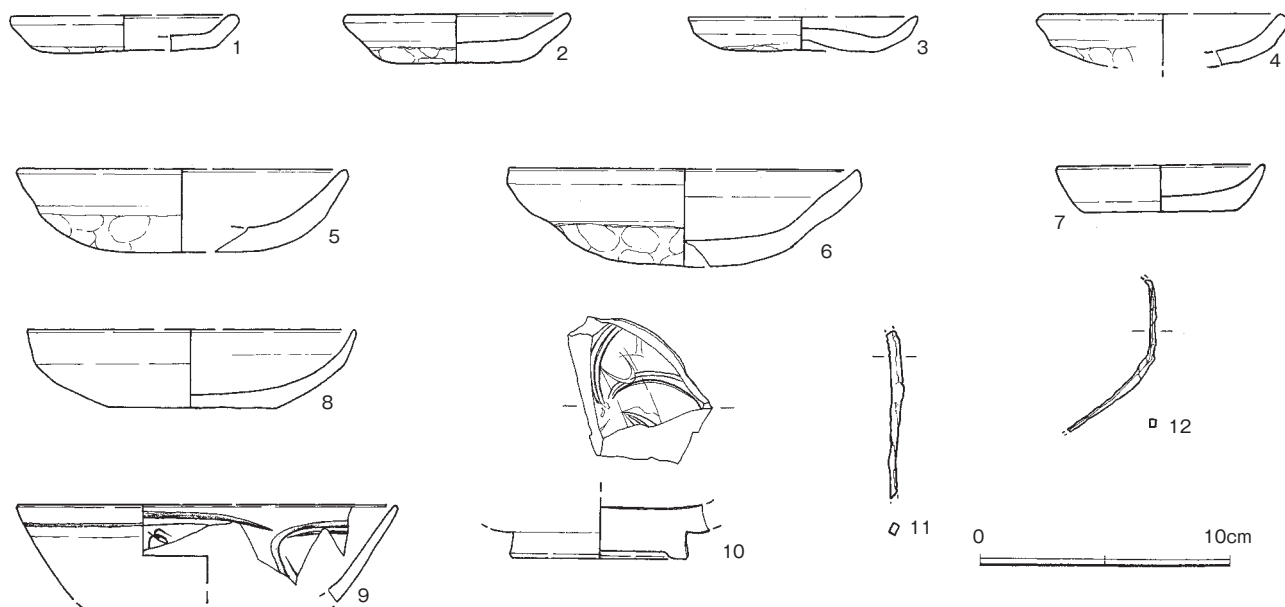


図29 第2面面上出土遺物

### 遺構 301 (図22・図28)

個別に平面図は掲載していない。遺構268に切られる。円形を呈するピットである。覆土は暗茶褐色弱粘質土・炭化物を多く含む。

・図28-35は青磁・輪花型・白堆文碗である。小片ではあるが鎌倉市街地遺跡では稀な出土遺物である。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

#### ・第2面面上出土遺物 (図29)

第2面の面上で出土した遺物である。1～6は手づくね。1は内底面横ナデ痕。2は外底面指頭による整形痕。3は内外底面指頭による整形痕。4は精良で硬質な胎土・丁寧な整形。5・6は内外底面に指頭による整形痕。7・8はかわらけ。7は内底面横ナデ痕。8は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。9は青磁劃花文碗。胎土灰白色を呈し精緻。10は青磁劃花文皿。胎土黄褐色を呈する。高台底部無釉。11・12は鉄製品・釘。

#### ・第2構成土出土遺物 (図30)

1～19は手づくね。1は白かわらけ。外底面指頭による整形痕。2は外底面指頭による整形痕。内底面回転ナデ痕。3は内底面横ナデ痕。4は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。赤褐色を呈し硬質な胎土。5は内外底面指頭による整形痕。6は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。7は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。8は外底面指頭による整形痕・赤褐色を呈し硬質な胎土。9は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。10は外底面指頭による整形痕。11は外底面指頭による整形痕・

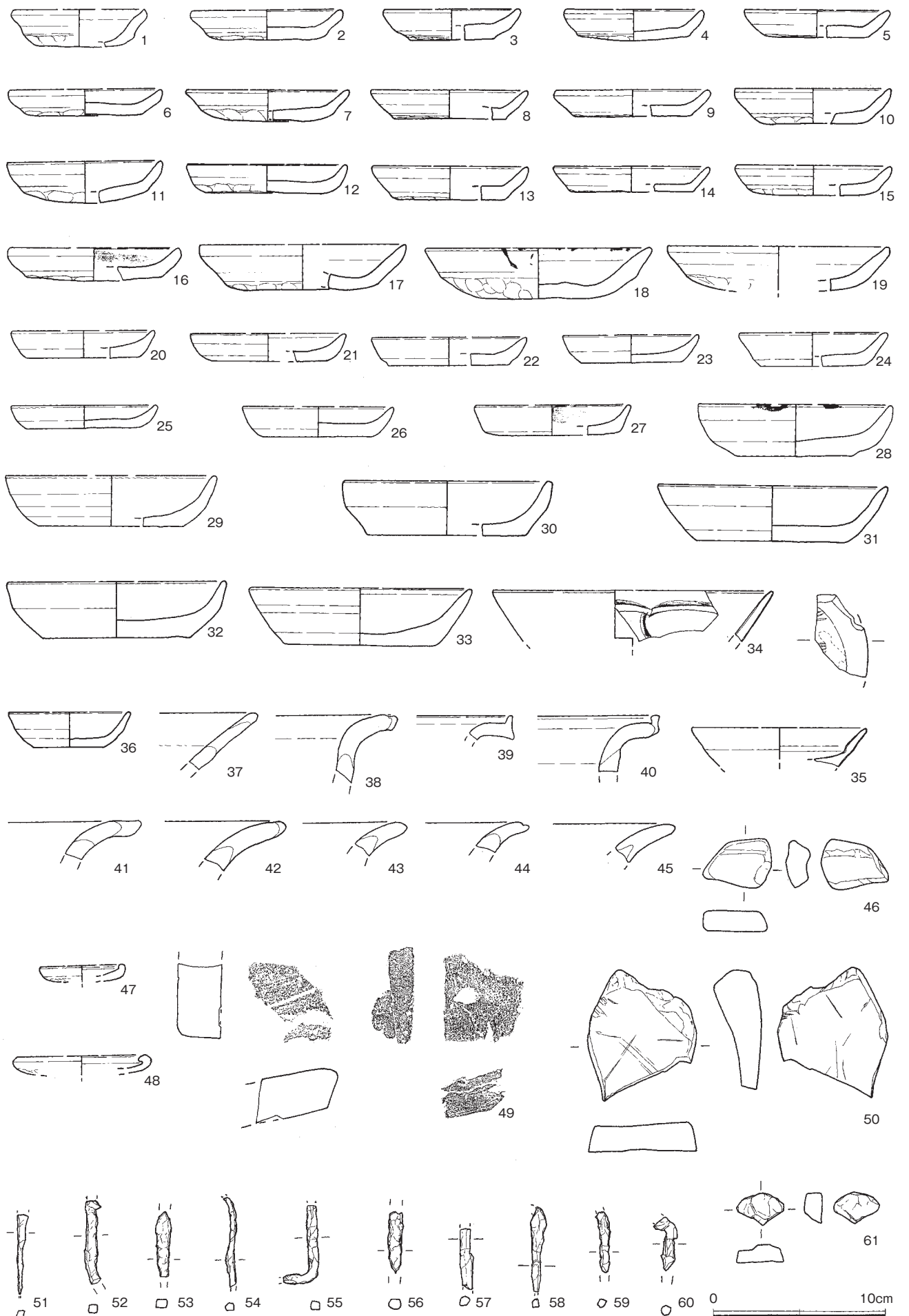


图30 第2面構成土出土遺物

内底面横ナデ痕。12は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。13は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。14は内外底面に指頭による整形痕。15は外底面指頭による整形痕。16は外底面指頭による整形痕・内面全体に油煤痕。硬質で精良な胎土17は外底面指頭による整形痕。赤褐色を呈し硬質な胎土。18は外底面指頭による整形痕と板状圧痕が残る。内底面に強い横ナデ痕。19は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。20～33はかわらけ。20は外底面に板状圧痕。二次焼成を受けたためか器肌が剥離している。21は外底面に板状圧痕・内底面横ナデ痕。22は内底面横ナデ痕。23は内底面横ナデ痕。24は内底面回転ナデ痕。25は内底面回転ナデ痕。26は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。27は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。内側面に油煤痕。28は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。口唇部1か所打ち搔げ・内外面口唇部に油煤痕。29は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。30は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。31は外底面板状圧痕・内底面強い横ナデ痕。32は内底面横ナデ痕・内底面磨滅している。33は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。34は青磁劃花文碗。35は青磁櫛搔文皿。36は山皿。外底面糸切り痕・内底面剥離。37は常滑片口鉢Ⅰ類口縁部片。胎土に小石粒・白色粒が多く混入38～40は常滑甕。38は小石粒の混入する粗い胎土。39は褐色を呈し精良な胎土。40は小石粒の混入する粘性の強い胎土。41～45は渥美甕・口縁部片。46は魚住・片口鉢転用品。断面に摩耗痕残る。47・48は瓦器皿・内折れ。外底面に指頭による整形痕。49は平瓦。50は石製品・砥石。51～60は鉄製品・釘。61はチャート破片。火打石に使用か？

#### 第4節 第1面の遺構と遺物 (図31～図40)

重機によって、表土から約50cm堆積していた現代埋土を掘り下げ、泥岩地業層上、海拔約10.00mで第1面を検出した。上層の現代層によって部分的に壊されてしまっていたが、細かく砕いた泥岩で丁寧な地業を行っている様子を観察できた。第1面で発見した遺構は土坑15基・ピット28穴・溝2条である。泥岩地業層下層には茶褐色砂質土が堆積していることを確認した。また、泥岩地業層と茶褐色砂質土層の間で数枚の銭をまとめて発見しており、地業の際の地鎮であったのかもしれない。前述した第2面の地業の際には大型の泥岩も地業用材として使用していたが、第1面では細かく砕いた泥岩を地業用材として使用している。

##### 遺構3 (図32)

楕円形を呈する土坑である。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。手づくね・かわらけ・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

##### 遺構4 (図32・図33)

楕円形を呈する土坑である。覆土は黒褐色弱粘質土・泥岩粒を多く含み・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図33-1・2は遺構4出土

1は手づくね・外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。2は青磁劃花文皿。見込みに櫛搔草文。底部は削り取って整形している。竜泉窯。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

##### 遺構5 (図32・図33)

楕円形を呈する土坑である。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。





図31 第1面全測図

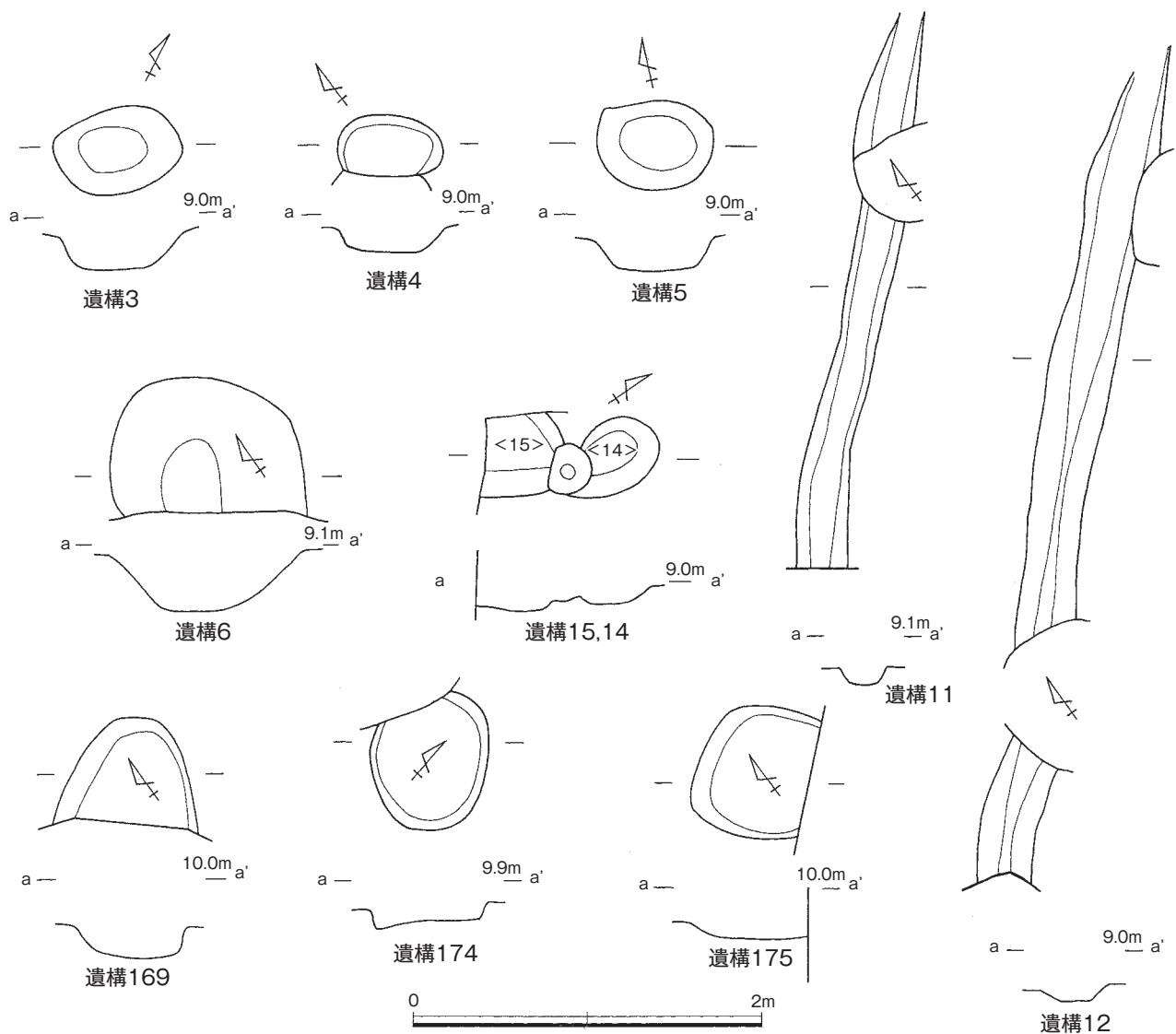


図32 第1面個別遺構図

・図33 - 3・4は遺構5出土

3はかわらけ。外底面板状圧痕・内底面強いナデ痕。4は常滑片口鉢I類底部片。内面残存部に摩耗痕。その他に、手づくね・かわらけ・渥美甕・常滑甕・硯材が破片で出土している。

### 遺構6 (図32・図33)

調査区外に遺構が延びているために正確な形状は不明。土坑である。覆土は暗褐色弱粘質土・拳大の泥岩を含み・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。

・図33 - 5は平瓦。水殿瓦窯・凸部に斜格子の中に<大>の字の叩き痕。その他に出土遺物はない。

### 遺構11 (図32)

南北に延びる溝状の土坑である。断面は逆台形に立ち上がる。遺構の北側は現代の堆積に壊され、南側は調査区外に延びてしまっているために規模は不明。深さ約8cmを測る。覆土は暗黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。手づくね・かわらけ・常滑甕・瀬戸器種不明が破片で出土している。

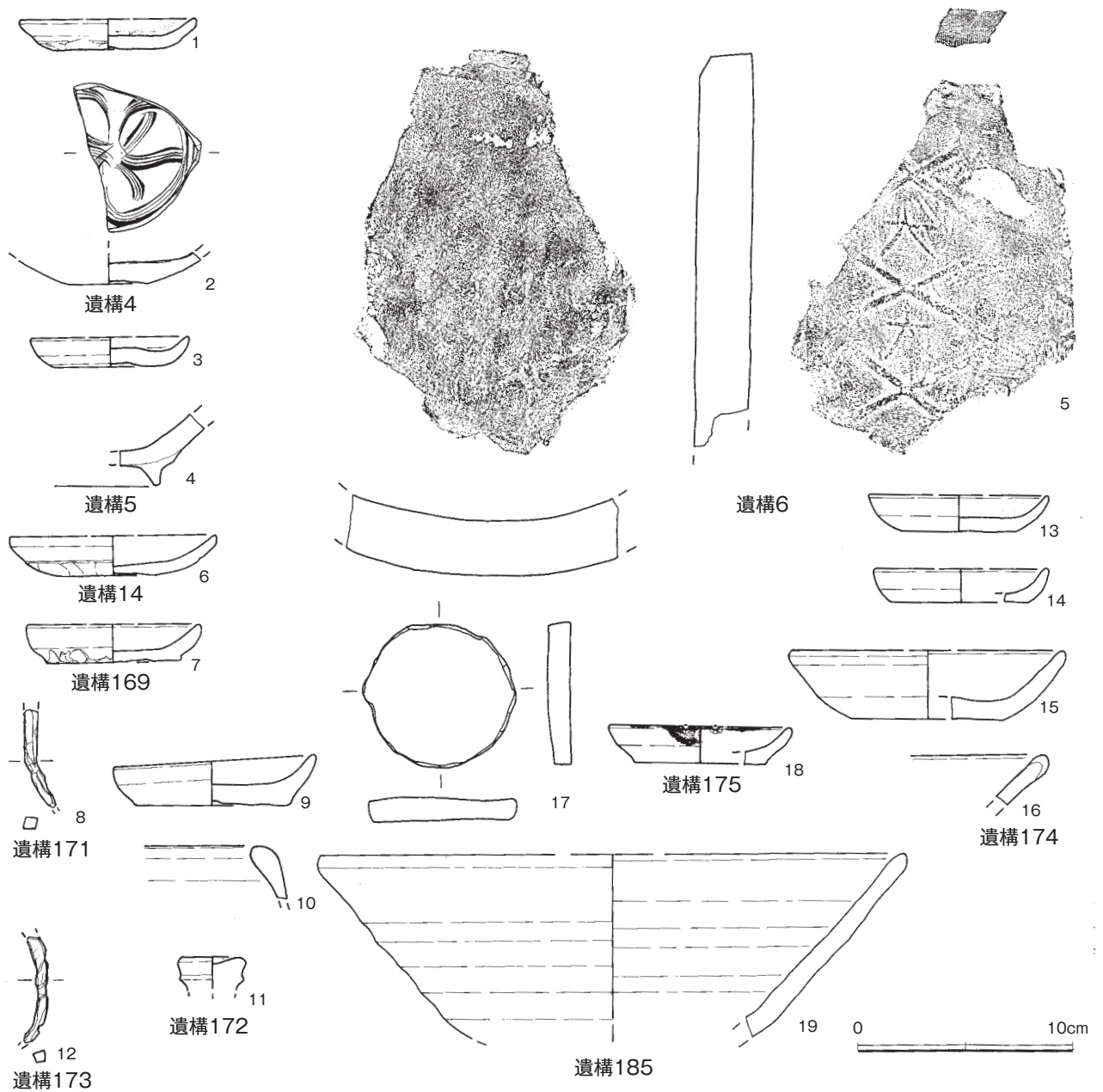


図33 第1面・個別遺構出土遺物

### 遺構 12 (図32)

遺構11と、ほぼ平行に南北に走る溝状の土坑である。遺構11と同様に北側を現代の堆積に壊され、南側は調査区外に延びてしまっているために規模は不明。深さ約9cmを測る。覆土も遺構11に近似し、黄褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。手づくね・かわらけ・常滑甕・常滑片口鉢I類が破片で出土している。

### 遺構 14 (図32・図33)

円形を呈する浅い土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含む。  
 ・図33-6は手づくね。外底面篋状工具による整形痕・薄手で精良な胎土。その他に、手づくね・かわらけ・青磁蓮弁文碗が破片で出土している。

### 遺構 169 (図32・図33)

調査区外に遺構が延びてしまっているために正確な形状は不明。土坑である。覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩塊を多く含み・泥岩粒・炭化物を含む。

・図33 - 7 はかわらけ・外底部に強い板状圧痕・内底部横ナデ痕。その他に出土遺物はない。

### 遺構 171 (図31・図33)

調査区外に遺構が延びているために正確な形状は不明。土坑である。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒・炭化物・灰褐色砂質土を含む。

・図33 - 8 は鉄製品・釘。その他に出土遺物はない。

### 遺構 172 (図31・図33)

調査区外に遺構が延びてしまっているために、正確な形状は不明。土坑である。覆土は黒色粘質土・褐鉄炭化物・褐色砂質土を含む。

・図33 - 9 ~ 11 は遺構172出土

9 はかわらけ・外底部強い板状圧痕・内底面強い横ナデ痕。10 は瀬戸鉢。二次焼成を受けたのか？外側面釉がガラス状に変質している。11 は土師器・蓋の摘み部か？その他に、手づくね・かわらけ・青磁鉢・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・瀬戸鉢・鉄製品釘が破片で出土している。

### 遺構 173 (図31・図33)

調査区外に遺構が延びているために正確な形状は不明。土坑である。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩炭化物を含む。

・図33 - 12 は鉄製品・釘。その他に出土遺物はない。

### 遺構 174 (図32・図33)

円形を呈する浅い土坑。覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩・炭化物を多く含む。

・図33 - 13 ~ 16 は遺構174出土

13 ~ 15 はかわらけ。13 は底部粘土貼り付け痕・内底部横ナデ痕。14 は外底部板状圧痕。15 は内底部横ナデ痕・胎土に雲母を多く含む。16 は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に、手づくね・かわらけが破片で出土している。

### 遺構 175 (図32・図33)

ほぼ円形を呈する浅い土坑。覆土は茶褐色弱粘質土・泥岩・泥岩粒を多く含む。

・図33 - 17・18 は遺構175出土

17 はかわらけ底部片の転用品・円盤状製品。18 は外底部板状圧痕・内外口唇部に油煤痕・器肌剥離。その他に出土遺物はない。

### 遺構 185 (図31・図33)

ほぼ円形を呈する浅い土坑。覆土は暗茶褐色弱粘質土・泥岩塊・泥岩粒を多く含み・玉石・炭化物混入。出土遺物内に近世・現代遺物が混入していなかったために、第1面遺構として掲載したが、中世以

降の可能性もある。

・図33-19は常滑片口鉢Ⅰ類。白色粒を多く含む精良な胎土。その他に手づくね・かわらけ・白かわらけ・渥美甕・常滑甕・瓦器火鉢・軽石が破片で出土している。

#### ・第1面面上出土遺物(図34)

1～7は手づくね。1は白かわらけ。2は外底面ナデによる整形痕。3は外底面指頭による整形痕。4は外底面ナデによる整形痕・内底面横ナデ痕。5は内底面横ナデ痕。6は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。7は外底面指頭による整形痕。赤褐色を呈し硬質な胎土。8～18はかわらけ。8は外底部糸切り痕不明。板状圧痕は残る・全体に器肌が摩耗している。9は外底面強い板状圧痕・内底横ナデの後、見込み周囲をナデて整形。10は外底面板状圧痕。11は外底面板状圧痕。12は外底面板状圧痕・内底面ナデ不明。13は内底部強く横ナデ痕。14は外底部板状圧痕・内底須横ナデ痕・口唇部油煤痕。15は外底部板状圧痕・外側面に糸切りによる水引痕・内底部横ナデ痕。16は外底部板状圧痕・内底部強く横ナデ痕。17は小石粒の混入する粗い胎土。18は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。19は青磁櫛搔文碗。素地灰白色を呈し堅緻。20は青磁碗底部片。高台内部無釉。21は黄釉洗。22は瀬戸折縁深皿。23はかわらけ底部転用品・円盤状製品。24～27は常滑片口鉢Ⅰ類。24は胎土灰白色を呈し、白色粒の混入する粗い胎土。25は胎土褐色を呈し、やや軟質な胎土。26・27は胎土灰白色を呈し、白色粒の混入するやや硬質な胎土。28・29は常滑片口鉢Ⅱ類。28は赤褐色を呈し軟質な胎土。29は胎土褐色を呈し、白色粒の混入する硬質な胎土。30は瓦器碗・底部片。内底部に花文の暗文。31～34は平瓦。35～37は鉄製品・釘。

#### ・第1面構成土出土遺物(図35～図40)

1～6は手づくね・白かわらけ。胎土精良で硬質。3は内底横ナデ痕が残る。7は手づくね・内折れ。外底部ナデ整形。やや硬質な胎土。8～36は手づくね。8は外底部ナデ整形。内底部横ナデ痕。9は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。10は外底部・内底部ナデ整形。11は外底部ナデ整形・内底部横ナデ痕。12は外底部指頭による整形痕・内底部ナデ痕。13は外底部指頭による整形痕。14は外底部指頭による整形痕。15は外底部ナデ整形・内底部見込み周囲を回転ナデ痕。16は外底部ナデ整形。17は外底部指頭による整形・内底横ナデ痕。18は外底部ナデによる整形。19は外底部指頭による整形。20は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。21は外底・内底部ナデによる整形痕。22は外底部指頭による整形痕・23は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。24は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデの後、見込み周囲を回転ナデで整形。25は外底部指頭による整形痕・赤褐色を呈し硬質な胎土。26・27は外底部指頭による整形痕。28は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。29は外底部指頭による整形痕・赤褐色を呈し硬質な胎土。30は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。31は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。32は外底部指頭による整形痕・内底部横ナデ痕。33は外底部ナデ整形・内底部横ナデ痕。34は外底部ナデによる整形痕。35は外底部指頭による整形痕。36は内外底部指頭による整形痕。37は轆轤成形の白かわらけ。底部板状圧痕。38～74はかわらけ。38・39は内折れかわらけ。40は外底部板状圧痕。41は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。42は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。43は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。44は外底部緩やかな糸切り痕・内底部横ナデ痕・口唇部油煤痕。45は外底部板状圧痕。46は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。47は外底部板状圧痕。48は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。49は全体に器肌が摩耗。50は外底部板状圧痕・内底部

横ナデ痕。51は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。52は外底部板状圧痕・内底部強い横ナデ痕。53は外底部板状圧痕。54は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。55は外底部強い板状圧痕・内底部横ナデの後、見込み周囲をナデて整形。56は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。57は外底部板状圧痕。58は外底部板状圧痕・内底部強い横ナデ痕。59は内面器肌が薄く灰色に変色。油煤痕か？ 60は赤褐色を呈し、胎土に雲母を多く含みやや硬質。61は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・口唇部に油煤痕。62は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。63は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。64は外底部板状圧痕・内底部強い横ナデ痕。65は外底部強い板状圧痕・内底部強い横ナデ痕。66は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。67は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。68は内外器肌が薄く黒色に変色。69は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕・内外器肌に墨痕のような染み付着。70は外底部板状圧痕・内底部弱い横ナデ痕。71は砂粒・白色粒を含む粗い胎土。72は外底部強い板状圧痕・内底部回転ナデ。73は外底部板状圧痕・内底部横ナデ痕。74は外底部板状圧痕・赤褐色を呈し硬質な胎土・底部粘土版貼り付け。75はかわらけ底部転用品・円盤状製品。76は青磁碗底部片。高台底部無釉・内底中央に「金玉満堂」の印文。竜泉窯。77は青白磁碗・無文。78・79は青磁無文碗。78は薄い灰青色の釉。79は灰緑色の不透明な釉。竜泉窯。80は青磁櫛搔文碗。81は白磁口元皿・高台底部無釉。82は青白磁合子。83は緑釉洗。二次焼成を受けたためか器肌が銀色に変色してしまっている。84は黄釉洗。白色粒の混入する軟質な胎土。85は瀬戸器種不明。胎土は灰白色を呈し精良・口唇部外面に段が廻る・器形は鉢型と思われる。86～89は常滑甕。86は胎土褐色を呈し、焼き締まる。87は胎土灰色を呈し、やや軟質な胎土。88・89は白色粒の混入する粗い胎土。90～100は常滑片口鉢Ⅰ類。90は胎土灰白色を呈し、精良な胎土。91は白色粒の混入する、やや軟質な胎土。92は内側面上部まで摩耗痕。93・94は白色粒の混入する焼き締まった胎土。95～98は灰白色を呈し、軟質な胎土。99は白色粒の混入する焼き締まった胎土。100は高台部貼り付け痕・内底面摩耗痕。胎土灰白色を呈しやや軟質。101・102は常滑片口鉢Ⅱ類。101は赤褐色を呈し、小石粒の混入する粗い胎土・内側面下部に摩耗痕。102は胎土灰黒色を呈し、やや軟質・外側面下部に篋状工具による整形痕・内面黒色に変色。103～105は渥美甕。胎土褐色を呈し、やや軟質。106は瓦器碗。107は滑石鍋口縁部片・転用途中だったか？ 断面に鑿痕・内外面に擦過痕。108～127は平瓦。128は瓦器・火鉢。129は土垂。130は石製品・砥石。131～143は鉄製品・釘。144・145は鉄製品・刀子。146～153は銭。146・147は元豊通寶。148は東国通寶。149は開元通寶。150は元祐通寶。151は●豊通●。152は治平元寶。153は祥符通寶。154・155は須恵器・碗。

#### 表採出土遺物(図41)

1～6は手づくね。1は外底面指頭による整形痕。2は外底面指頭による整形痕・内底面横ナデ痕。3・4は外底面指頭による整形痕。5は指頭による整形痕・内底横ナデ痕。6は内外底面に指頭によるナデ痕。7～13はかわらけ。7は内底面横ナデ痕。8は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。9は外底面強く板状圧痕・内底面横ナデ痕。10は外底面板状圧痕・外側面全体に薄く油煤痕・内底面強く横ナデ痕。11は外底面板状圧痕・内底面横ナデ痕。12は内底面強く横ナデ痕・赤橙色を呈し硬質な胎土。13は外底面にすだれ状の圧痕・内底面強く横ナデ痕。14は青磁無文碗・竜泉窯。15は常滑片口鉢Ⅰ類・口縁部片・小石粒の混入する粗い胎土。16・17は鉄製品・釘。18～20は平瓦。凸面斜格子の叩き文・永福寺Ⅲ期。

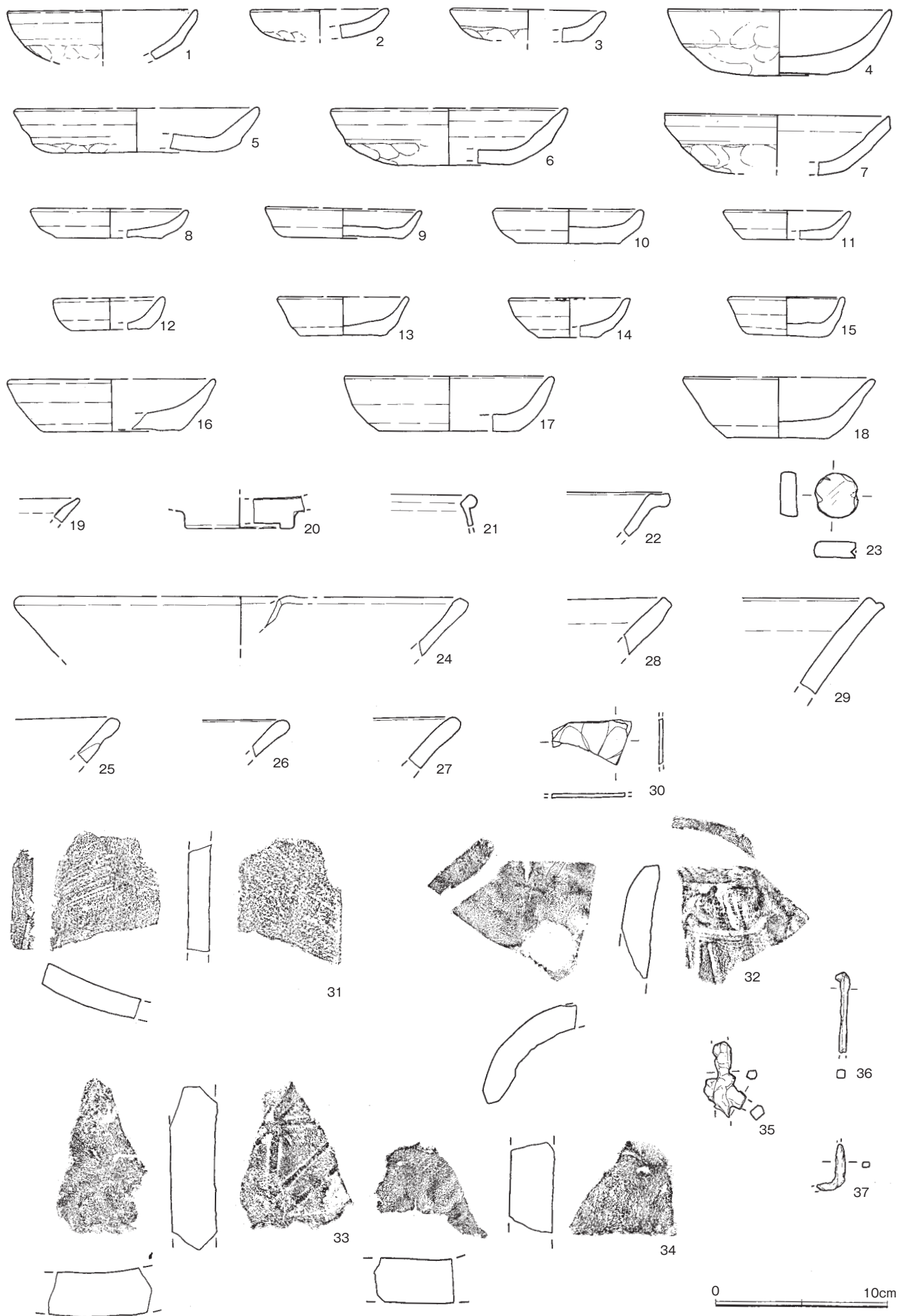


图34 第1面·面上出土遺物

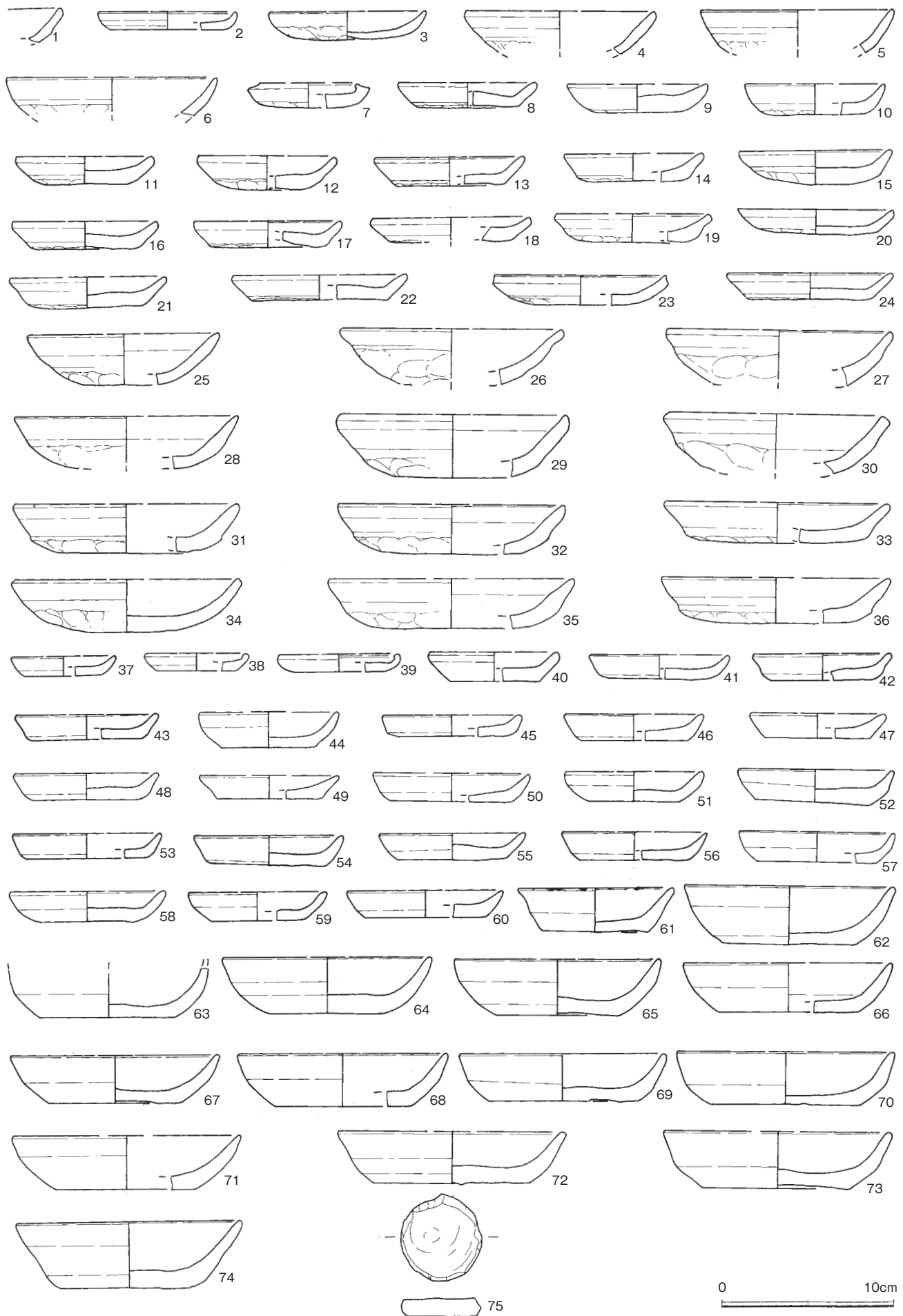


図35 第1面・構成土出土遺物(1)



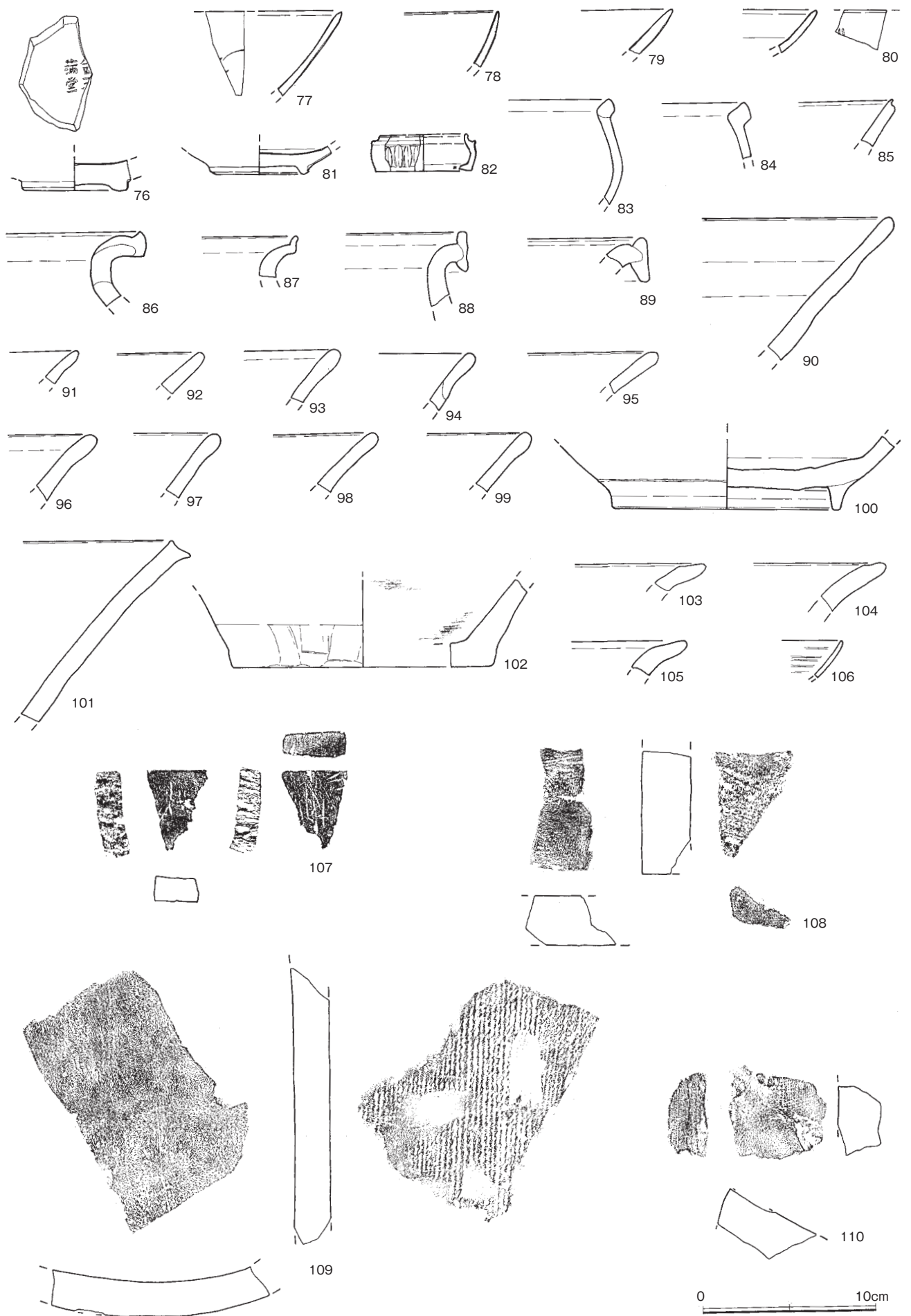


图36 第1面·構成土出土遺物(2)

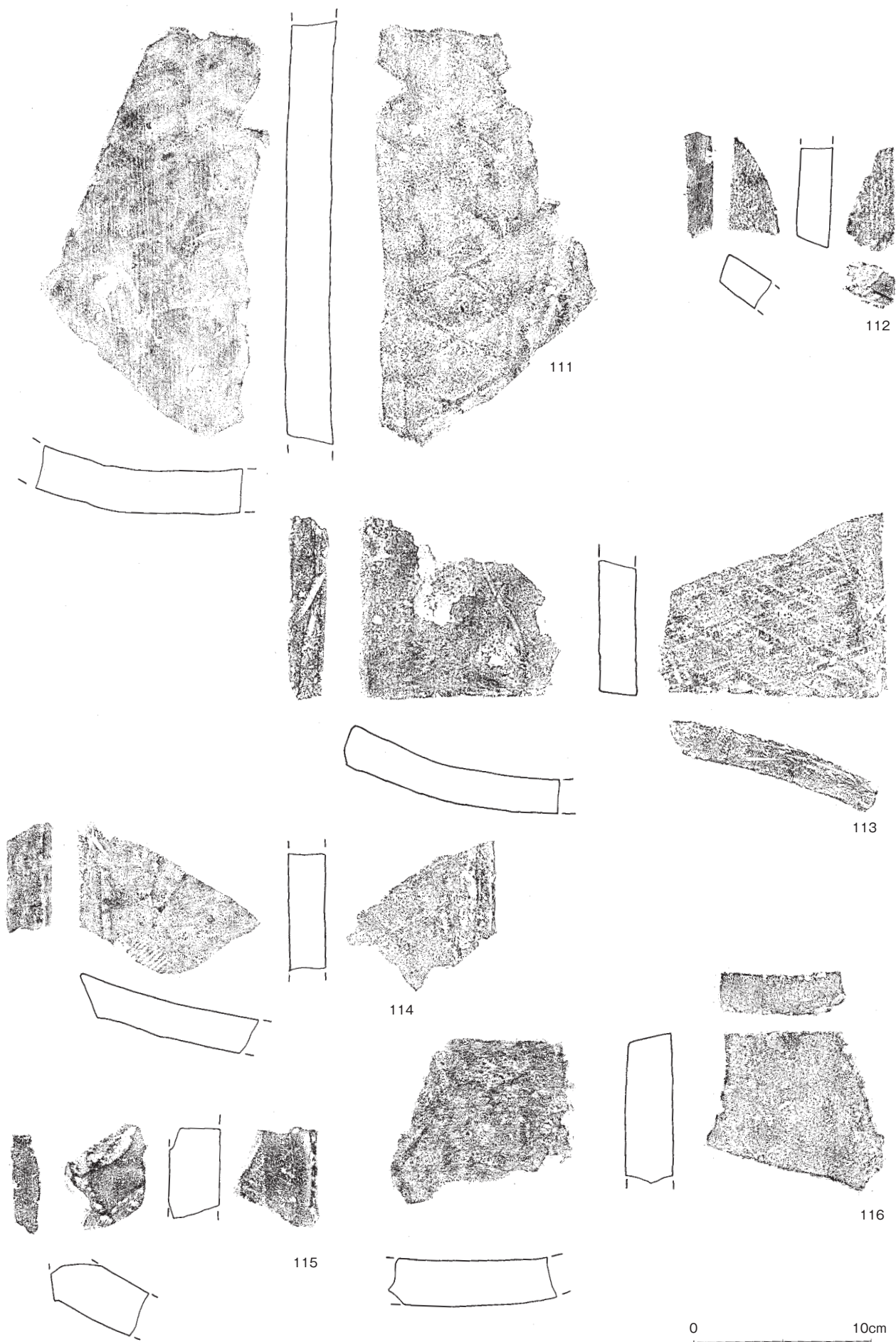


図37 第1面・構成土出土遺物(3)

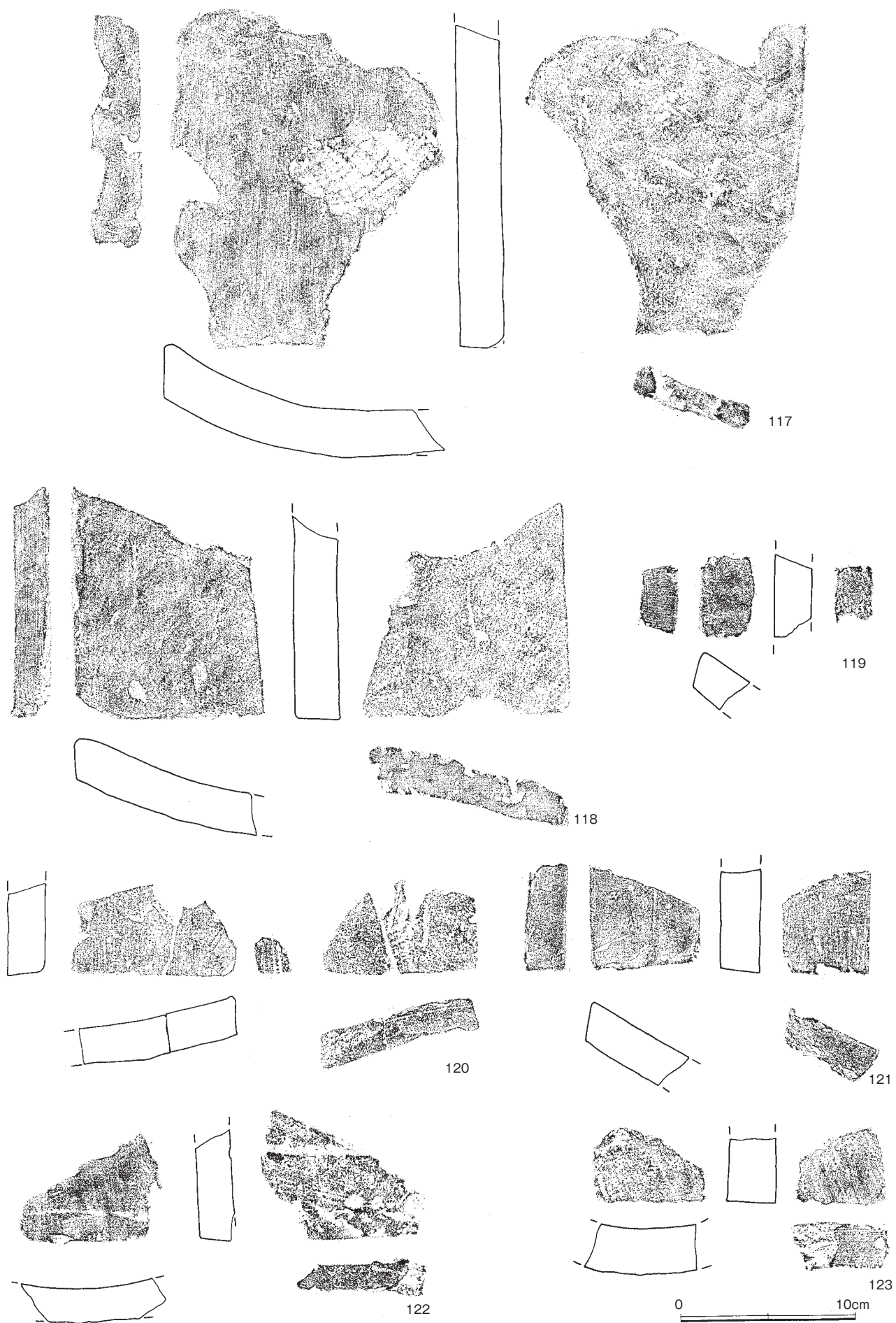


图38 第1面・構成土出土遺物(4)

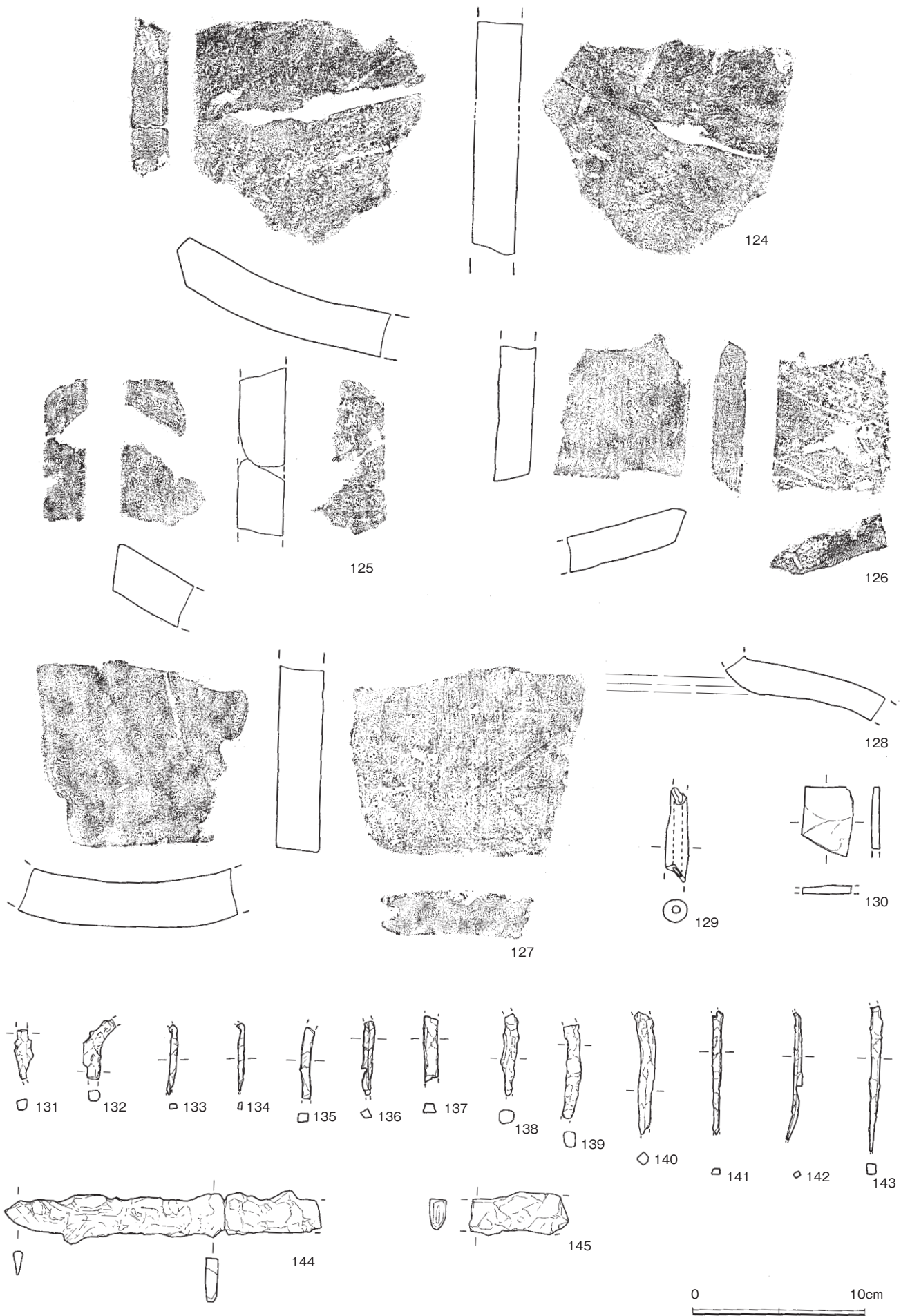


図39 第1面・構成土出土遺物(5)

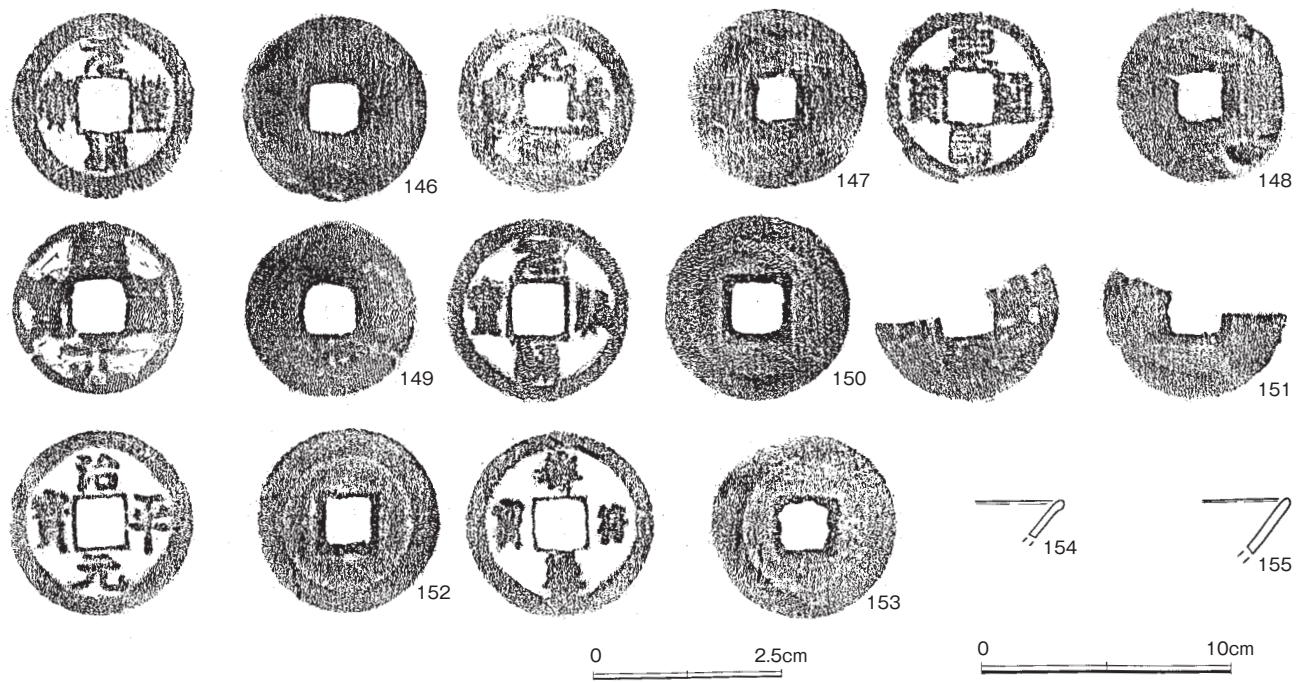


图40 第1面・構成土出土遺物(6)

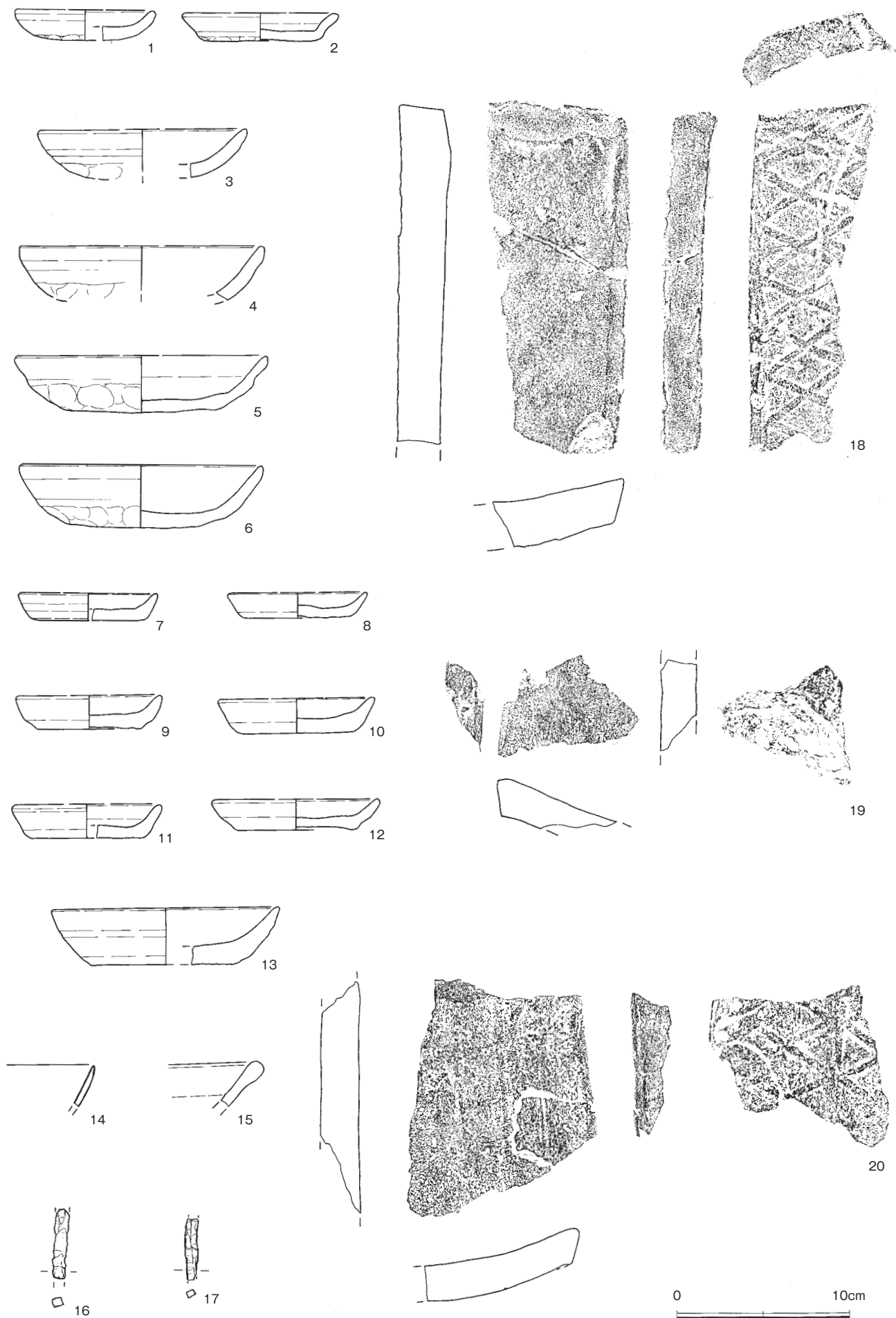


图41 表採出土遺物

### 第三章 まとめ

鎌倉市街地中心域は鶴岡八幡宮を起点に海に向かって南北に延びる若宮大路を中心に、大路西側には古代からの幹線道路でもあった武蔵大路から今小路につながる道が南北にはしり、大路東側には東西に走る六浦路と、中世の幹線道路であった車大路を結ぶ小町大路が南北に走っている。

本調査地はこの小町大路東側に面する。小町大路を挟んだ調査地西側には「北条小町邸」と推定される遺跡地があり、執権北条泰時・経時・重時の正亭があったとも、幕府が置かれていたともされる場所である。北条小町邸の北側、調査地北西には「政所」があったとされ、調査地北側に建つ宝戒寺は、北条高時の旧宅に後醍醐天皇の命で高時の菩提を弔うために建てられたといい、調査地は幕府の公的機関、要人の住まいなどが立地した一帯に属する。

以下、検出した遺構・遺物について簡単なまとめを行いたい。

#### 検出した遺構と遺物

本報告では遺構検出面を4面に分けて報告しているが、それぞれの面で検出した遺構は1時期の生活痕ではなく、複数回の生活面の造り替えを確認している。表土下50cmで確認した第1面の生活面から第4面までは約60cmであり、各面の地業層を含む構成土は10～20cmと薄い堆積である。

第4面は表土下約1m。海拔9.40mで確認した。発見した遺構は方形竪穴建築址1軒(土坑1基・ピット23穴を含む)・礎石建物址・土坑22基・ピット121穴である。方形竪穴建築址は、少なくとも2時期の造り替えが行われていたことを土層堆積から確認し、造りかえた方形竪穴建築址は、張り出し部を持ち、1辺約5mを測る壁に沿った底面に礎板が遺存する柱穴を持つことを確認した。調査区の東半分はこの方形竪穴建築址検出で占められてしまったが、西半分は少なくとも3時期の遺構が切りあっており、遺構内に礎板・礎石が遺存しているピットも発見しており、何らかの建物址が立っていたと考えられるが、柱間や柱穴覆土から推定できたのは1軒のみとなった。また、鑄造関係の遺構は確認できなかったが、遺構262からは鉄製品・取瓶が出土しており、調査地近辺での鑄造作業あるいは鑄物師などの工人の存在をうかがわせる。第4面で発見した遺物の大半は手づくねとかわらけで占められ、特に手づくねの出土量が多い。手づくねは外側面にやや強めの稜が入る器形が多く見られた。2時期にわたる方形竪穴建築址(遺構131)出土の遺物では、旧方形竪穴建築址出土の手づくねかわらけは底径・口径比が大きく、張り出し部を持つ新方形竪穴建築址出土の手づくねは底径・口径比がやや小さくなる傾向が見られた。出土した遺物から、第4面は13世紀第2四半期の年代観が与えられる。

第3面は海拔9.50mで確認した。発見した遺構は土坑10基・ピット116穴・溝状遺構1条である。第3面と、下層の第4面の確認レベルは10～20cmと、ほとんど差がない。調査区の東は、第4面で検出した方形竪穴建築址を廃絶した後、数基の土坑・ピットが確認されたのみで空闲地となるが、西側は第4面同様に少なくとも3時期の遺構の切りあいを確認した。第3面で出土した遺物の内、手づくね成形のかわらけは器壁に稜が入る器形とともに器壁がやや丸みを帯びている器形が混じってくる。轆轤成形のかわらけでは、糸切り痕の上に細かいすだれ状の圧痕が残るものがあり、内底部には雑な横ナデ整形をしていた。出土した遺物から第3面は13世紀中から後半の年代観が与えられる。

第2面は、海拔9.70mで確認した。検出した遺構は土坑12基・ピット56穴である。上層の遺構に壊されてはいたが、破碎泥岩による丁寧な地業を確認している。特に西側で確認した地業は平らに整形した大型の破碎泥岩を多用し、細かく砕いた泥岩を使用した地業部分では、かわらけ細片をも地業材と

して利用していた。柱痕の残るピットなどを発見したが、建物址を推定することはできなかった。第2面では、手づくねよりも轆轤成形のかわらけの出土が目立ってくる。検出したかわらけ廃棄遺構（遺構219）では、実測できた遺物で、手づくね成形のかわらけ（小）が3個体・（大）が2個体。轆轤成形のかわらけ（小）が15個体・（大）が2個体出土しており、第2面出土遺物として特徴的な出土例である。この遺構ではその他に、破片数で手づくね（小）19・かわらけ（大）1・かわらけ（小）16・常滑甕1・鉄製品不明1・獣骨が出土している。第2面は出土遺物から13世紀後半の年代観が与えられる。

第1面は、海拔10.00メートルで確認した。検出した遺構は土坑15基・ピット28穴・溝状土坑2条である。第2面同様に破碎泥岩による地業上で遺構を確認したが、第1面の地業は細かく砕いた破碎泥岩を全体に使用していた。調査区東で確認した溝状遺構を含め、いずれの遺構も現代の地業によって上層を壊されており正確な形状・規模は不明となった。第1面で出土した遺物は、手づくねの底形が、やや丸底になり、器壁の稜が弱くなり、第1面から第2面にかけての堆積層（第1面構成土）からは、破片ではあるが瓦の出土量が多くなる。出土した瓦は永福寺Ⅱ期に分類される美里水殿窯の瓦を多く発見している。第1面は出土した遺物から13世紀後半以降の年代観が与えられる。

調査区西側の破碎泥岩による地業層上で、江戸後期に比定される磁器片を数点発見しており、第1面上層には近世の遺構が遺存していた可能性もある。

本調査で出土した遺物は整理保管箱数にして33箱。出土した遺物は、かわらけ（手づくね成形・轆轤成形・白かわらけ・内折れかわらけ）・舶載磁器（青磁・青白磁・白磁・緑釉）・国産陶器（渥美・常滑・瀬戸・褐釉・山茶碗・備前・瓦器）・瓦・古代（須恵器・土師器）・石製品（滑石鍋・砥石）・鉄製品（刀子・釘）・銅製品・加工骨・鉄滓・獣骨・貝・種子・玉石・軽石・銭などである。

遺構確認面で発見した遺物のうち、実測外となった遺物の破片数・総数15123ヶのうち、手づくね成形のかわらけが、大・小合わせて9410ヶと全体の62%。轆轤成形のかわらけが4493ヶと29%。その他の白かわらけ等を合わせると破片数ではあるが、かわらけが出土遺物全体の93%を占めた。

## 参考文献

鎌倉市史 総説編・資料編・考古編 吉川弘文館 昭和34年初版  
鎌倉市史 社寺編 昭和47年 吉川弘文館  
鎌倉廃寺事典 貫達人 川副竹胤 有隣堂 昭和55年  
日本歴史大系第14巻 「神奈川県地名」 平凡社1984年



\*註 (図1) 調査地とその周辺の遺跡位置図

- 1・小町3丁目523番外地点 『東勝寺跡』「第3・4次遺構確認調査報告書」担当菊川  
1998年3月 鎌倉市教育委員会
- 2・小町3丁目506番地点 『東勝寺跡』「第3・4次遺構確認調査報告書」担当菊川  
1998年3月 鎌倉市教育委員会
- 3・小町3丁目523番14地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17-2」担当小林  
2001年3月 鎌倉市教育委員会
- 4・小町3丁目468番2外地点 「東勝寺発掘調査報告書」担当宮田 2001年10月  
東勝寺遺跡発掘調査団
- 5・小町3丁目468番10地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18-1」担当宮田  
2002年3月 鎌倉市教育委員会
- 6・小町3丁目497番地点 「鎌倉市埋蔵文化財発掘調査年報I」鎌倉市教育委員会  
1983年3月
- 7・小町3丁目497番地点 「鎌倉市埋蔵文化財発掘調査年報I」東勝寺遺跡発掘調査団  
1983年3月
- 8・小町3丁目11～34 『東勝寺遺跡発掘調査報告書』「第1次・第2次調査」  
東勝寺遺跡発掘調査団 担当赤星 1977年3月
- 9・雪ノ下3丁目606番1地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書9-3」担当菊川  
鎌倉市教育委員会 1993年3月
- 10・雪ノ下3丁目607番1地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書20-2」担当降矢  
鎌倉市教育委員会 2004年3月
- 11・雪ノ下4丁目620番5地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書14-2」担当馬淵  
鎌倉市教育委員会 1998年3月
- 12・雪ノ下3丁目607番外地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書10-1」担当菊川  
鎌倉市教育委員会 1994年3月
- 13・雪ノ下4丁目610番2他地点 「大倉南御門A地点発掘調査報告書」担当赤星  
大倉幕府周辺遺跡発掘調査団 1983年12月
- 14・雪ノ下4丁目610番2他地点 「大倉南御門B地点発掘調査報告書」担当赤星  
大倉幕府周辺遺跡発掘調査団 1983年12月
- 15・雪ノ下4丁目610番2他地点 「大倉南御門C地点発掘調査報告書」担当赤星  
大倉幕府周辺遺跡発掘調査団 1983年12月
- 16・雪ノ下3丁目965番 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書8」担当手塚  
鎌倉市教育委員会 1992年3月
- 17・雪ノ下3丁目966番1地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書8」担当瀬田  
鎌倉市教育委員会 1992年3月
- 18・雪ノ下3丁目987番1・2地点 「政所跡発掘調査報告書」担当手塚  
政所跡発掘調査団 1991年3月
- 19・雪ノ下3丁目988番地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書9-3」担当手塚  
鎌倉市教育委員会 1993年3月  
「神奈川県埋蔵文化財報告35」同地点 政所跡発掘調査団の調査分 担当手塚
- 20・雪ノ下3丁目970番2外地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書15-2」担当手塚  
鎌倉市教育委員会 1999年3月
- 21・雪ノ下3丁目971番6地点 「神奈川県埋蔵文化財報告41」担当手塚 政所跡発掘調査団
- 22・雪ノ下3丁目989番4地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17-1」担当宗臺  
鎌倉市教育委員会 2001年3月
- 23・小町2丁目426番3地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書12-1」担当原  
鎌倉市教育委員会 1996年3月

- 24・小町3丁目455番4地点 「神奈川県埋蔵文化財報告41」 担当原 北条高時邸跡発掘調査団
- 25・小町2丁目389番1地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書12-2」 担当原  
鎌倉市教育委員会 1996年3月
- 26・小町2丁目534番12外地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書9-3」 担当田代  
鎌倉市教育委員会 1993年3月
- 27・雪ノ下1丁目395番地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5」 担当菊川  
鎌倉市教育委員会 1989年3月
- 28・雪ノ下1丁目400番1地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18-2」 担当馬淵  
鎌倉市教育委員会 2002年3月
- 29・雪ノ下1丁目401番5外地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19」 担当馬淵  
鎌倉市教育委員会 2003年3月
- 30・雪ノ下1丁目432番2地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5」 担当菊川  
鎌倉市教育委員会 1989年3月
- 31・小町2丁目402番5地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17-1」 担当手塚  
鎌倉市教育委員会 2003年3月
- 32・小町2丁目374番1地点 「神奈川県遺跡調査・研究発表会要旨」 担当原 1998年6月
- 33・小町1丁目325番イ外地点 「鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書10-3」 担当田代  
鎌倉市教育委員会 1994年3月

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
6	1	遺構1119		てづくね	9.2	(6.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
6	2	遺構1119		てづくね	13.0	(5.0)	3.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
6	3	遺構1119		かわらけ	8.8	7.0	1.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
6	4	遺構144	常滑	甕				胎土：白色粒・黒色粒・色調：暗赤褐色、叩き文残る
6	5	遺構261		かわらけ	(12.8)	(9.0)	2.6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	6	遺構262		かわらけ	(8.8)	(6.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	7	遺構262		鉄製品・取瓶		(5.0)		口縁部片口・内外面に錆が付着していたため器形に難
6	8	遺構268		てづくね	(9.2)	(6.8)	1.8	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・やや粗土・焼成：良好・色調：黄橙色
6	9	遺構268	船載	青白磁印花文碗		(5.6)		素地：白色・釉：淡水色
6	10	遺構283		かわらけ	(9.4)	(7.4)	1.95	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	11	遺構315		鉄製品・釘	(7.2)	(1.5)	(0.7)	
6	12	遺構321		てづくね	(9.6)	(5.2)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	13	遺構324		鉄製品・釘	(3.7)	(0.6)	(0.5)	
6	14	遺構327		鉄製品・釘	(3.7)	(0.4)	(0.4)	
6	15	遺構348		てづくね	(12.5)	(6.0)	2.9	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・やや粗土・焼成：良好・色調：黄橙色
6	16	遺構371		かわらけ	(8.4)	5.9	1.95	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	17	遺構379		てづくね	(7.2)	(6.0)	(1.05)	コースター型・胎土：微砂・雲母・貝状骨針・粗土・焼成：良好・色調：黄橙色
6	18	遺構379		てづくね	(9.1)	(5.6)	1.65	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
6	19	遺構379		かわらけ	(8.7)	(6.8)	1.8	胎土：微砂・黒色粒子・雲母。貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
6	20	遺構382		鉄製品・釘	(4.1)	(0.65)	(0.5)	
6	21	遺構387		かわらけ	(12.4)	(8.4)	2.95	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
6	22	遺構387		てづくね	(8.4)	(6.2)	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	1	遺構132		てづくね	(8.4)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	2	遺構132		てづくね	(8.4)	(7.0)	(1.3)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	3	遺構132		てづくね	9.0	(6.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	4	遺構132		てづくね	(9.6)	(7.6)	(1.7)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	5	遺構132		てづくね	10.0	(7.0)	1.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
9	6	遺構132		てづくね	(11.8)	(6.4)	(3.2)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
9	7	遺構132		てづくね	(13.8)	(9.0)	(3.1)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	8	遺構132		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
9	9	遺構132		かわらけ	(8.6)	7.0	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
9	10	遺構132		かわらけ	(9.6)	(7.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
9	11	遺構132		かわらけ	(9.6)	(7.0)	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
9	12	遺構132		かわらけ	13.4	9.4	3.3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色・底部貼り付け
9	13	遺構132		かわらけ	(14.2)	(6.6)	4.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色・底部貼り付け
9	14	遺構132		鉄製品・釘	(3.8)	(0.4)	(0.3)	
9	15	遺構132	鳴滝	石製品・砥石	(4.4)	(3.3)	(0.8)	仕上砥
9	16	遺構159		鉄製品・釘	4.5	0.3	0.2	
9	17	遺構167		てづくね	(13.6)	(5.8)	(2.9)	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
10	1	遺構131a床面上		てづくね	(8.4)	(5.0)	(1.3)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
10	2	遺構131a床面上		てづくね	(8.6)	(3.8)	(1.8)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	3	遺構131a床面上		てづくね	(9.2)	(5.2)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	4	遺構131a床面上		てづくね	(9.4)	(6.6)	(1.8)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	5	遺構131a床面上		てづくね	(8.6)	(5.6)	(1.9)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	6	遺構131a床面上		てづくね	(9.4)	(6.6)	(1.7)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	7	遺構131a床面上		てづくね	(13.6)	(8.0)	2.9	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
10	8	遺構131a床面上		てづくね	(12.8)	(6.0)	2.4	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
10	9	遺構131a床面上		てづくね	(13.8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	10	遺構131a床面上		てづくね	(9.6)			胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・内面に油煤痕
10	11	遺構131a床面上		てづくね	(7.6)	(4.2)	1.4	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
10	12	遺構131a床面上		てづくね	(7.8)	(5.4)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
10	13	遺構131a床面上		てづくね	(8.4)	(7.0)	(1.7)	胎土：微砂・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	14	遺構131a床面上		山皿				胎土：白色粒・精良・色調：灰色・焼成：良好・硬質・東濃型
10	15	遺構131a床面上		摩耗製品				常滑製陶用製品・片面に油煤痕・断面摩耗
10	16	遺構131a床面上		鉄製品・釘	6.5	0.6	0.3	
10	17	遺構131b床面上		てづくね	(9.6)			胎土：微砂・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
10	18	遺構131b床面上		てづくね	(14.4)	(8.0)	2.5	胎土：微砂・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	19	遺構131b床面上		てづくね	(15.6)	(8.0)	2.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	20	遺構131b床面上		かわらけ	(8.8)	(6.0)	1.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	21	遺構131b床面上		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
10	22	遺構131b床面上	船載	青磁櫛掻文皿				素地：灰色・精良・釉：灰緑色
10	23	遺構131b床面上		鉄製品・釘	7.8	0.4	0.3	
12	1	遺構131		てづくね	(6.6)	(6.2)	(1.2)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
12	2	遺構131		てづくね	(6.6)	(5.6)	(1.5)	内折れかわらけ・胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
12	3	遺構131		てづくね	(7.8)	(6.0)	(1.1)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
12	4	遺構131		てづくね	(7.8)	(6.0)	(1.4)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	5	遺構131		てづくね	8.2	5.8	1.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	6	遺構131		てづくね	(8.6)	(5.2)	(2.0)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	7	遺構131		てづくね	(9.2)	(4.8)	1.7	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
12	8	遺構131		てづくね	(9.6)	(6.0)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	9	遺構131		てづくね	(8.8)	(5.0)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
12	10	遺構131		てづくね	(8.6)	(5.4)	(1.9)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	11	遺構131		てづくね	(9.2)	(6.0)	(1.4)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	12	遺構131		てづくね	(8.8)	(5.4)	(1.6)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	13	遺構131		てづくね	9.8	5.8	2.0	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	14	遺構131		てづくね	(9.2)	(7.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	15	遺構131		てづくね	9.2	4.0	1.9	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	16	遺構131		てづくね	(9.2)	(4.6)	2.0	胎土：微砂・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	17	遺構131		てづくね	9.2	5.4	1.8	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	18	遺構131		てづくね	(9.4)			胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
12	19	遺構131		てづくね	(9.8)	(4.2)	(2.0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	20	遺構131		てづくね	(11.8)			胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	21	遺構131		てづくね	(13.4)			胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	22	遺構131		てづくね	(12.8)			胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	23	遺構131		てづくね	(13.4)	(8.0)	(2.9)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
12	24	遺構131		てづくね	(13.8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	25	遺構131		てづくね	(13.8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	26	遺構131		てづくね	(13.6)	(8.0)	(2.7)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	27	遺構131		てづくね	(13.6)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	28	遺構131		てづくね	(13.6)		(3.0)	胎土：微砂・雲母・小石粒・焼成：良好・色調：橙色
12	29	遺構131		てづくね	(13.4)	(7.6)	(2.7)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	30	遺構131		てづくね	(13.8)	(6.6)	(3.1)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
12	31	遺構131		てづくね	(14.8)	(8.0)	(3.1)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	32	遺構131		てづくね	(15.6)	(9.6)	(2.8)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	33	遺構131		てづくね	(15.8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	34	遺構131		てづくね	(15.6)	(8.2)	3.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
12	35	遺構131		かわらけ	(8.8)	(6.0)	1.9	胎土：微砂・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	36	遺構131		かわらけ	(8.6)	(6.2)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
12	37	遺構131		かわらけ	(8.8)	6.6	1.8	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
12	38	遺構131		かわらけ	(9.4)	(6.2)	2.0	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
12	39	遺構131		かわらけ	(9.2)	6.6	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
12	40	遺構131		かわらけ	(9.8)	(6.8)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
12	41	遺構131		かわらけ	(9.6)	(6.4)	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
12	42	遺構131		かわらけ			7.0	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
12	43	遺構131	船載	青磁櫛搔文皿				素地：灰色・精良・釉：灰緑色
12	44	遺構131	船載	青磁割花文碗				素地：灰色・精良・釉：灰緑色
12	45	遺構131	船載	青磁櫛搔文皿		(5.0)		素地：灰色・精良・釉：灰緑色
12	46	遺構131	船載	青磁櫛搔文皿		(5.0)		素地：灰色・精良・釉：灰緑色
12	47	遺構131		円盤状製品	2.6	3.0	0.5	かわらけ底部転用製品
12	48	遺構131	常滑	片口鉢I類	(27.4)			胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色
12	49	遺構131	常滑	片口鉢I類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色
12	50	遺構131	常滑	片口鉢I類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色
12	51	遺構131	常滑	甗				胎土：砂粒・黒色粒・色調：黒褐色
12	52	遺構131	常滑	甗				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：褐色・縁帯幅：1.4cm
12	53	遺構131		摩耗石	(8.0)	(4.6)	(1.6)	全体に摩耗痕・表面に刃物痕・火熱を受け黒く変色・凝灰岩
12	54	遺構131		平瓦			2.1	凹面：離れ砂・布目痕なし・横位のナデ・凸面：離れ砂・縄目痕・横位のナデ・側面：ケズリ痕・端面：ケズリ痕・胎土：白色粒・焼成：良好・色調：灰色
12	55	遺構131		鉄製品・釘	(4.8)	(0.6)	(0.5)	
12	56	遺構131		鉄製品・釘	(3.5)	(0.4)	(0.4)	
12	57	遺構131		鉄製品・不明	(8.8)	(0.7)	(0.9)	
13	25	遺構362		鉄製品・釘	(7.5)	(0.6)	(0.5)	
13	26	遺構362		鉄製品・釘	(5.5)	(0.5)	(0.7)	
13	27	遺構362		鉄製品・釘	(5.0)	(0.7)	(0.5)	
13	28	遺構362		鉄製品・釘	(3.8)	(0.4)	(0.7)	
13	29	遺構362		鉄製品・釘	(3.2)	(0.6)	(0.5)	
15	1	遺構111		てづくね	(9.8)	(6.8)	(2.2)	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
15	2	遺構111		てづくね	(11.6)	(5.6)	(3.0)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄灰色
15	3	遺構111		かわらけ	8.2	5.8	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
15	4	遺構111	船載	青白磁碗				素地：灰色・精良・釉：水色
15	5	遺構111	船載	青磁蓮弁文碗				素地：灰色・精良・釉：灰緑色・竜泉窯
15	6	遺構111		土師質壺			(10.0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色・底部貼り付け
15	7	遺構111		籬の羽口				外径(8.8cm)・内径(3.0cm)
15	8	遺構95		てづくね	(8.8)	(4.6)	(2.5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄褐色
15	9	遺構95		てづくね	(13.0)	(5.8)	(3.3)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
15	10	遺構95		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
15	11	遺構95	尾張	山茶碗				胎土：砂粒・色調：灰色
15	12	遺構95	船載	青磁櫛搔文皿		5.0		素地：灰色・精良・釉：灰緑色・同安窯
15	13	遺構95	船載	緑釉洗				胎土：砂粒・精良・釉：緑釉・泉州磁壺窯
15	14	遺構95		平瓦			1.8	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：縄目痕・縦位ナデ・凹面：離れ砂・縦位ナデ・12世紀末
15	15	遺構95		鉄製品・釘	(4.2)	(0.6)	(0.4)	
18	1	遺構101		てづくね	(9.8)	(4.8)	(2.0)	胎土：微砂・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
18	2	遺構107		かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
18	3	遺構107	船載	青磁櫛搔文皿	(9.8)			素地：灰色・精良・釉：灰緑色・同安窯
18	4	遺構110		てづくね	8.4	5.6	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
18	5	遺構112		かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄褐色
18	6	遺構117	常滑	片口鉢II類				胎土：砂粒・白色粒・長石・色調：暗赤褐色
18	7	遺構117		鉄製品・釘	(3.0)	(0.5)	(0.4)	
18	8	遺構120		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色・内外面上部に油煤痕
18	9	遺構121		てづくね	(14.4)	(8.4)	2.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
18	10	遺構198		てづくね	(8.8)	(5.4)	(1.8)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
18	11	遺構198		かわらけ	(8.8)	(6.0)	2.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
18	12	遺構198		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
18	13	遺構198	常滑	片口鉢I類				胎土：砂粒・小石粒・白色粒・色調：灰色
18	14	遺構198		鉄製品・釘	(5.9)	(0.6)	(0.5)	
18	15	遺構242		かわらけ	12.4	8.8	3.1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
18	16	遺構242	常滑	甗		(16.0)		胎土：白色粒・黒色粒・色調：赤褐色
18	17	遺構242		鉄製品・釘	(4.5)	(0.7)	(0.7)	
18	18	遺構247		須恵器・碗				胎土：砂粒・白色粒・色調：灰色
18	19	遺構254		てづくね	(8.9)	(4.6)	2.0	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色

出土遺物観察表 単位: cm ( ) = 復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
18	20	遺構257		てづくね	(12.0)	(8.0)	(2.95)	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 淡橙色
18	21	遺構257		かわらけ	(13.3)	(8.6)	3.0	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色
18	22	遺構257		かわらけ	(12.6)	(8.5)	3.15	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面口唇部に油煤痕
18	23	遺構257		かわらけ	11.8	8.4	3.5	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・粗土・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面に油煤痕・器形の歪み激しい
18	24	遺構257		かわらけ	(12.1)	8.8	3.0	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面上部に油煤痕
18	25	遺構259		てづくね	(13.0)	(6.2)	3.3	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色
18	26	遺構259		かわらけ	(12.9)	(8.55)	3.3	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
18	27	遺構259		かわらけ	(13.1)	(8.4)	3.1	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面口唇部に油煤痕
18	28	遺構259		かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.7	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
18	29	遺構259	常滑	片口鉢I類				胎土: 砂粒・白色粒・石英・色調: 灰色・内面下部に摩耗痕
18	30	遺構263		てづくね	(12.5)	(6.8)	2.95	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・やや粗土・焼成: 良好・色調: 黄橙色
18	31	遺構266		てづくね	(13.2)	(5.6)	(2.9)	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
18	32	遺構279		てづくね	(9.3)	(6.0)	1.6	胎土: 微砂・雲母・赤色粒子・泥岩粒・貝状骨針・やや粗土・焼成: 良好・色調: 黄橙色
18	33	遺構280		かわらけ	(12.8)	(8.8)	2.7	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
18	34	遺構280	舶載	白磁壺				素地: 明灰色・黒色粒・釉: 薄い・四耳壺か?
18	35	遺構292		てづくね	(9.2)	(6.0)	(1.5)	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
18	36	遺構292		須恵器・蓋				口径13.0cm・最大径15.0cm・高さ4.3cm・色調: 灰黒色
19	37	遺構294		てづくね	(12.6)	(6.6)	(3.3)	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 淡橙色
19	38	遺構294		てづくね	(13.0)		(3.3)	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 淡橙色
19	39	遺構294		かわらけ	8.95	6.7	1.95	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
19	40	遺構297		てづくね	(5.7)	(6.0)	1.15	内折れかわらけ・胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	41	遺構297		てづくね	(8.6)	(6.2)	1.5	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	42	遺構297		石製品・砥石	(5.7)	3.6	0.7	鳴滝産・仕上げ・裏面に使用痕・側面切り出し痕
19	43	遺構299		かわらけ	(12.3)	(8.0)	3.0	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	44	遺構307		てづくね	9.1	4.0	1.9	胎土: 微砂・雲母・焼成: 良好・色調: 淡橙色
19	45	遺構307		てづくね	(9.9)	(6.2)	2.1	胎土: 微砂・雲母・焼成: 良好・色調: 淡橙色
19	46	遺構310		かわらけ	(12.8)	(8.7)	2.75	胎土: 微砂・雲母・赤色粒子・貝状骨針・やや粗土・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	47	遺構339		かわらけ	(9.3)	(8.0)	1.4	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	48	遺構342		鉄製品・釘	(3.8)	(0.6)	(0.5)	
19	49	遺構355		てづくね	(9.1)	(5.4)	1.85	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	50	遺構355		てづくね	(12.3)	(5.8)	3.4	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	51	遺構361		かわらけ	9.3	7.1	1.95	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	52	遺構370		てづくね	(12.6)			胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
19	53	遺構370		丸瓦			1.8	胎土: 砂粒・精良・焼成: 良好・色調: 灰色・凸面: 布目痕・斜位ナデ・凹面: 縄目痕・縦位ナデ
19	54	遺構373		てづくね	(9.6)		2.1	胎土: 微砂・黒色粒子・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
20	1	第3面上		てづくね	(8.6)			白かわらけ・胎土: 微砂・焼成: 良好・色調: 乳白色
20	2	第3面上		てづくね	(7.8)	(7.0)	(1.0)	内折れ・胎土: 微砂・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	3	第2面上		てづくね	(8.8)	(4.6)	1.8	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色
20	4	第3面上		てづくね	8.6	(5.8)	1.6	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	5	第3面上		てづくね	(8.8)	(6.4)	(1.9)	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	6	第3面上		てづくね	(8.7)	(6.2)	1.55	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
20	7	第3面上		てづくね	(12.8)		(2.6)	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	8	第2面上		てづくね	(13.2)	(6.4)	(3.2)	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	9	第3面上		てづくね	13.3	7.6	3.0	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面に油煤痕
20	10	第3面上		てづくね	(12.8)		(2.9)	胎土: 微砂・雲母・小石粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	11	第3面上		てづくね	(13.4)			胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	12	第3面上		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.8	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	13	第2面上		かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.7	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	14	第3面上		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.2	胎土: 微砂・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 乳白色
20	15	第3面上		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.7	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	16	第3面上		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.9	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	17	第3面上		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.9	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	18	第2面上		かわらけ	8.8	7.2	1.3	胎土: 微砂・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 乳白色
20	19	第3面上		かわらけ	9.2	7.2	1.6	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色・外底部に細かく木目痕
20	20	第3面上		かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.5	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
20	21	第3面上		かわらけ	(9.0)	7.0	1.8	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	22	第3面上		かわらけ	(8.8)	(6.8)	1.5	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 灰黄色
20	23	第2面上		かわらけ	(8.8)	(6.0)	1.4	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 橙色
20	24	第3面上		かわらけ	(9.4)	(7.0)	1.9	胎土: 微砂・雲母・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	25	第3面上		かわらけ	9.2	7.2	1.6	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	26	第3面上		かわらけ	(9.8)	(8.0)	1.8	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 橙色
20	27	第3面上		かわらけ	(8.6)	(3.0)	2.0	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	28	第2面上		かわらけ	(11.8)	9.0	3.0	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	29	第3面上		かわらけ	12.4	8.6	2.9	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	30	第3面上		かわらけ	(11.8)	(8.2)	3.1	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	31	第3面上		かわらけ	(12.8)	(8.0)	3.2	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 橙色
20	32	第3面上		かわらけ	13.2	7.8	3.2	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色
20	33	第2面上		かわらけ	(12.8)	(9.4)	3.0	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 黄橙色内外面口唇部の一部に油煤痕・内側面に一部に薄く油煤痕
20	34	第3面上		かわらけ	(12.5)	(8.8)	3.4	胎土: 微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成: 良好・色調: 橙色・内外面口唇部に油煤痕
20	35	第3面上		かわらけ		8.6		胎土: 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成: 良好・色調: 乳白色外底部に櫛状工具で、ろくろ回転痕を消している。9~10条単位の櫛歯
20	36	第3面上		かわらけ	(13.8)	(9.0)	3.1	胎土: 微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成: 良好・色調: 黄橙色
20	37	第3面上	舶載	青磁櫛搔文皿				素地: 黄橙色・釉: 灰緑色
20	38	第2面上		片口鉢I類	(30.4)			胎土: 砂粒・白色粒・色調: 灰色・遺構208破片と接合
20	39	第3面上	常滑	片口鉢I類	(39.6)			胎土: 砂粒・白色粒・色調: 灰色
20	40	第3面上	常滑	片口鉢I類		(16.0)		胎土: 小石粒・白色粒・色調: 赤褐色
20	41	第3面上	常滑	片口鉢I類				胎土: 砂粒・白色粒・色調: 灰褐色

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
20	42	第3面面上	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：灰色
20	43	第2面面上		平瓦			1. 2	胎土：精良・焼成：良好・色調：灰色・凸面：縄目痕、横位ナデ・凹面：斜位ナデ
20	44	第3面面上		石製品・砥石	(3. 2)	(2. 8)	0. 5	鳴滝産・仕上砥
20	45	第3面面上		鉄製品・釘	(5. 8)	(0. 4)	(0. 6)	
20	46	第3面面上		鉄製品・釘	(4. 2)	(0. 6)	(0. 5)	
20	47	第3面面上		鉄製品・釘	(3. 7)	(0. 3)	(0. 2)	
20	48	第2面面上		鉄製品・釘	(6. 8)	(0. 6)	(0. 3)	
20	49	第3面面上		銭				開元通寶・初鑄年一唐6 2 1年
21	1	第3面構成土		てづくね	(9. 0)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
21	2	第3面構成土		てづくね	(8. 4)	(6. 0)	(1. 6)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
21	3	第3面構成土		てづくね	(1 2. 2)			胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
21	4	第3面構成土		てづくね	(1 3. 8)	(8. 0)	(3. 2)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
21	5	第3面構成土		てづくね	(1 2. 8)	(6. 8)	2. 9	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
21	6	第3面構成土		かわらけ	(8. 8)	(6. 0)	1. 7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
21	7	第3面構成土		かわらけ	(8. 8)	(6. 0)	1. 8	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色・内底面油煤痕
21	8	第3面構成土		かわらけ	(8. 4)	(6. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・内外面口唇部に油煤痕
21	9	第3面構成土		かわらけ	(9. 8)	(6. 0)	2. 2	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
21	10	第3面構成土		かわらけ	(8. 8)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
21	11	第3面構成土	船載	青磁榎掻文碗	(1 5. 8)			素地：灰色・精良・釉：灰緑色
21	12	第3面構成土	船載	青白磁壺		(8. 0)		素地：白色・黒色粒・精良・釉：水色・外面蓮弁文？
21	13	第3面構成土	東濃	山茶碗				胎土：灰色・精良
21	14	第3面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：褐色
21	15	第3面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・黒色粒・色調：黒褐色・縁帯幅1. 1 cm
21	16	第3面構成土		鉄製品・釘	(6. 5)	(0. 7)	(0. 3)	
21	17	第3面構成土		鉄製品・釘	(3. 4)	(0. 4)	(0. 6)	
21	18	第3面構成土		鉄製品・釘	(4. 8)	(0. 4)	(0. 3)	
23	1	遺構 6 5		かわらけ	(8. 4)	(5. 6)	2. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
23	2	遺構 6 5		かわらけ	(8. 8)	(6. 8)	1. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
23	3	遺構 6 5	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：褐色・縁帯幅5. 5 cm
23	4	遺構 6 5	常滑	甕		(1 8. 0)		胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：赤褐色・外底部砂付着
24	1	遺構 8 8		てづくね	(8. 2)	(6. 1)	(1. 5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
24	2	遺構 8 8		てづくね	(8. 6)	(6. 0)	(1. 5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
24	3	遺構 8 8		てづくね	(8. 2)		(1. 6)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
24	4	遺構 8 8		てづくね	(1 2. 4)	(6. 0)	(3. 0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
24	5	遺構 8 8		てづくね	(1 2. 8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
24	6	遺構 8 8		てづくね	(1 2. 8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
24	7	遺構 8 8		かわらけ	(7. 8)	(5. 8)	1. 5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
24	8	遺構 8 8		かわらけ	(8. 2)	(6. 4)	1. 5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
24	9	遺構 8 8		かわらけ	(8. 8)	(6. 6)	1. 9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
24	10	遺構 8 8		かわらけ	(1 2. 8)	(8. 0)	2. 7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
24	11	遺構 8 8		かわらけ	(1 2. 8)	(9. 0)	3. 3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
24	12	遺構 8 8	常滑	片口鉢 1 類				胎土：砂粒・白色粒・色調：灰色
24	13	遺構 8 8	常滑	甕				胎土：砂粒・黒色粒・白色粒・小石粒・色調：褐色・縁帯幅1. 9 cm
24	14	遺構 8 8		平瓦			2. 4	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜徹氏の叩き目・縦位ナデ・凹面：離れ砂・縦位のナデ
24	15	遺構 8 8		平瓦			2. 4	胎土：砂粒・良土・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：斜徹氏・凹面：布目痕・縦位のナデ
24	16	遺構 8 8		須恵器甕				部位不明・胎土：砂粒・白色粒・焼成：良好・色調：灰色・外面に叩き目
25	1	遺構 1 0 4		てづくね	(7. 4)	(6. 0)	(1. 3)	胎土：微砂・焼成：良好・色調：灰色
25	2	遺構 1 0 4		かわらけ	(7. 8)	(6. 8)	1. 5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
25	3	遺構 1 0 4		かわらけ	(8. 6)	6. 0	1. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
25	4	遺構 1 0 4		かわらけ	(1 1. 8)	(7. 8)	2. 8	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色・内外面口唇部油煤痕
25	5	遺構 1 0 4	船載	青磁榎掻文皿	(9. 8)			素地：灰色・精良・釉：灰緑色・同安窯
25	6	遺構 1 0 4	渥美	片口鉢				胎土：砂粒・白色粒・粗土・色調：灰色・釉：刷毛塗り
25	7	遺構 1 0 4	常滑	片口鉢 1 類				胎土：砂粒・色調：灰色・瀬戸窯の可能性もあり(馬淵氏ご教授)
25	8	遺構 1 0 4		鉄製品・釘	(3. 7)	(0. 6)	(0. 6)	
26	1	遺構 2 1 9		てづくね	(8. 9)	(6. 8)	1. 6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
26	2	遺構 2 1 9		てづくね	(8. 9)	(6. 0)	1. 4 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	3	遺構 2 1 9		てづくね	8. 7	2. 0	2. 2 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
26	4	遺構 2 1 9		てづくね	(1 2. 5)	(5. 0)	3. 4	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・白色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
26	5	遺構 2 1 9		てづくね	(1 2. 6)	(5. 8)	3. 2	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色・内外面口唇部に油煤痕
26	6	遺構 2 1 9		かわらけ	(7. 8)	(6. 8)	1. 2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	7	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 5 5	7. 2	1. 2	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・小石粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	8	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 7	6. 3	1. 6 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	9	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 6	5. 9	2. 0	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
26	10	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 7	6. 0	1. 6 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	11	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 5	6. 6	1. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
26	12	遺構 2 1 9		かわらけ	(8. 4)	(5. 6)	1. 7 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	13	遺構 2 1 9		かわらけ	(8. 8)	(6. 6)	1. 7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・黒色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	14	遺構 2 1 9		かわらけ	(8. 6)	(6. 8)	1. 7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	15	遺構 2 1 9		かわらけ	(9. 1)	(7. 6)	1. 7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	16	遺構 2 1 9		かわらけ	8. 8	6. 1	1. 8	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
26	17	遺構 2 1 9		かわらけ	(8. 4)	(6. 4)	1. 5 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	18	遺構 2 1 9		かわらけ	(9. 0)	(6. 8)	1. 7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	19	遺構 2 1 9		かわらけ	9. 0	6. 8	2. 0	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：淡褐色
26	20	遺構 2 1 9		かわらけ	(8. 9)	(6. 0)	2. 0	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	21	遺構 2 1 9		かわらけ	(1 1. 8)	(7. 8)	2. 8 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
26	22	遺構 2 1 9		かわらけ	(1 3. 3)	(8. 4)	3. 0 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	1	遺構 5 2		鉄製品・釘	(4. 0)	(0. 5)	(0. 4)	
28	2	遺構 5 4		緑釉洗				胎土：白色粒・火熱を受けたため釉が剥離している・泉州磁磁窯
28	3	遺構 5 9		てづくね	(7. 4)	(4. 8)	(1. 2)	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：褐色

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
28	4	遺構 6 3		山茶碗	(1 2. 6)			胎土：灰色・精良・焼成：良好・色調：灰色・東濃系
28	5	遺構 6 8		かわらけ	(8. 8)	6. 4	1. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	6	遺構 7 1		鉄製品・釘	(6. 1)	(0. 3)	(0. 3)	
28	7	遺構 7 3		てづくね	(9. 8)	(5. 8)	(2. 1)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	8	遺構 7 3		かわらけ	(8. 8)	(6. 2)	1. 9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	9	遺構 7 3	渥美	甕				胎土：灰色・砂粒・白色粒・粗土・色調：灰褐色・釉：刷毛塗り
28	10	遺構 7 8		てづくね	(8. 8)	(6. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
28	11	遺構 7 8		てづくね	(1 3. 2)	(7. 6)	(3. 1)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
28	12	遺構 7 8	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・小石粒・色調：黒褐色
28	13	遺構 7 8		鉄製品・釘	(3. 0)	(0. 3)	(0. 3)	
28	14	遺構 8 7	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：褐色
28	15	遺構 9 0	常滑	片口鉢Ⅱ類				胎土：砂粒・白色粒・色調：暗赤褐色
28	16	遺構 1 0 5		てづくね	(9. 6)	(6. 8)	(1. 9)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：暗灰色
28	17	遺構 1 0 5		銭				開元通寶・初鑄年一唐 6 2 1 年
28	18	遺構 1 8 2		かわらけ	(7. 6)	(6. 0)	1. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	19	遺構 1 8 2		かわらけ	(1 3. 4)	(9. 0)	3. 2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	20	遺構 1 8 2		鉄製品・釘	(3. 0)	(0. 4)	(0. 4)	
28	21	遺構 1 9 6		かわらけ	(8. 8)	(6. 8)	1. 7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	22	遺構 1 9 6		かわらけ	(1 3. 2)	(9. 0)	2. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
28	23	遺構 1 9 6		かわらけ	(1 3. 8)	(1 0. 0)	3. 0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
28	24	遺構 2 0 8		てづくね	(8. 8)	(6. 0)	(1. 9)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	25	遺構 2 0 8		かわらけ	(7. 8)	(6. 0)	1. 3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	26	遺構 2 0 8		鉄製品・釘	(3. 6)	(0. 6)	(0. 5)	
28	27	遺構 2 1 8		てづくね	(1 2. 8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
28	28	遺構 2 1 8		てづくね	(1 2. 8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	29	遺構 2 1 8		かわらけ	(8. 7)	(7. 0)	(1. 9)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・
28	30	遺構 2 1 8		かわらけ	(1 2. 8)	(8. 6)	2. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
28	31	遺構 2 1 8		かわらけ	1 2. 5	9. 0	3. 4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
28	32	遺構 2 6 0		かわらけ	(8. 6)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	33	遺構 2 6 0		鉄製品・釘	(6. 7)	(0. 4)	(0. 3)	
28	34	遺構 2 7 3		かわらけ	(8. 8)	(6. 0)	1. 7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
28	35	遺構 3 0 1	船載	青磁白堆文碗				輪花型・素地：灰色・釉：灰緑色
29	1	第 2 面面上		てづくね	(8. 8)	(6. 0)	(1. 4)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
29	2	第 2 面面上		てづくね	(8. 8)	(4. 8)	(1. 9)	胎土：微砂・焼成：良好・色調：褐色
29	3	第 2 面面上		てづくね	(9. 0)	(6. 0)	(1. 3)	胎土：微砂・赤色粒・土丹粒・焼成：良好・色調：褐色
29	4	第 2 面面上		てづくね	(9. 4)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・小石粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
29	5	第 2 面面上		てづくね	(1 2. 8)	(6. 0)	(3. 2)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
29	6	第 2 面面上		てづくね	(1 3. 6)	(4. 2)	(3. 8)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
29	7	第 2 面面上		かわらけ	(8. 0)	(6. 0)	1. 8	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
29	8	第 2 面面上		かわらけ	(1 2. 8)	6. 6	3. 0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
29	9	第 2 面面上	船載	青磁劃花文碗	(1 4. 8)			素地：精良・黒色粒・灰色・釉：灰緑色
29	10	第 2 面面上	船載	青磁劃花文皿		(7. 0)		素地：灰褐色・黒色粒・釉：緑褐色
29	11	第 2 面面上		鉄製品・釘	(6. 6)	(0. 4)	(0. 3)	
29	12	第 2 面面上		鉄製品・釘	(7. 5)	(0. 2)	(0. 3)	
30	1	第 2 面構成土		てづくね	(8. 0)	(5. 0)	(2. 2)	白かわらけ・胎土：精良・焼成：良好・色調：乳白色
30	2	第 2 面構成土		てづくね	(8. 6)	(6. 0)	(1. 7)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	3	第 2 面構成土		てづくね	(7. 8)	(4. 8)	(1. 7)	胎土：微砂・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
30	4	第 2 面構成土		てづくね	(7. 8)	(6. 4)	(1. 8)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	5	第 2 面構成土		てづくね	(8. 2)	(5. 8)	(1. 5)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	6	第 2 面構成土		てづくね	(8. 6)	(6. 4)	(1. 5)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
30	7	第 2 面構成土		てづくね	(9. 2)	(4. 8)	1. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	8	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)	(6. 2)	(1. 6)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
30	9	第 2 面構成土		てづくね	(8. 6)	(6. 8)	(1. 5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
30	10	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)	(5. 0)	(2. 0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
30	11	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)		(2. 4)	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	12	第 2 面構成土		てづくね	(9. 0)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	13	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)	(6. 0)	(1. 9)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
30	14	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)	(7. 0)	(1. 4)	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
30	15	第 2 面構成土		てづくね	(8. 8)	(5. 8)	(1. 7)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
30	16	第 2 面構成土		てづくね	(9. 6)	(7. 0)	(1. 9)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色・内面に油煤痕
30	17	第 2 面構成土		てづくね	(1 1. 8)	(5. 8)	(2. 6)	胎土：微砂・焼成：良好・色調：褐色
30	18	第 2 面構成土		てづくね	(1 2. 9)	(6. 2)	2. 9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・内外面口唇部に油煤痕
30	19	第 2 面構成土		てづくね	(1 2. 6)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：褐色
30	20	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 6)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
30	21	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 9)	(6. 4)	1. 6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
30	22	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 8)	(7. 0)	1. 6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
30	23	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 2)	(6. 0)	1. 7	胎土：雲母・貝状骨針・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：褐色
30	24	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 4)	(6. 0)	1. 9	胎土：微砂・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	25	第 2 面構成土		かわらけ	8. 8	7. 0	1. 4	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	26	第 2 面構成土		かわらけ	(9. 2)	(6. 6)	1. 8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	27	第 2 面構成土		かわらけ	(8. 8)	(6. 0)	1. 7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色・内面に油煤痕
30	28	第 2 面構成土		かわらけ	(1 1. 8)	(7. 0)	3. 1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色口唇部 1 か所打ち掻け・内外面口唇部に油煤痕
30	29	第 2 面構成土		かわらけ	(1 0. 8)	(9. 0)	3. 1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
30	30	第 2 面構成土		かわらけ	1 1. 6	9. 0	3. 1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	31	第 2 面構成土		かわらけ	(1 3. 0)	8. 6	3. 2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	32	第 2 面構成土		かわらけ	(1 2. 4)	8. 4	3. 2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	33	第 2 面構成土		かわらけ	(1 2. 7)	8. 7	3. 2 5	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：褐色
30	34	第 2 面構成土	船載	青磁劃花文碗	(1 5. 8)			素地：灰色・精良・釉：灰緑色
30	35	第 2 面構成土	船載	青磁飾搔文皿	(9. 8)			素地：灰色・精良・釉：灰緑色

出土遺物観察表 単位：cm ( ) = 復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
30	36	第2面トレンチ	尾張	山皿	(6.8)	(4.0)	2.0	胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・硬質・焼成：良好・色調：灰色・底部回転糸切り
30	37	第2面構成土	常滑	片口鉢1類				胎土：砂粒・黒色粒・白色粒・色調：灰色
30	38	第2面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・長石粒・色調：灰緑色
30	39	第2面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・小石粒・色調：暗赤褐色
30	40	第2面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・長石粒・小石粒・色調：赤褐色
30	41	第2面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：暗灰色・釉：刷毛塗り
30	42	第2面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：黒褐色・釉：刷毛塗り
30	43	第2面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：灰緑色・釉：刷毛塗り
30	44	第2面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：灰色
30	45	第2面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・白色粒・色調：黒褐色・釉：刷毛塗り
30	46	第2面構成土	魚住	片口鉢				片口鉢転用品・断面摩耗・砥石として使用か？・胎土：砂粒・白色粒・色調：暗灰色
30	47	第2面構成土		瓦器皿	(4.8)		(0.9)	手づくね・内折れ小皿・胎土：砂粒・雲母・焼成：良好・色調：灰色
30	48	第2面構成土		瓦器皿	(7.4)	(6.0)	(1.0)	手づくね・内折れ小皿・胎土：砂粒・雲母・粗土・焼成：良好・色調：黒灰色
30	49	第2面構成土		平瓦			2.6	胎土：砂粒・白色粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：斜格子・斜位ナデ・凹面：離れ砂・布目痕無・ナデ不明
30	50	第2面構成土		石製品・砥石	(6.8)	(6.2)	約2.0	上野産・中砥・色調：灰緑色・生産地切り出し痕
30	51	第2面構成土		鉄製品・釘	(4.5)	(0.4)	(0.4)	
30	52	第2面構成土		鉄製品・釘	(4.8)	(0.5)	(0.5)	
30	53	第2面構成土		鉄製品・釘	(3.7)	(0.7)	(0.5)	
30	54	第2面構成土		鉄製品・釘	(5.1)	(0.5)	(0.4)	
30	55	第2面構成土		鉄製品・釘	(5.5)	(0.5)	(0.5)	
30	56	第2面構成土		鉄製品・釘	(3.5)	(0.7)	(0.6)	
30	57	第2面構成土		鉄製品・釘	(3.8)	(0.6)	(0.6)	
30	58	第2面構成土		鉄製品・釘	(5.2)	(0.5)	(0.5)	
30	59	第2面構成土		鉄製品・釘	(3.4)	(0.5)	(0.5)	
30	60	第2面構成土		鉄製品・釘	(3.0)	(0.5)	(0.5)	
30	61	第2面構成土		チャート				破片だが出土例として掲載
33	1	遺構4		てづくね	(8.0)	(5.0)	1.4	胎土：微砂・雲母・焼成：やや不良・色調：黄灰色・内面に油煤痕
33	2	遺構4	船載	青磁割花文皿			3.6	素地：灰白色・黒色粒・精良堅緻・気孔あり・釉：緑褐色・貫入あり・底部ケズリ有
33	3	遺構5		かわらけ	(7.2)	(5.0)	1.3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄褐色
33	4	遺構5	常滑	片口鉢1類				内底面下部摩耗痕・胎土：灰白色・砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒
33	5	遺構6	水殿瓦窯	平瓦			2.0	胎土：灰色・砂粒・焼成：良好・色調：黒灰色・凸面：斜格子の中に<大>の文字・ナデ不明 凹面：離れ砂・水切り痕・斜目のナデ・永福寺II期
33	6	遺構14		てづくね	(9.4)	(5.6)	(1.8)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄褐色
33	7	遺構169		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
33	8	遺構171		鉄製品・釘	(4.8)	(0.5)	(0.5)	
33	9	遺構172		かわらけ	9.2	7.0	2.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：やや不良・色調：黄褐色
33	10	遺構172	瀬戸	鉢				口縁部に鉄滓附着
33	11	遺構172	土器質	摘み?	3.1			
33	12	遺構173		鉄製品・釘	(4.9)	(0.5)	(0.5)	
33	13	遺構174		かわらけ	(8.0)	(5.2)	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
33	14	遺構174		かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
33	15	遺構174		かわらけ	(12.4)	(7.0)	3.1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
33	16	遺構174	常滑	片口鉢1類				胎土：砂粒・白色粒・小石粒・色調：灰色
33	17	遺構175		円盤状製品	6.5	7.0	1.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・色調：黄褐色・かわらけ底部転用品
33	18	遺構175		かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色・口唇部打ち掻け・口唇部内外面に油煤痕
33	19	遺構185	常滑	片口鉢1類	(28.6)			胎土：白色粒・砂粒・黒色粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・釉薬：灰緑色
34	1	第1面上		てづくね	(10.8)			白かわらけ・胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：乳白色
34	2	第1面上		てづくね	(7.6)			胎土：雲母・赤色粒・やや粗土・焼成：良好・色調：橙色
34	3	第1面上		てづくね	(8.8)	(4.6)	(1.7)	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
34	4	第1面上		てづくね	(12.8)	(5.0)	3.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
34	5	第1面上		てづくね	(13.8)	(10.0)	2.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・粗土・焼成：良好・色調：黄褐色・内外面油煤痕
34	6	第1面上		てづくね	(13.4)	(7.0)	(3.2)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
34	7	第1面上		てづくね	(13.0)	(7.0)	(3.4)	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：暗灰色
34	8	第1面上		かわらけ	(8.8)	(6.0)	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
34	9	第1面上		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.7	胎土：雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄褐色
34	10	第1面上		かわらけ	(8.4)	(6.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
34	11	第1面上		かわらけ	(7.3)	(5.2)	1.6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄褐色
34	12	第1面上		かわらけ	(6.2)	(4.4)	1.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・小石粒・焼成：良好・色調：橙色
34	13	第1面上		かわらけ	(7.4)	(5.0)	2.2	胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
34	14	第1面上		かわらけ	(6.8)	(3.6)	2.2	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
34	15	第1面上		かわらけ	6.4	4.4	7.3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・小石粒・焼成：良好・色調：黄褐色
34	16	第1面上		かわらけ	(11.6)	(8.0)	3.0	胎土：雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
34	17	第1面上		かわらけ	(11.6)	(8.0)	3.1	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
34	18	第1面上		かわらけ	(10.8)	5.8	3.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
34	19	第1面上	船載	青磁櫛搔文皿				素地：灰色・黒色粒・精良堅緻・釉：透明・貫入あり・同安窯系
34	20	第1面上	船載	青磁碗			(6.0)	素地：灰色・堅緻・釉：透明・竜泉窯系
34	21	第1面上	船載	黄釉洗				胎土：白色粒・褐色砂粒・硬質・釉：黄褐色・施釉は薄い・泉州磁窯窯
34	22	第1面上	瀬戸	折縁深皿				胎土：白色粒・精良・焼成：良好・色調：灰色・釉薬：灰緑色
34	23	第1面上		円盤状製品	3.0	2.5	1.0	かわらけ底部転用品
34	24	第1面上	常滑	片口鉢1類	(25.0)			胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：灰色
34	25	第1面上	常滑	片口鉢1類				胎土：砂粒・白色粒・色調：外面暗灰色・内面灰色
34	26	第1面上	常滑	片口鉢1類				胎土：灰色・砂粒・白色粒・黒色粒・色調：灰色
34	27	第1面上	常滑	片口鉢1類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：灰色
34	28	第1面上	常滑	片口鉢II類				胎土：砂粒・白色粒・小石粒・色調：暗赤褐色
34	29	第1面上	常滑	片口鉢II類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰褐色・内底下部に磨滅痕
34	30	第1面上		瓦器碗				胎土：灰色・精良・色調：暗灰色・内底に菊花文の暗文



出土遺物観察表 単位：cm ( )＝復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
34	31	第1面上		平瓦				胎土：砂粒・小石粒・白色粒・凸面：叩き目不明・縦ナデ・凹面：離れ砂・布目痕無・縦ナデ・側面：削り痕
34	32	第1面上		丸瓦				玉縁部幅(1.6cm)・胎土：灰色・砂粒・焼成：やや不良・色調：暗灰色・凸面：横位のナデ・凹面：布目痕・側縁部：ケズリ・袋布の抜き取り痕あり
34	33	第1面上		平瓦			2.5	胎土：灰白色・砂粒・やや粗土・焼成：やや不良・色調：灰白色・凸面：斜格子の叩き目・ナデ不明・凹面：離れ砂・布目痕無・横位のナデ・美里水殿瓦窯
34	34	第1面上		平瓦			2.5	胎土：灰白色・砂粒・やや粗土・焼成：やや不良・色調：暗灰白色・凸面：縦位のナデ・凹面：縦位のナデ・美里水殿瓦窯
34	35	第1面上		鉄製品・釘				2～3本が癒着した状態で出土。
34	36	第1面上		鉄製品・釘	(4.6)	(0.5)	(0.5)	
34	37	第1面上		鉄製品・釘	(3.3)	(0.4)	(0.3)	
35	1	第1面構成土		てづくね				白かわらけ・胎土：微砂・焼成：良好・色調：黄白色
35	2	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(6.6)	1.0	白かわらけ・胎土：微砂・焼成：良好・色調：乳白色
35	3	第1面構成土		てづくね	(9.0)	(6.0)	(1.6)	白かわらけ・胎土：微砂・焼成：良好・色調：乳白色
35	4	第1面構成土		てづくね	(10.8)			白かわらけ・胎土：微砂・焼成：良好・色調：乳白色
35	5	第1面構成土		てづくね	(10.8)			白かわらけ・胎土：微砂・焼成：良好・色調：乳白色
35	6	第1面構成土		てづくね	(11.8)			白かわらけ・胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：黄白色
35	7	第1面構成土		てづくね	(5.6)	(4.2)	(1.4)	内折れ・胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：橙色
35	8	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(5.8)	(1.4)	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	9	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(4.8)	(1.6)	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	10	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(5.6)	(1.7)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	11	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(4.8)	1.6	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	12	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(4.0)	1.9	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	13	第1面構成土		てづくね	(8.4)	(6.0)	(1.6)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	14	第1面構成土		てづくね	(7.8)	(5.0)	(1.6)	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	15	第1面構成土		てづくね	8.6	4.0	2.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	16	第1面構成土		てづくね	(8.2)	(6.0)	1.6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	17	第1面構成土		てづくね	(8.4)	(5.4)	1.5	胎土：微砂・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄灰色
35	18	第1面構成土		てづくね	(9.0)	(6.0)	(1.4)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	19	第1面構成土		てづくね	(8.6)	(6.0)	(1.6)	胎土：雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	20	第1面構成土		てづくね	8.8	(5.0)	1.4	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	21	第1面構成土		てづくね	(8.8)	(6.4)	(1.7)	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	22	第1面構成土		てづくね	(9.8)	(7.4)	(1.4)	胎土：微砂・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	23	第1面構成土		てづくね	(9.6)	(5.4)	(1.7)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	24	第1面構成土		てづくね	9.4	7.2	1.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	25	第1面構成土		てづくね	(10.8)	(4.8)	(2.9)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
35	26	第1面構成土		てづくね	(12.4)			胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：黄橙色
35	27	第1面構成土		てづくね	(12.8)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	28	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(5.8)	(3.0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	29	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(6.6)	(3.5)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	30	第1面構成土		てづくね	(12.2)			胎土：微砂・雲母・焼成：良好・色調：黄橙色
35	31	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(7.6)	(2.8)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・内外面口唇部に油煤痕
35	32	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(7.0)	2.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	33	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(9.0)	(2.3)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	34	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(5.0)	(3.0)	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
35	35	第1面構成土		てづくね	(13.8)	(8.4)	(2.8)	胎土：雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	36	第1面構成土		てづくね	(12.8)	(8.0)	(2.5)	胎土：雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：橙色
35	37	第1面構成土		かわらけ	(5.8)	(4.4)	1.1	胎土：白色粒・精良・焼成：やや不良・色調：乳白色・白かわらけ
35	38	第1面構成土		かわらけ	(5.6)	(4.4)	1.0	胎土：微砂・雲母・粗土・焼成：良好・色調：黄橙色
35	39	第1面構成土		かわらけ	6.8	5.0	1.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	40	第1面構成土		かわらけ	(7.2)	(5.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	41	第1面構成土		かわらけ	7.8	5.8	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	42	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.5	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	43	第1面構成土		かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	44	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(5.4)	2.0	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・粗土・焼成：良好・色調：黄橙色・内外面口唇部に油煤痕
35	45	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.2	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	46	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(6.0)	(1.5)	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	47	第1面構成土		かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	48	第1面構成土		かわらけ	8.2	6.0	1.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	49	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	50	第1面構成土		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.6	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
35	51	第1面構成土		かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	52	第1面構成土		かわらけ	8.8	6.6	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	53	第1面構成土		かわらけ	(8.4)	(7.0)	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	54	第1面構成土		かわらけ	8.4	6.6	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	55	第1面構成土		かわらけ	8.2	6.2	1.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	56	第1面構成土		かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.6	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	57	第1面構成土		かわらけ	(8.8)	(6.8)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	58	第1面構成土		かわらけ	(8.8)	(5.2)	1.7	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：やや不良・色調：黄灰色
35	59	第1面構成土		かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.6	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	60	第1面構成土		かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・粗土・焼成：良好・色調：黄橙色
35	61	第1面構成土		かわらけ	8.8	6.2	2.5	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色・内外面口唇部に油煤痕
35	62	第1面構成土		かわらけ	11.8	7.4	3.3	胎土：微砂・雲母・赤色粒・小石粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	63	第1面構成土		かわらけ		7.8		胎土：微砂・雲母・赤色粒・小石粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	64	第1面構成土		かわらけ	(11.8)	(6.4)	3.2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	65	第1面構成土		かわらけ	(11.6)	7.0	3.2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
35	66	第1面構成土		かわらけ	(11.8)	(8.0)	2.8	胎土：微砂・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄灰色
35	67	第1面構成土		かわらけ	(11.8)	(7.6)	2.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	68	第1面構成土		かわらけ	11.8	7.8	3.0	胎土：微砂・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄灰色
35	69	第1面構成土		かわらけ	11.6	8.8	2.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
35	70	第1面構成土		かわらけ	(12.8)	(8.4)	3.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：暗橙色
35	71	第1面構成土		かわらけ	(10.8)	(8.0)	3.0	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	72	第1面構成土		かわらけ	(12.8)	(9.0)	2.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
35	73	第1面構成土		かわらけ	(12.8)	(8.4)	3.2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・泥岩粒・焼成：良好・色調：橙色
35	74	第1面構成土		かわらけ	12.8	7.2	3.8	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
35	75	第1面構成土		円盤状製品	約4.6	約4.6	1.0	かわらけ底部転用製品
36	76	第1面構成土	船載	青磁碗			5.8	素地：灰色・精良・釉：灰緑色・内底に「金玉満堂」の押印
36	77	第1面構成土	船載	青白磁碗				素地：白色粒・精良・釉：水色
36	78	第1面構成土	船載	青磁無文碗				素地：灰色・精良・釉：灰緑色・竜泉窯
36	79	第1面構成土	船載	青磁無文碗				素地：灰色・精良・釉：灰緑色・竜泉窯
36	80	第1面構成土	船載	青磁櫛搔文碗				素地：黄灰色・黒色粒・精良・釉：黄緑色
36	81	第1面構成土	船載	白磁口元皿		5.0		素地：白色
36	82	第1面構成土	船載	青白磁合子	(5.0)	(5.4)	2.0	最大径(6.0)・素地：白色・精良・釉：淡水色
36	83	第1面構成土	船載	緑釉洗				胎土：砂粒・精良・釉：緑釉・火熱を受けたためか銀色に変色・泉州磁窯
36	84	第1面構成土	船載	黄釉洗				胎土：白色粒・褐色粒・火熱を受けたためか釉が剥離している・泉州磁窯
36	85	第1面構成土	瀬戸	器種不明				胎土：微砂・精良・焼成：良好・やや軟質・13世紀中
36	86	第1面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：黒褐色・緑帯幅1.5cm・5期
36	87	第1面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・色調：灰色・緑帯部1.0cm・5期
36	88	第1面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：暗赤褐色・緑帯幅2.2cm
36	89	第1面構成土	常滑	甕				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：黒褐色・緑帯幅2.6cm
36	90	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：白色粒・やや砂質・内底下部摩耗痕
36	91	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：白色粒・やや砂質
36	92	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：灰色粒・やや砂質
36	93	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：黒褐色
36	94	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：黒褐色
36	95	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：砂粒・白色粒・小石粒・色調：灰色
36	96	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色
36	97	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色
36	98	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：白色粒・やや砂質
36	99	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類				胎土：白色粒・やや砂質
36	100	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅰ類		12.8		胎土：白色粒・やや砂質・内底下部摩耗痕
36	101	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅱ類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：暗赤褐色
36	102	第1面構成土	常滑	片口鉢Ⅱ類		(14.6)		胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒・色調：灰色・内面磨減痕・油煤痕有
36	103	第1面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・黒色粒・白色粒・焼成：良好・焼き締まる・色調：灰褐色・釉：刷毛塗り
36	104	第1面構成土	渥美	甕				胎土：砂粒・黒色粒・白色粒・年生あり・色調：灰褐色・釉：刷毛塗り
36	105	第1面構成土	渥美	甕				胎土：白色粒
36	106	第1面構成土		瓦器碗				胎土：灰白色・内面に磨き痕
36	107	第1面構成土		滑石鍋				砥石として転用か？
36	108	第1面構成土		平瓦			2.8	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：離れ砂・布目痕・斜・縦位のケズリ・ナデ・凹面：横位と斜位のナデ・鎌倉鶴岡八幡宮ⅠA期か？
36	109	第1面構成土		平瓦			2.0	胎土：白色粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：縄目の叩き痕・縦位のナデ・凹面：離れ砂・縦位のナデ・永福寺A
36	110	第1面構成土		平瓦			2.4	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：欠損のため不明・凹面：布目痕・斜位のナデ・鎌倉鶴岡八幡宮ⅠA期か？
37	111	第1面構成土		平瓦			2.5	胎土：砂粒・小石粒・やや粗土・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・離れ砂・縦位のナデ・凹面：離れ砂・布目痕・横位と縦位のナデ・広端面：ケズリ・永福寺D期
37	112	第1面構成土		平瓦			1.8	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：縄目の叩き目・縦位のナデ・凹面：離れ砂・斜位と縦位のナデ・永福寺B期
37	113	第1面構成土		平瓦			2.0	胎土：砂粒・黒色粒・小石粒・焼成：やや不良・色調：灰色・凸面：離れ砂・斜格子・凹面：離れ砂・薄く布目痕・縦位ナデ・側面：ケズリナデ・端部：ケズリ
37	114	第1面構成土		平瓦			2.0	胎土：砂粒・小石粒・白色粒・黒色粒・やや粗土・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・離れ砂・縦位のナデ・凹面：離れ砂・布目痕・斜位のナデ・永福寺D期
37	115	第1面構成土		平瓦			2.8	胎土：砂粒・白色粒・焼成：良好・色調：黄橙色・凸面：斜格子の叩き目・縦位のナデ・凹面：離れ砂・斜位のナデ・美里水殿瓦窯
37	116	第1面構成土		平瓦			2.6	胎土：砂粒・焼成：やや不良・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・凹面：離れ砂・横位のナデ
38	117	第1面構成土		平瓦			2.5	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・縦位のナデ・凹面：離れ砂・布目痕・横位・斜位のナデ・美里水殿瓦窯
38	118	第1面構成土		平瓦			2.5	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：離れ砂・縦位・斜位のナデ・凹面：離れ砂・縦位のナデ・美里水殿瓦窯
38	119	第1面構成土		平瓦			2.1	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：離れ砂・ナデ不明・凹面：ナデ不明・側面：ナデ・ケズリ・美里水殿瓦窯
38	120	第1面構成土		平瓦			2.1	胎土：砂粒・黒色粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子・斜位ナデ・凹面：離れ砂・縦位・斜位ナデ
38	121	第1面構成土		平瓦			2.2	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：離れ砂・横位のナデ・凹面：離れ砂・縦位・斜位のナデ・美里水殿瓦窯
38	122	第1面構成土		平瓦			2.0	胎土：砂粒・白色粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：斜位のナデ・凹面：離れ砂・斜位のナデ・鎌倉鶴岡八幡宮ⅠA期か？
38	123	第1面構成土		平瓦			2.6	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：離れ砂・斜位のナデ・凹面：離れ砂・縦位のナデ・美里水殿瓦窯
39	124	第1面構成土		平瓦			2.5	胎土：砂粒・焼成：良好・色調：暗灰色・凸面：縦位のナデ・凹面：離れ砂・斜位のナデ・美里水殿瓦窯
39	125	第1面構成土		平瓦			2.6	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・離れ砂・凹面：離れ砂・永福寺D期
39	126	第1面構成土		平瓦			2.1	胎土：砂粒・小石粒・焼成：やや不良・色調：黄灰色・凸面：離れ砂・斜位の糸切り痕・凹面：離れ砂・斜位のナデ・美里水殿瓦窯
39	127	第1面構成土		平瓦			2.5	胎土：砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面：斜格子の叩き目・離れ砂・縦位のナデ・凹面：離れ砂・横位と斜位のナデ・広端面：けずり・美里水殿瓦窯
39	128	第1面構成土		瓦器火鉢				胎土：砂粒・灰色・色調：暗灰色・外面磨きが入る
39	129	第1面構成土		土垂				外径(1.3)内径(0.4)長さ(5.4)
39	130	第1面構成土		石製品・砥石	(3.9)	(2.8)	(0.4)	鳴滝産・仕上砥・側面切り取り痕
39	131	第1面構成土		鉄製品・釘	(2.9)	(0.6)	(0.6)	
39	132	第1面構成土		鉄製品・釘	(3.5)	(0.6)	(0.7)	

出土遺物観察表 単位：cm ( )=復元値

図版No.	No.	出土地	産地	種別	口径(長さ)	底径(幅)	器高(厚さ)	備考
39	133	第1面構成土		鉄製品・釘	(4.0)	(0.5)	(0.3)	
39	134	第1面構成土		鉄製品・釘	(3.9)	(0.2)	(0.3)	
39	135	第1面構成土		鉄製品・釘	(4.2)	(0.5)	(0.4)	
39	136	第1面構成土		鉄製品・釘	(4.3)	(0.5)	(0.4)	
39	137	第1面構成土		鉄製品・釘	(3.8)	(0.6)	(0.5)	
39	138	第1面構成土		鉄製品・釘	(5.7)	(0.8)	(0.7)	
39	139	第1面構成土		鉄製品・釘	(5.3)	(0.7)	(0.8)	
39	140	第1面構成土		鉄製品・釘	(7.0)	(0.7)	(0.7)	
39	141	第1面構成土		鉄製品・釘	(7.0)	(0.5)	(0.3)	
39	142	第1面構成土		鉄製品・釘	(7.2)	(0.3)	(0.2)	
39	143	第1面構成土		鉄製品・釘	(8.2)	(0.6)	(0.5)	
39	144	第1面構成土		鉄製品・刀子	(18.2)	約2.0	(0.7)	
39	145	第1面構成土		鉄製品・刀子	(5.7)	(0.9)	(1.8)	
40	146	第1面構成土		銭				元豊通寶・初鑄年-北宋1078年・篆書
40	147	第1面構成土		銭				元豊通寶・初鑄年-北宋1078年・行書
40	148	第1面構成土		銭				東國通寶・初鑄年-高麗1097・真書
40	149	第1面構成土		銭				開元通寶・初鑄年-唐621年
40	150	第1面構成土		銭				元祐通寶・初鑄年-北宋1086年・篆書
40	151	第1面構成土		銭				○豊通○・行書
40	152	第1面構成土		銭				治平元寶・初鑄年-北宋1064・真書
40	153	第1面構成土		銭				祥符通寶・初鑄年-1008年
40	154	第1面構成土		須恵器碗				胎土：白色粒・灰色
40	155	第1面構成土		須恵器碗				胎土：白色粒・灰色
41	1	表探		てづくね	(7.8)		1.7	胎土：雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
41	2	表探		てづくね	(8.8)	(6.4)	1.6	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色・
41	9	表探		てづくね	(11.6)			胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
41	4	表探		てづくね	(13.6)			胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
41	5	表探		てづくね	(14.2)	(8.4)	3.2	胎土：微砂・雲母・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
41	6	表探		てづくね	13.8	(6.8)	3.6	胎土：微砂・雲母・小石粒・焼成：良好・色調：橙色
41	7	表探		かわらけ	(7.9)	(5.7)	1.55	胎土：微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒・焼成：良好・色調：黄橙色
41	8	表探		かわらけ	(8.2)	6.0	1.9	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：黄橙色
41	3	表探		かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.4	胎土：微砂・雲母・赤色粒・焼成：良好・色調：黄橙色
41	10	表探		かわらけ	(8.8)	(7.6)	1.95	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
41	11	表探		かわらけ	(8.3)	(7.3)	1.95	胎土：微砂・雲母・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
41	12	表探		かわらけ	(9.4)	(7.6)	1.7	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
41	13	表探		かわらけ	(12.8)	(8.2)	3.2	胎土：微砂・雲母・赤色粒・貝状骨針・焼成：良好・色調：橙色
41	14	表探	舶載	青磁無文碗				素地：灰色・精良・釉：灰緑色
41	15	表探	常滑	片口鉢I類				胎土：砂粒・白色粒・黒色粒・色調：灰色
41	16	表探		鉄製品・釘	(3.9)	(0.5)	(0.5)	
41	17	表探		鉄製品・釘	(3.5)	(0.4)	(0.4)	
41	18	表探		平瓦			2.5	胎土：灰白色・砂粒・小石粒・焼成：良好・色調：灰色・凸面斜格子の叩き文・凹面：離れ砂・縦位のナデ
41	19	表探		平瓦				胎土：砂粒・赤色粒・黒色粒・焼成：良好・色調：橙灰色・凸面：斜格子・ナデ不明・凹面：離れ砂・布目痕無・縦ナデ・永福寺D類
41	20	表探		平瓦			(2.1)	胎土：砂粒・雲母・焼成：やや不良・色調：灰褐色・凸面：斜格子の叩き目・水切り痕・凹面：離れ砂・斜位のナデ

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第1面	1	攪乱			
	2	土坑	88.0	88.4	37.0
	3	土坑	68.0	48.0	17.9
	4	土坑	68.0	34.0	11.3
	5	土坑	69.0	54.0	20.5
	6	土坑	112.0	(78.0)	33.8
	7	土坑	(53.0)	43.0	14.5
	9	ピット	28.0	(18.0)	18.0
	10	ピット	29.0	23.0	18.1
	11	溝状土坑	(320.0)	(26.0)	(10.0)
	12	溝状土坑	(480.0)	(37.0)	(11.7)
	13	攪乱			
	14	土坑	46.0	45.0	13.8
	15	土坑	45.0	(40.0)	10.1
	16	土坑	50.0	47.0	11.5
	21	ピット	42.0	27.0	11.0
	22	ピット	34.0	30.0	4.4
	26	ピット	40.0	29.0	32.6
	28	土坑	60.0	(51.0)	10.7
	27	土坑	49.0	44.0	21.6
	30	ピット	27.0	25.0	11.0
	32	ピット	26.0	23.0	14.2
	33	ピット	22.0	22.0	16.0
	36	ピット	29.0	22.0	14.4
	37	ピット	39.0	24.0	10.9
	38	ピット	24.0	20.0	10.7
	39	土坑	51.0	36.0	12.8
	41	ピット	23.0	23.0	20.5
	45	ピット	37.0	(21.0)	16.7
	46	ピット	34.0	23.0	12.0
	47	ピット	21.0	19.0	10.5
	48	ピット	28.0	23.0	14.0
	49	土坑	52.0	35.0	11.7
	50	土坑	85.0	(54.0)	24.4
	80	土坑	45.0	(23.0)	38.3
	168	攪乱			
	169	土坑	70.0	(62.0)	19.0
	171	土坑	(46.0)	64.0	6.9
	172	土坑	(57.0)	(46.0)	31.7
	173	攪乱			
174	土坑	(70.0)	69.0	11.3	
175	土坑	(67.0)	78.0	8.0	
176	攪乱				
177	攪乱				
178	土坑	(72.0)	(32.0)	19.5	
185	土坑	159.1	(150.0)	13.9	
第2面	51	土坑	49.0	49.0	35.0
	52	ピット	41.0	11.0	22.4
	53	ピット	41.0	35.0	33.3
	54	土坑	47.0	19.0	32.8
	55	ピット	37.0	33.0	5.0
	56	ピット	33.0	(18.0)	17.7
	57	ピット	35.0	35.0	12.0
	58	土坑	46.0	35.0	16.0
59	土坑	67.0	49.0	27.4	
60	ピット	17.0	15.0	22.0	
61	ピット	21.0	20.0	20.0	

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第2面	62	ピット	24.0	20.0	25.0
	63	土坑	46.0	(42.0)	14.1
	64	ピット	32.0	31.0	12.7
	65	井戸	126.0	107.0	(160.0)
	66	土坑	58.0	45.0	7.0
	67	ピット	30.0	25.0	18.0
	68	土坑	80.0	60.0	9.0
	69	ピット	28.0	26.0	17.5
	71	土坑	61.0	42.0	23.2
	72	ピット	47.0	46.0	33.3
	73	ピット	65.0	65.0	67.3
	74	ピット	35.0	30.0	40.6
	75	ピット	27.0	25.0	9.7
	76	土坑	89.0	87.0	7.8
	78	土坑	50.0	47.0	41.2
	79	ピット	43.0	18.0	13.9
	81	ピット	36.0	30.0	18.0
	82	ピット	31.0	16.0	8.0
	83	土坑	43.0	36.0	29.4
	84	ピット	34.0	17.0	6.2
	86	ピット	37.0	(23.0)	3.0
	87	土坑	(76.0)	48.0	19.7
	88	土坑	248.0	160.0	70.0
	90	土坑	58.0	(38.0)	17.8
	91	土坑	60.0	24.0	15.7
	100	土坑	42.0	(20.0)	12.0
	104	土坑	(142.0)	(58.0)	26.2
	105	土坑	47.0	38.0	16.8
	181	ピット	38.0	21.0	24.8
	182	土坑	133.0	35.0	20.5
	183	ピット	18.0	18.0	9.6
	184	ピット	14.0	12.0	9.0
	186	土坑	80.0	(30.0)	9.3
189	土坑	51.0	(21.0)	14.0	
190	土坑	(80.0)	(33.0)	???	
192	土坑	49.0	37.0	30.8	
193	ピット	(37.0)	30.0	57.5	
194	ピット	(32.0)	18.0	32.8	
195	ピット	34.0	34.0	24.5	
196	土坑	51.0	(33.0)	14.3	
199	ピット	33.0	(30.0)	17.0	
208	土坑	103.2	35.0	34.5	
211	土坑	76.0	30.0	8.0	
216	ピット	41.0	29.0	30.0	
218	土坑	58.0	(51.0)	11.5	
219	土坑	87.0	45.0	11.5	
220	土坑	55.0	38.0	11.0	
222	土坑	55.0	53.0	15.0	
255	ピット	32.0	24.0	14.0	
258	ピット	33.0	24.0	28.5	
260	ピット	43.0	40.0	14.5	
273	ピット	37.0	28.0	3.0	
第2面	276	ピット	48.0	33.0	29.0
	286	ピット	(39.0)	36.0	18.0
	298	土坑	60.0	55.0	35.5
第3面	301	土坑	(80.0)	(33.0)	23.5
	92	ピット	41.0	45.0	36.6

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第3面	93	ピット	15.0	23.0	26.8
	94	ピット	18.0	23.0	16.0
	95	土坑	214.0	118.0	23.0
	96	ピット	26.0	24.0	9.6
	98	ピット	33.0	33.0	9.6
	101	土坑	75.0	(37.0)	53.6
	102	土坑	(47.0)	36.0	11.0
	104	土坑	(142.0)	(58.0)	26.2
	103	ピット	38.0	34.0	23.2
	107	土坑	82.0	69.0	13.9
	108	土坑	(80.0)	(82.0)	27.5
	109	土坑	85.0	(36.0)	35.1
	110	ピット	55.0	54.0	31.3
	111	土坑	362.0	240.0	10.4
	112	ピット	40.0	50.0	51.8
	113	ピット	45.0	34.0	24.0
	117	ピット	43.0	37.0	24.9
	120	ピット	38.0	(24.0)	22.3
	121	ピット	33.0	29.0	16.7
	124	ピット	35.0	35.0	7.5
	128	ピット	30.0	(18.0)	12.2
	159	ピット	30.0	25.0	22.0
	167	ピット	37.0	28.0	19.0
	197	土坑	45.0	(30.0)	38.5
	198	溝状土坑	(342.0)	(47.0)	9.0
	200	ピット	(20.0)	22.0	14.0
	201	土坑	57.0	30.0	9.0
	202	ピット	28.0	(22.0)	8.0
	204	ピット	48.0	(29.0)	14.5
	205	ピット	34.0	30.0	10.5
	206	ピット	38.0	31.0	24.0
	212	土坑	50.0	45.0	43.0
	213	土坑	(47.0)	(17.0)	12.0
	214	土坑	53.0	45.0	29.5
	216	ピット	41.0	30.0	17.0
	217	ピット	24.0	21.0	13.5
	221	土坑	45.0	37.0	21.0
	223	ピット	38.0	33.0	11.5
	224	土坑	50.0	38.0	14.0
	225	ピット	18.0	15.0	7.0
	227	ピット	29.0	24.0	33.0
	228	ピット	14.0	14.0	4.5
	229	ピット	20.0	20.0	4.5
	230	ピット	38.0	35.0	5.5
232	ピット	14.0	11.0	17.5	
233	土坑	52.0	10.0	7.5	
235	ピット	33.0	30.0	6.0	
236	ピット	(30.0)	28.0	13.0	
237	ピット	40.0	25.0	19.5	
238	土坑	45.0	42.0	18.5	
239	ピット	35.0	33.0	6.0	
240	ピット	32.0	32.0	19.5	
241	ピット	32.0	30.0	12.0	
242	ピット	44.0	43.0	10.5	
243	ピット	27.0	25.0	37.5	
244	ピット	38.0	25.0	78.0	
第3面	245	ピット	30.0	28.0	33.0

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第2面	246	ピット	30.0	22.0	24.0
	247	土坑	46.0	(36.0)	???
	248	ピット	35.0	(18.0)	11.5
	249	土坑	52.0	(37.0)	8.5
	250	ピット	32.0	32.0	10.0
	251	土坑	86.0	(56.0)	6.5
	252	ピット	34.0	34.0	41.0
	253	土坑	54.0	46.0	25.5
	254	ピット	25.0	(24.0)	46.0
	256	土坑	42.0	45.0	24.5
	257	土坑	75.0	55.0	7.0
	259	ピット	39.0	36.0	56.0
	263	ピット	34.0	(25.0)	8.0
	264	ピット	20.0	(13.0)	8.5
	265	土坑	55.0	55.0	28.5
	266	土坑	45.0	34.0	54.0
	267	土坑	43.0	41.0	8.5
	269	土坑	40.0	28.0	10.0
	271	土坑	52.0	(50.0)	72.0
	272	ピット	35.0	36.0	15.0
	274	ピット	24.0	15.0	5.0
	275	ピット	28.0	26.0	16.0
	277	土坑	41.0	36.0	7.5
	278	ピット	(13.0)	10.0	9.5
	279	土坑	(52.0)	28.0	11.5
	280	ピット	36.0	38.9	40.0
	287	ピット	26.0	(11.0)	9.0
	289	ピット	35.0	32.0	64.0
	291	ピット	30.0	(18.0)	18.0
	292	ピット	35.0	(25.0)	10.0
	294	土坑	50.0	44.0	31.0
	295	ピット	36.0	(15.0)	16.5
	297	土坑	48.0	40.0	50.5
	299	土坑	(45.0)	40.0	18.5
	302	土坑	45.0	(20.0)	4.0
	304	土坑	44.0	47.0	11.0
	306	土坑	(43.0)	46.0	7.0
307	土坑	60.0	55.0	18.5	
309	土坑	(43.0)	(10.0)	14.0	
310	土坑	47.0	36.0	54.5	
311	土坑	44.0	(32.0)	7.0	
313	土坑	(48.0)	(34.0)	3.5	
316	土坑	55.0	(45.0)	12.5	
317	土坑	40.0	41.0	56.5	
318	土坑	(40.0)	40.0	11.0	
319	土坑	60.0	(26.0)	14.5	
322	ピット	29.0	31.0	22.0	
325	ピット	25.0	20.0	34.0	
326	ピット	43.0	37.0	41.0	
328	土坑	(36.0)	(25.0)	5.0	
329	ピット	44.0	41.0	45.5	
331	土坑	48.0	41.0	7.0	
335	ピット	24.0	22.0	42.5	
336	ピット	29.0	28.0	11.0	
337	ピット	(14.0)	(31.0)	44.5	
第3面	338	ピット	34.0	36.0	49.5
	339	土坑	60.0	63.0	7.0

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第3面	340	ピット	44.0	(23.0)	23.5
	342	ピット	25.0	(22.0)	8.5
	343	ピット	32.0	21.0	18.0
	347	ピット	20.0	(10.0)	16.0
	350	ピット	(30.0)	34.0	10.5
	352	ピット	(22.0)	(20.0)	1.5
	354	ピット	30.0	28.0	2.5
	355	ピット	34.0	30.0	56.0
	357	ピット	(14.0)	(25.0)	7.0
	360	土坑	(44.0)	(14.0)	6.5
	361	土坑	50.0	(55.0)	8.5
	363	ピット	45.0	(34.0)	9.5
	367	ピット	35.0	23.0	31.5
	370	ピット	34.0	31.0	56.5
	372	ピット	(24.0)	24.0	14.0
	373	土坑	62.0	48.0	14.0
	380	ピット	(12.0)	(26.0)	15.0
	385	ピット	39.0	37.0	19.5
388	ピット	38.0	(15.0)	9.0	
第4面	114	土坑	(136.0)	(116.0)	15.7
	116	ピット	42.0	33.0	29.3
	118	ピット	(40.0)	23.0	14.8
	119	ピット	28.0	31.0	51.3
	122	ピット	29.0	(13.0)	19.0
	123	ピット	(11.0)	13.0	(5.0)
	125	ピット	(20.0)	23.0	14.2
	126	ピット	31.0	26.0	9.0
	127	土坑	39.0	23.0	13.5
	129	土坑	50.0	(32.0)	19.0
	130	建物址	本文記載		
	131	建物址	本文記載		
	132	ピット	31.0	30.0	35.0
	133	ピット	44.0	44.0	18.3
	134	ピット	37.0	27.0	24.0
	135	ピット	14.0	11.0	14.8
	136	ピット	33.0	32.0	21.3
	137	ピット	33.0	28.0	35.0
	138	ピット	15.0	15.0	12.1
	139	ピット	15.0	14.0	9.7
	140	ピット	25.0	24.0	49.3
	141	土坑	111.0	100.0	31.9
	142	土坑	61.0	43.0	62.4
	143	土坑	49.0	43.0	22.3
	144	ピット	34.0	32.0	26.5
	145	ピット	(29.0)	(31.0)	35.9
	146	ピット	28.0	32.0	23.0
	147	ピット	30.0	24.0	14.0
	148	ピット	35.0	32.0	28.0
	149	ピット	30.0	27.0	17.0
150	ピット	32.0	28.0	13.0	
151	ピット	34.0	26.0	28.0	
152	ピット	23.0	21.0	5.0	
153	ピット	30.0	27.0	22.9	
154	ピット	28.0	26.0	22.2	
155	土坑	83.0	47.0	47.7	
156	ピット	31.0	30.0	30.0	
157	ピット	37.0	33.0	27.0	

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。



遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第4面	158	ピット	4 2.0	3 1.0	2 3.0
	159	ピット	2 8.0	2 5.0	2 0.0
	160	ピット	4 1.0	4 4.0	1 5.0
	161	ピット	3 5.0	3 3.0	2 5.0
	162	ピット	3 6.0	2 8.0	2 3.0
	164	ピット	2 8.0	(2 5.0)	1 4.0
	165	土坑	8 4.0	(8 5.0)	1 5.0
	166	ピット	2 0.0	1 8.0	6.5
	167	ピット	3 5.0	2 7.0	1 2.0
	209	ピット	3 4.0	2 5.0	7.5
	210	ピット	4 0.0	4 0.0	3 2.0
	215	ピット	2 6.0	(1 5.0)	5.0
	231	ピット	3 4.0	(3 0.0)	4 1.5
	259	ピット	3 4.0	3 7.0	4 6.0
	261	ピット	3 2.0	(2 4.0)	2 0.0
	262	土坑	7 5.0	5 8.0	9.0
	268	ピット	3 5.0	(1 7.0)	6 6.0
	270	土坑	(5 7.0)	6 3.0	8.5
	281	ピット	3 6.0	3 4.0	5 0.5
	283	ピット	4 3.0	(3 4.0)	2 6.0
	284	ピット	(3 0.0)	(2 7.0)	2 2.0
	285	ピット	4 7.0	2 4.0	2 9.0
	288	土坑	5 0.0	(3 3.0)	4 1.0
	293	土坑	(2 8.0)	(3 5.0)	1 7.5
	296	ピット	4 6.0	3 7.0	5 1.5
	300	土坑	(6 0.0)	(2 5.0)	1 9.0
	306	土坑	4 6.0	(4 4.0)	7.0
	308	ピット	3 4.0	3 5.0	1 2.5
	312	ピット	2 6.0	1 7.0	7.5
	314	土坑	(3 4.0)	(9.0)	7.5
	315	土坑	8 0.0	8 2.0	1 5.5
	318	ピット	3 8.0	(2 7.0)	1 1.0
	320	ピット	3 8.0	(3 2.0)	3 9.5
	321	土坑	8 1.0	7 0.0	3 1.0
	323	ピット	(1 7.0)	(1 6.0)	1 9.0
	324	土坑	1 0 5.0	72	6 0.5
	327	土坑	(6 4.0)	(2 7.0)	2 9.0
330	ピット	4 2.0	3 8.0	7.0	
332	ピット	3 2.0	3 0.0	3 4.1	
333	ピット	3 8.0	4 2.0	2 7.5	
334	土坑	(6 8.0)	(2 3.0)	2 0.0	
341	ピット	5 4.0	3 5.0	4 6.0	
344	ピット	3 0.0	(2 6.0)	1 0.0	
345	ピット	(2 6.0)	(2 1.0)	2.5	
348	土坑	4 5.0	3 9.0	2 1.5	
349	ピット	(3 2.0)	3 0.0	4 0.0	
351	ピット	1 5.0	1 5.0	5.0	
353	ピット	3 4.0	(1 7.0)	6 1.5	
356	ピット	4 0.0	3 5.0	4 5.5	
358	ピット	(2 6.0)	3 0.0	3.0	
359	ピット	(1 3.0)	(2 7.0)	8.0	
362	ピット	4 3.0	3 7.0	1 9.0	
364	ピット	1 9.0	1 7.0	1 1.5	
365	ピット	1 8.0	(1 2.0)	2 3.0	
366	土坑	5 2.0	3 3.0	8.5	
369	ピット	2 6.0	(1 9.0)	5.0	
371	ピット	3 5.0	2 3.0	6 8.0	

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第4面	374	ピット	36.0	32.0	15.0
	375	ピット	20.0	22.0	8.0
	377	土坑	(64.0)	(35.0)	14.0
	378	ピット	25.0	(23.0)	11.5
	379	土坑	80.0	59.0	57.5
	381	ピット	(18.0)	(18.0)	5.0
	382	土坑	35.0	(28.0)	5.5
	383	ピット	34.0	27.0	53.0
	384	ピット	38.0	32.0	44.5
	385	ピット	40.0	36.0	22.0
	387	ピット	38.0	(19.0)	5.0
	389	ピット	41.0	(19.0)	8.0
	392	ピット	24.0	(18.0)	46.5
	393	ピット	32.0	29.0	46.5
	395	ピット	22.0	23.0	20.5
	396	ピット	30.0	(20.0)	39.0
	397	土坑	(32.0)	(11.0)	10.5
	398	ピット	20.0	19.0	51.0
	399	ピット	12.0	13.0	9.5
	400	ピット	26.0	18.0	8.0
	401	ピット	19.0	19.0	14.0
	402	ピット	35.0	(28.0)	27.0
	403	ピット	21.0	20.0	10.5
	404	ピット	38.0	32.0	19.5
	405	ピット	20.0	16.0	16.5
	406	ピット	39.0	(34.0)	30.0
	409	ピット	18.0	17.0	16.5
	410	ピット	18.0	(8.0)	2.5
	411	ピット	25.0	23.0	24.0
	412	ピット	18.0	19.0	8.0
	414	ピット	36.0	(32.0)	35.0
	415	土坑	38.0	(44.0)	10.5
	416	ピット	20.0	(16.0)	12.0
	417	ピット	20.0	15.0	9.0
	418	ピット	21.0	(11.0)	13.0
	419	ピット	8.0	8.0	6.0
	420	ピット	37.0	37.0	18.0
	422	ピット	25.0	22.0	14.0
	423	ピット	13.0	12.0	7.5
	424	ピット	20.0	(10.0)	5.0
	425	ピット	9.0	8.0	7.5
426	ピット	39.0	40.0	67.0	
427	ピット	21.0	(7.0)	38.0	
428	ピット	8.0	8.0	7.5	
429	ピット	30.0	(15.0)	5.0	
430	ピット	34.0	(18.0)	54.5	
431	ピット	15.0	15.0	35.5	
432	ピット	29.0	29.0	16.0	
433	ピット	43.0	(26.0)	9.5	
434	ピット	50.0	34.0	7.0	
435	ピット	24.0	25.0	7.5	
436	土坑	(40.0)	(40.0)	17.0	
437	ピット	24.0	24.0	8.0	
438	ピット	20.0	20.0	27.0	
439	ピット	17.0	18.0	9.0	
440	ピット	33.0	(22.0)	8.0	
441	ピット	(17.0)	17.0	11.5	

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。

遺構計測表 単位 cm

面	遺構No.	形態	長さ	幅	深さ
第4面	442	ピット	35.0	(13.0)	17.0
	443	ピット	(22.0)	20.0	5.0
	444	ピット	(15.0)	26.0	6.0
	445	ピット	21.0	(14.0)	55.0
	446	ピット	26.0	(17.0)	9.0
	447	ピット	25.0	17.0	5.5
	448	ピット	34.0	40.0	7.5
	449	ピット	(15.0)	13.0	11.5
	450	ピット	26.0	(16.0)	19.5
	451	ピット	19.0	(13.0)	9.0
	452	ピット	24.0	(16.0)	9.0
	453	ピット	(20.0)	(10.0)	4.8
	454	ピット	19.0	18.0	6.0
	455	ピット	20.0	18.0	6.0
	456	ピット	(16.0)	(16.0)	???
	458	ピット	15.0	16.0	10.5
	459	ピット	13.0	(5.0)	11.0
461	ピット	26.0	22.0	17.5	

\*注 攪乱は計測していない。調査区外に遺構が延びていたもの、他の遺構に切られていたものに関しては、遺存値を( )で表記した。



▲ I区 第1面全景 (西から)



▲ I区 調査区東側遺構群 (西から)



◀ II区 第1面全景 (東から)



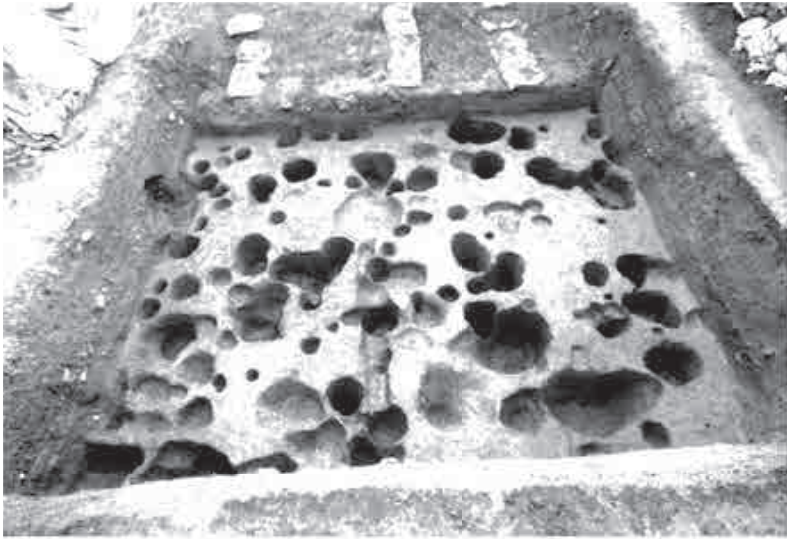
▲ I区 第2面全景 (西から)



▲ II区 第2面全景 (北から)



◀ I区 第3面全景 (西から)

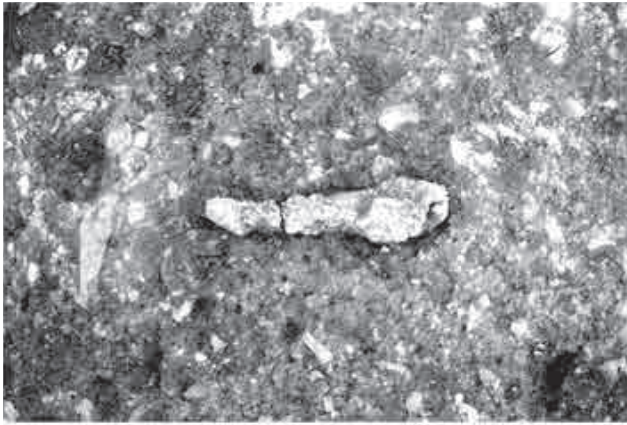


◀ II区 第3面全景 (西から)

II区 第4面全景 (西から) ▶



◀ 第2面遺構219 (北から)



▲第1面構成土 刀子 (図39-144) 出土状況



▲第2面遺構73



▲第2面遺構65・88・99・104



▲第2面遺構65



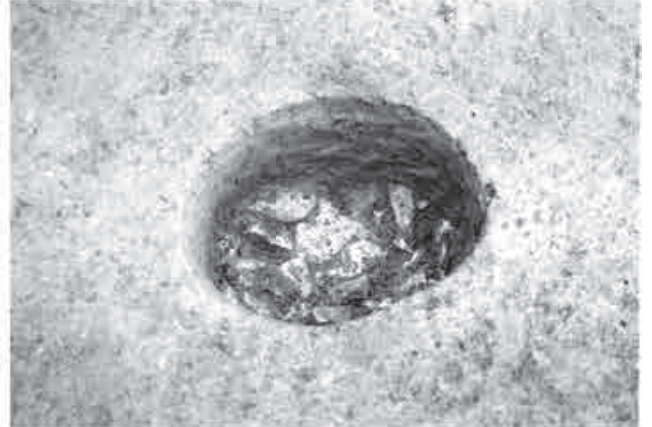
▲第2面遺構88



▲第2面遺構195・196



▲第3面遺構111



▲第3面遺構113



▲第4面遺構131十字ベルト状況(南から)



▲第4面遺構131ベルト西側(南から)



▲第4面遺構131(北から)



▲第4面遺構132(北から)



▲第4面遺構131根太出土状況(南から)



▲第4面遺構131根太出土状況(南から)





▲第4面遺構 149



▲第4面遺構 159



▲第4面遺構 166 (柱痕)



▲第4面遺構 151 (柱痕)



▲第4面遺構 151 (柱痕アップ)

図版7

第4面各遺構

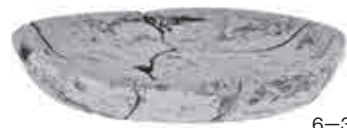
▽遺構119



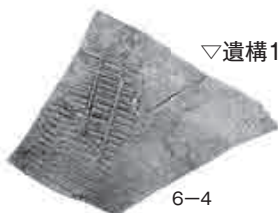
6-1



6-2



6-3



6-4

▽遺構144



△遺構379

6-17



▽遺構262



6-7



9-11

▽遺構132



9-3



9-5

▽遺構131床面



10-2



10-6



10-15



10-20



10-22



12-1



12-2



12-6



12-13



12-15



12-17



12-31



12-34



12-43



12-44



12-47



12-48



12-51



12-53



12-57



12-45



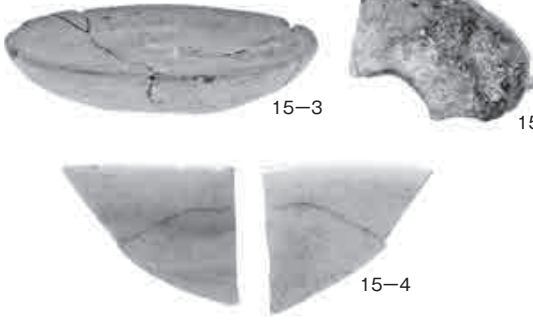
12-46



12-42

第3面各遺構

▽遺構111



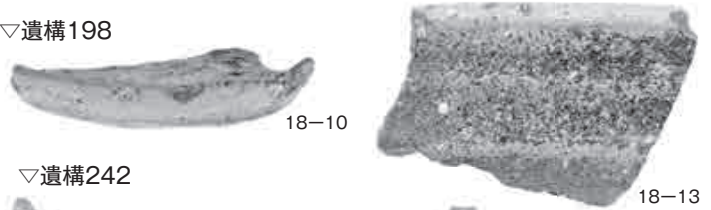
▽遺構95



▽遺構110



▽遺構198



▽遺構117



▽遺構242



▽遺構257



▽遺構259



▽遺構266



▽遺構292



▽遺構294



▽遺構297



▽遺構307



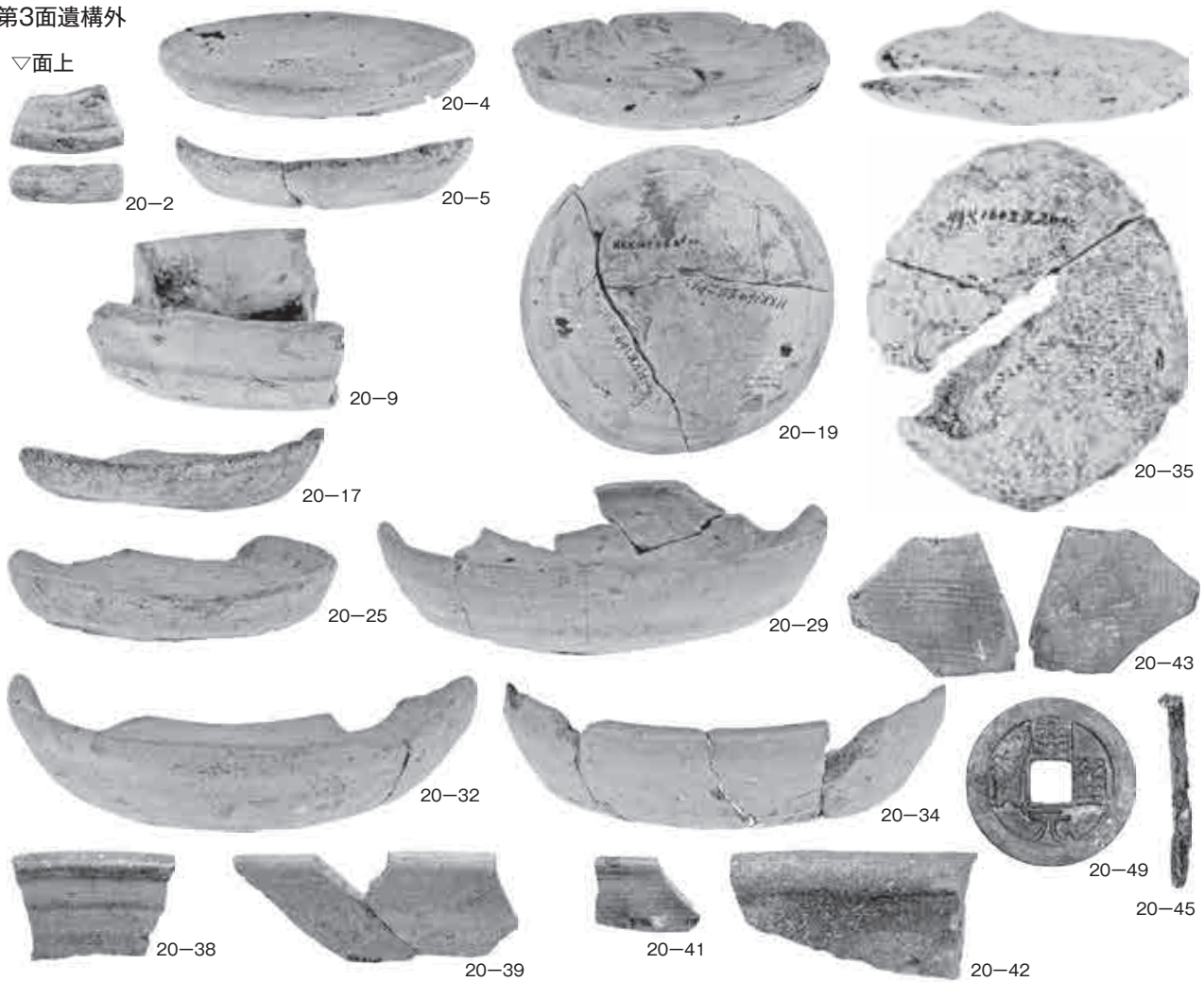
▽遺構355



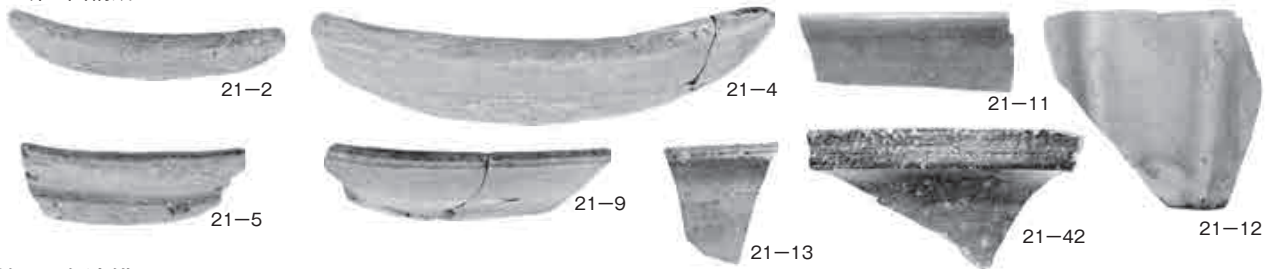
图版9

第3面遺構外

▽面上



▽第3面構成土

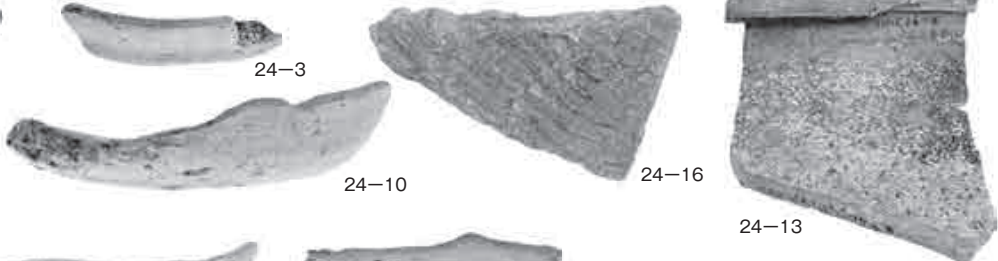


第2面各遺構

▽遺構65



▽遺構88



▽遺構104



第2面各遺構

▽遺構219



▽遺構54



▽遺構63



▽遺構105



▽遺構87



▽遺構208



▽遺構218



▽遺構78



▽遺構218



▽遺構301



▽遺構301

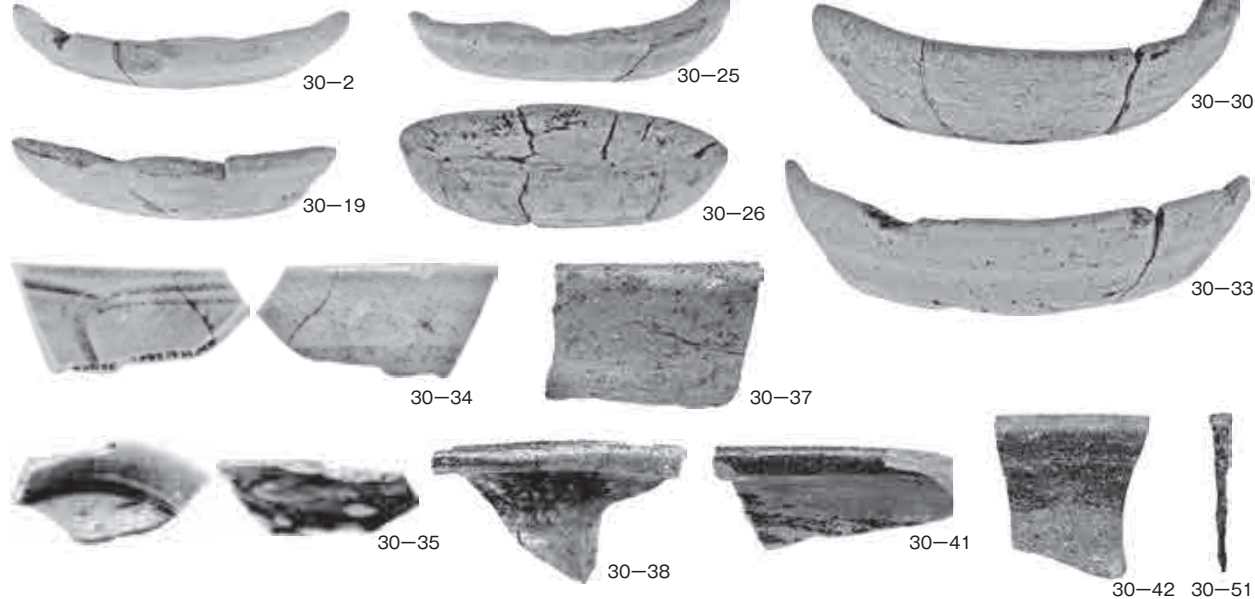


第2面遺構外

▽面上



▽第2面構成土



図版 11

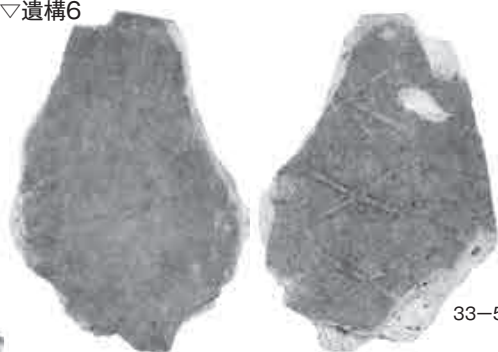
第1面各遺構

▽遺構4



33-2

▽遺構6



33-5

▽遺構14



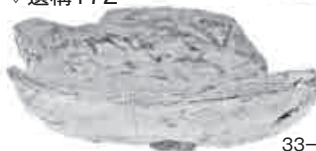
33-6

▽遺構169



33-7

▽遺構172



33-9



33-11

▽遺構175



33-3

▽遺構174



33-13



33-15



33-16



33-17

第1面遺構外

▽面上



34-4



34-15



34-18



34-23



34-6



34-20



34-21



34-29



34-22



34-33



34-20



34-30



34-24

▽第1面構成土



35-3



35-8



35-31



35-15



35-2



35-22



35-24



35-33



35-39



35-41



35-52



35-45



35-48



35-61



35-54



35-55

第1面遺構外  
▽構成土

